



KODAK Color Control Patches © The Tiffen Company, 2000

Kodak LICENSED PRODUCT Black

3/Color

White

Magenta

Red

Yellow

Green

Cyan

Blue

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18



4590
= 2



JAPAN

TAJIMA

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8

序

史美洲世ホカリノ國家ハ
至悉ク然ル以古來ノ義法
能書教多ク有リトモ亦部
賣買ヲ洲末法書ホ渡セ
今多ク早業手ノ集書欲
一多新刻ホ弘サシムル

初ルモ等キノ氏賣買ノ
之為リリノ能ク早業ノ
秘訣ホ定法或ハ定法定則
著シテ外高家物教能極
多ク有リトモ一だ一書業
是ト學ビテ守キ也

以本一二三撰

早算手引集目錄

大教の算の半五丁	小教の算の半五丁
根の教名の半五丁	歌ありの算の半五丁
珠抄の算の半五丁	九九の算の半六丁
八算の算の半六丁	算の算の半七丁
阿蘭陀の算の半七丁	算の算の算の半七丁
算の算の算の半七丁	算の算の算の半七丁
算の算の算の半七丁	算の算の算の半七丁

十一の算の半七丁	南法圓方算の算の半八丁
十六の算の半八丁	二の算の算の半八丁
算の算の算の半九丁	算の算の算の半九丁
八算の算の半十丁	算の算の算の半十丁
掛の算の算の半十丁	算の算の算の半十丁
算の算の算の半十一丁	算の算の算の半十一丁
算の算の算の半十二丁	算の算の算の半十二丁
算の算の算の半十三丁	算の算の算の半十三丁
算の算の算の半十四丁	算の算の算の半十四丁
算の算の算の半十五丁	算の算の算の半十五丁
算の算の算の半十六丁	算の算の算の半十六丁

酒賣賣利のり廿九	磁器賣利のり四一
紙賣賣乃のり四二	塩賣賣のり四二
石炭賣賣のり四二	茶葉賣賣のり四二
紙子前備燧倍倍割	漆油賣賣のり四四
燧草賣賣のり四五	茶葉賣賣のり四六
茶葉賣賣のり四七	味香賣賣割のり四九
炭薪賣賣のり五二	材木賣賣割のり五二
石積り乃のり五七	舟運賣賣割乃のり五七
飛御乃賣割のり五六	軍器のり五七

和紙賣賣のり六六	紙のり方乃のり六四
斗代換りのり六七	間地津りのり六八
外流りのり六八	磁器賣賣割のり七五
磁器賣賣割のり七六	漆子賣賣乃のり七六
ゆつり金賣賣のり八二	福並賣賣乃のり八二
矢弁の割と和のり八三	漆紙換割と和のり八三
やくーぎんのり八四	百々乃のり八四
こしとん乃のり八五	平紙乃のり八六
ゆきざんのり八五	紙乃のり八五

根乃敷名乃

斛こく斗と升せう合ごう勺しやく抄せう撮さう圭けい粟ぼ

回敷名乃

ツカシの

一町 <small>ちやう</small> 平間四方 同六八寸	一尺 <small>せき</small> 古の直平尺 今直尺	一金 <small>きん</small> 寸 <small>す</small> 百五 <small>ひゃくご</small>	一銀 <small>ぎん</small> 同百五 <small>ひゃくご</small>
一畝 <small>いせ</small> 平歩と云 以歩無坪之	一步 <small>いふ</small> 一坪と云 古尺寸四方	一鉛 <small>しん</small> 同九十八 <small>くじゅうはち</small>	一錫 <small>しやく</small> 同六十二 <small>むそふたに</small>
一分 <small>ぶん</small> 長五分寸 廣一分	一厘 <small>りん</small> 長一分寸 廣一分	一玉 <small>たま</small> 同 <small>同</small>	一銅 <small>どう</small> 同七十八 <small>しちじゅうはち</small>
一毫 <small>ごう</small> 長一分寸 廣一分	一絲 <small>し</small> 長一分寸 廣一分	一鐵 <small>てつ</small> 同六十八 <small>むそはち</small>	一真鍮 <small>しんそう</small> 同六十九 <small>むそくじゅう</small>
一忽 <small>こつ</small> 長一分寸 廣一分	一微 <small>い</small> 長一分寸 廣一分	一壽 <small>じゆ</small> 同 <small>同</small>	一土 <small>つち</small> 同 <small>同</small>

九々のかど乃

三ノ四	二三ノ六	二四ノ八	二五ノ十	二六ノ十二	二七ノ十四
二八ノ十六	二九ノ十八	三三ノ九	三四ノ十二	三五ノ十五	三六ノ十八
三七ノ九	三八ノ四	三九ノ七	四四ノ十六	四五ノ十九	四六ノ廿四
四七ノ廿八	四八ノ卅二	四九ノ卅六	五五ノ五	五六ノ卅	五七ノ卅五
五八ノ四十五	五九ノ卅五	六六ノ卅六	六七ノ四十二	六八ノ四十八	六九ノ五十四
七七ノ四十九	七五ノ五十六	七九ノ六十三	八八ノ七十四	八九ノ七十一	九九ノ八十二

八さんののりりり各の本

二のえの割 二天他のみ 遠二進二十 三のえの割 三二十一
 三六十二 遠三進二十 四のえの割 四二十ノ二 四二天作
 四七十三 遠四進二十 五のえの割 五一倍作二 又二倍作
 又二倍作六 又二倍作八 遠五進二十 六のえの割 六之加下
 六三十三 又二倍作八 又二倍作十 又二倍作十二 遠六進二十
 七のえの割 七加下ノ三 七三加下ノ六 七三平ノ二 七四又十又
 七又平ノ二 七六八十 遠七進二十 八のえの割 八一加下ノ三
 八二加下ノ四 八三加下ノ六 八四天他のみ 八五平ノ二 八六平ノ二
 八七平ノ六 遠八進二十 九のえの割 九一加下ノ一 九二加下ノ二
 九三加下ノ三 九四加下ノ四 九五加下ノ五 又八倍のり 遠九進二十

基礎教乃のり

壹 貳 参 肆 伍 陸 漆 捌 玖 拾 十

おらんご肩帳のり

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

わろ物肩帳乃のり

大 へ 三角 X 又 又 又 又 又 久 〇

看せんとおのり肩帳のり

ソク ブリ キリ タリ カシ ロシ サイ ナン バ下 ウ キワ ソク

見二かけざん

あつひの帳八女みちづき
比六あひまれば善哉百九七女はき

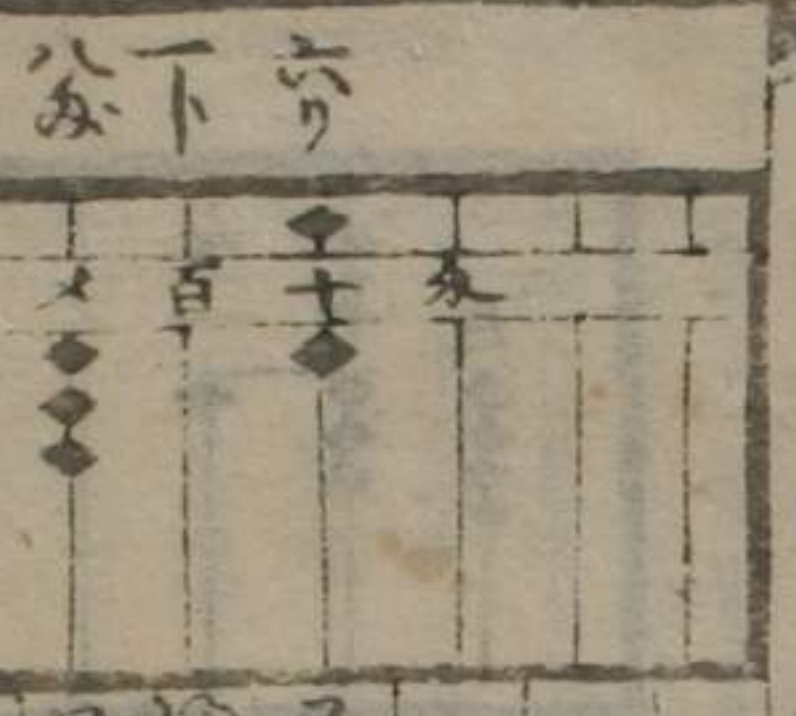


二	又	十
六	八	四
二	八	十
二	八	十
六		

九よ目かを二十六とあひ右乃八女みちづき
下九九いよびかけりありまづ又乃乃けしより
一けしよりあてみちと九乃六と見合せ又六
三十と見せり又七乃八分と九乃二十と見合せ
二又十といみてみちとをひしれとありまづ
八女と九乃六と見合せ六八四十八といひて次乃二けし入し
八と入るなり又右の八女と九乃六と見合せ二八十六といひて八と
十にして又八六入るを死回しして七又十のけしなり

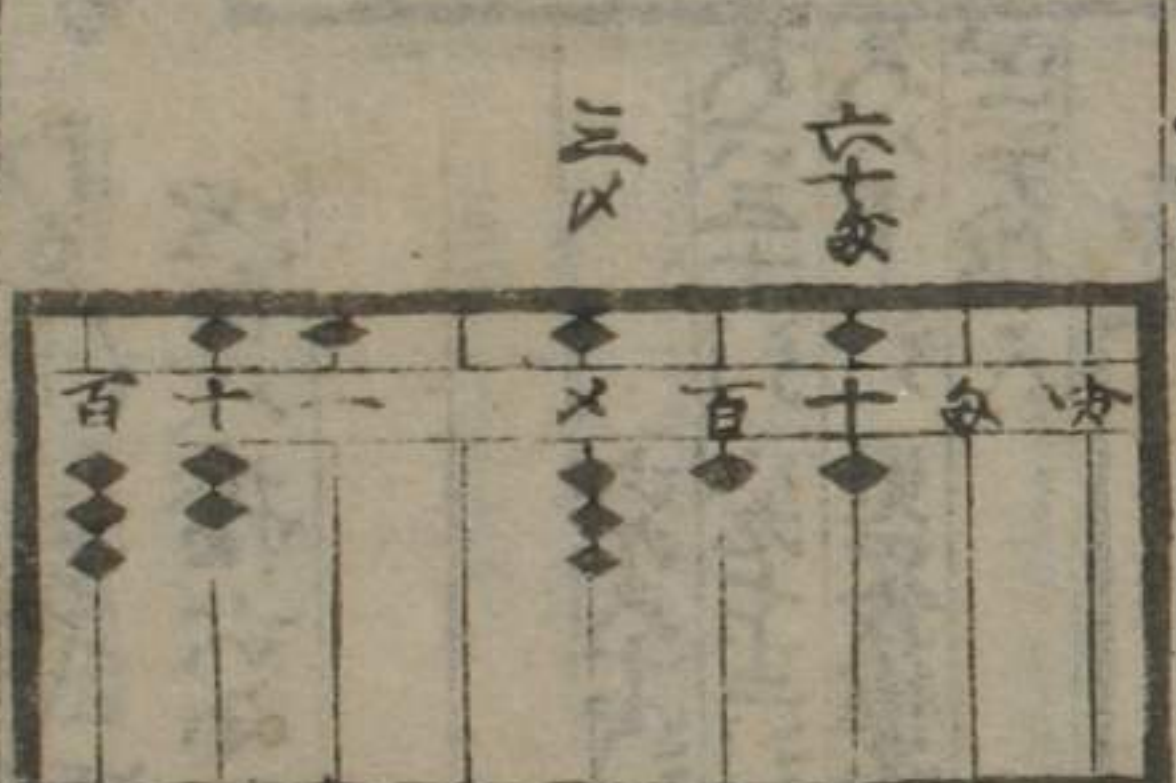
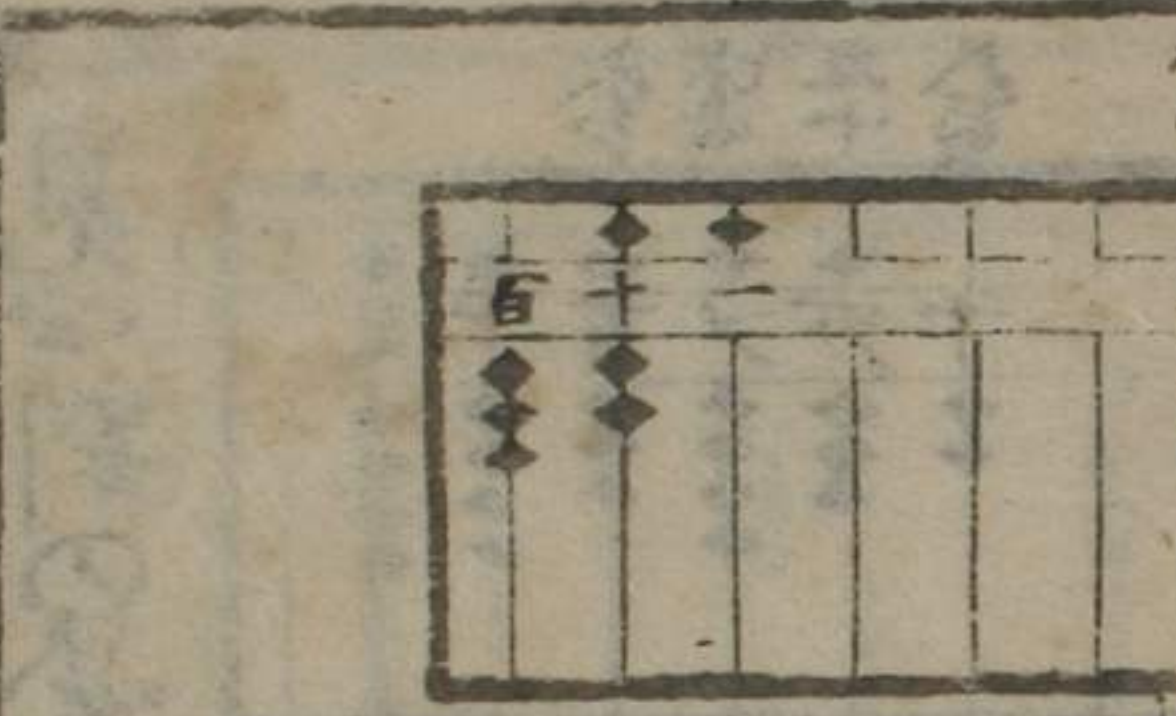
見二割の累

あつひの帳二女。古拾おとさ目拾ふと割を
又八女を六厘でなま



又	八	四	十	引	一	七	七	引
三	進	一	十					

見二二女は九三
引れぬと死
論二二女は九三
のよんと割



又	六	二	十
六	七	四	十
二	六	十	八
一	七	七	八
三	七	八	四
三	七	八	六
三	八	二	十

あつひの帳八女を六厘でなま
三百七拾ふあひまれば
二女。六拾ふ女なり

早業

見割の場

市多しの銀武百八拾九貫八百九拾九文と
四百八拾六文割を 暮又百九拾六文とせり

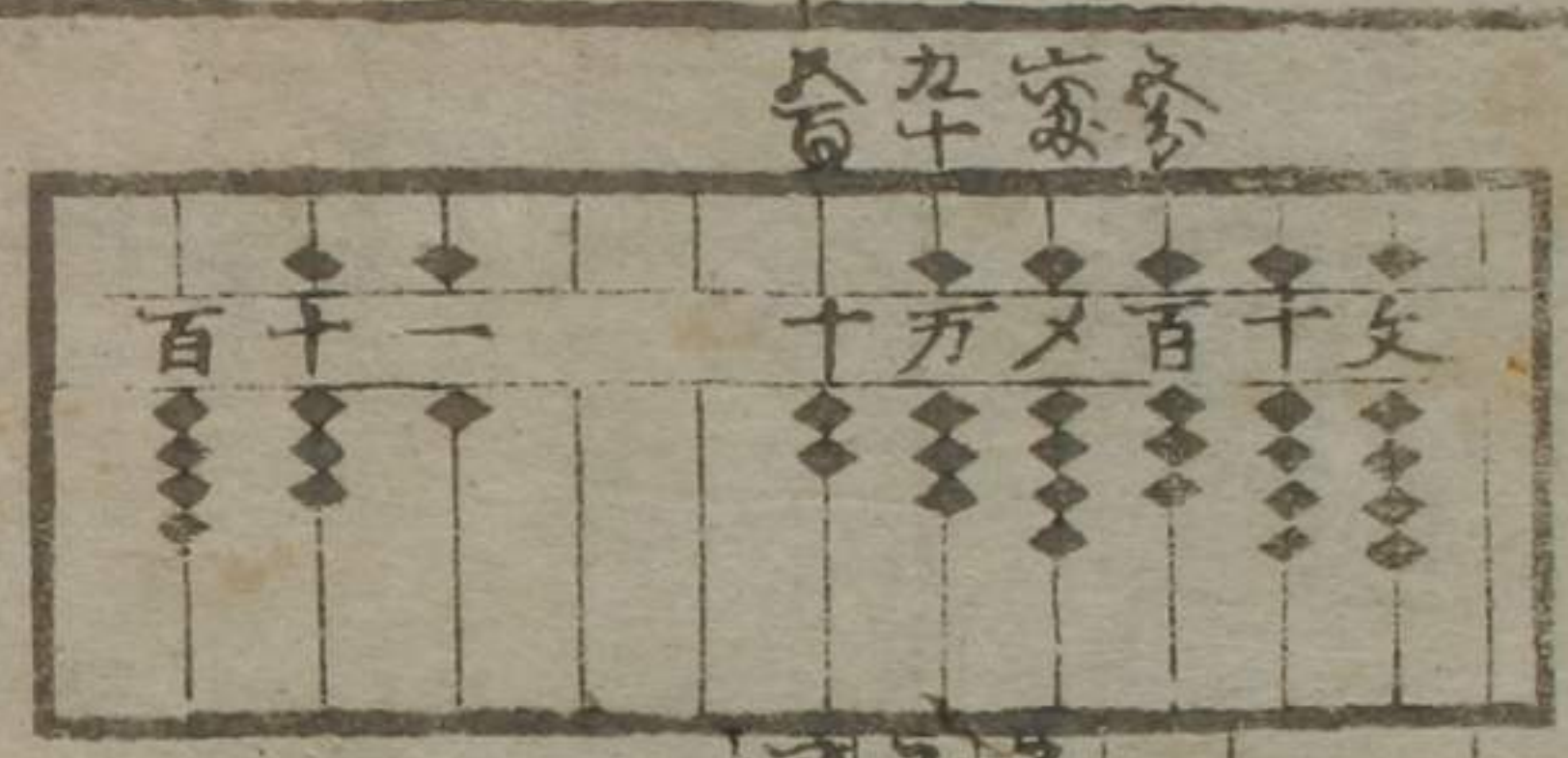


Table of numerical values and calculations on the right page, including vertical text and numbers like 五六三十三, 五八四十四, etc.

見割の場

市多しの米三百八拾五石八斗三升八合八
又百八拾六石六斗九升八合八文とせり

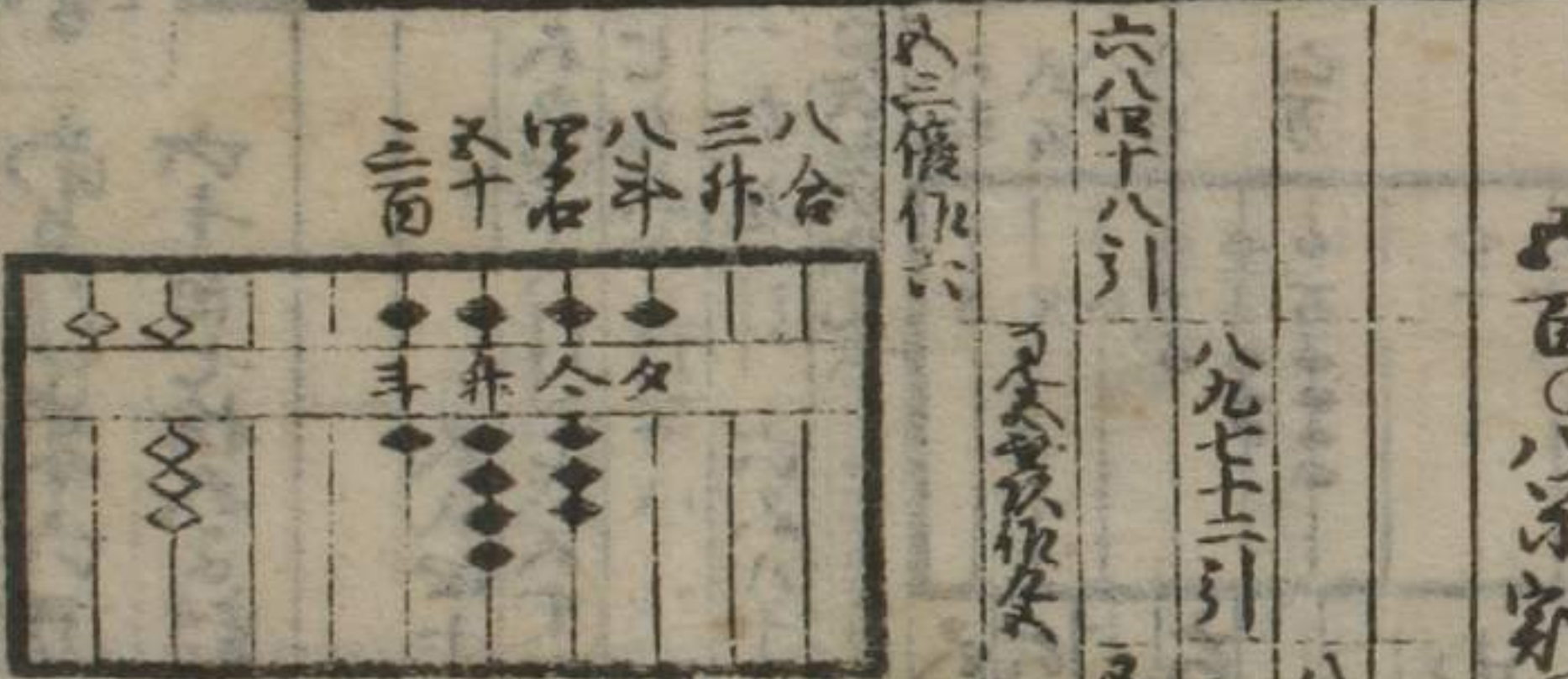
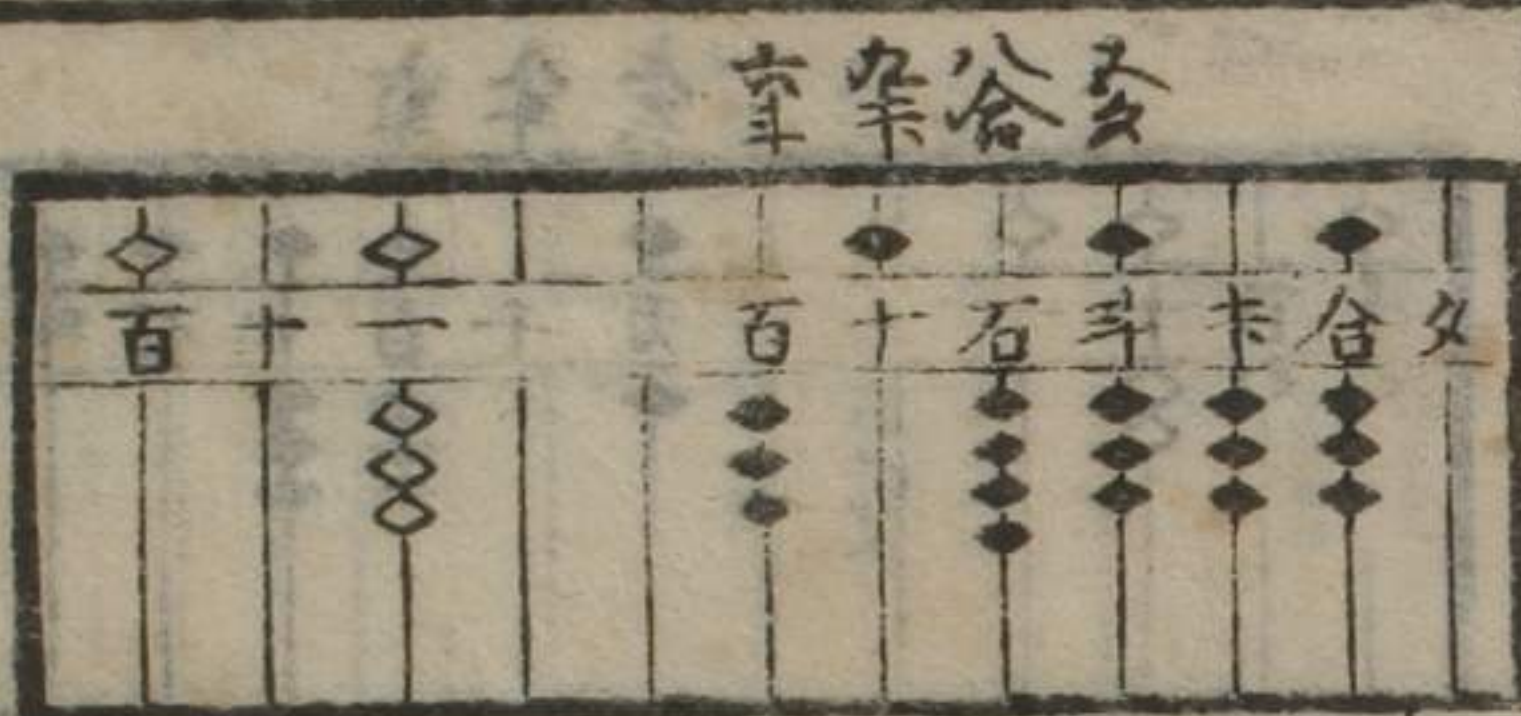


Table of numerical values and calculations on the left page, including vertical text and numbers like 八八四十一, 八八六十四, etc.

見八割の号

千	百	十	一
○	○	○	○
○	○	○	○
○	○	○	○

八	九	十	百	千
八	九	十	百	千
八	九	十	百	千
八	九	十	百	千

八	九	十	百	千
八	九	十	百	千
八	九	十	百	千
八	九	十	百	千

或八割八拾四貫九百八拾貳或九分八厘と
 八千六百〇五割の善九分八厘六毫と也

あつた八割九分八厘七毫と
 八千六百〇五のわらじと
 八拾四貫九百八拾貳或九分八厘と

見九割の号

千	百	十	一
○	○	○	○
○	○	○	○
○	○	○	○

千	百	十	一
○	○	○	○
○	○	○	○
○	○	○	○

千	百	十	一
○	○	○	○
○	○	○	○
○	○	○	○

あつた九割貳百七拾七貫八百拾貳分と
 九千〇五十二の八斗の割り
 善九分八厘六毫と也

あつた九割貳百七拾七貫八百拾貳分と
 九千〇五十二の八斗の割り
 善九分八厘六毫と也

見一乃圖

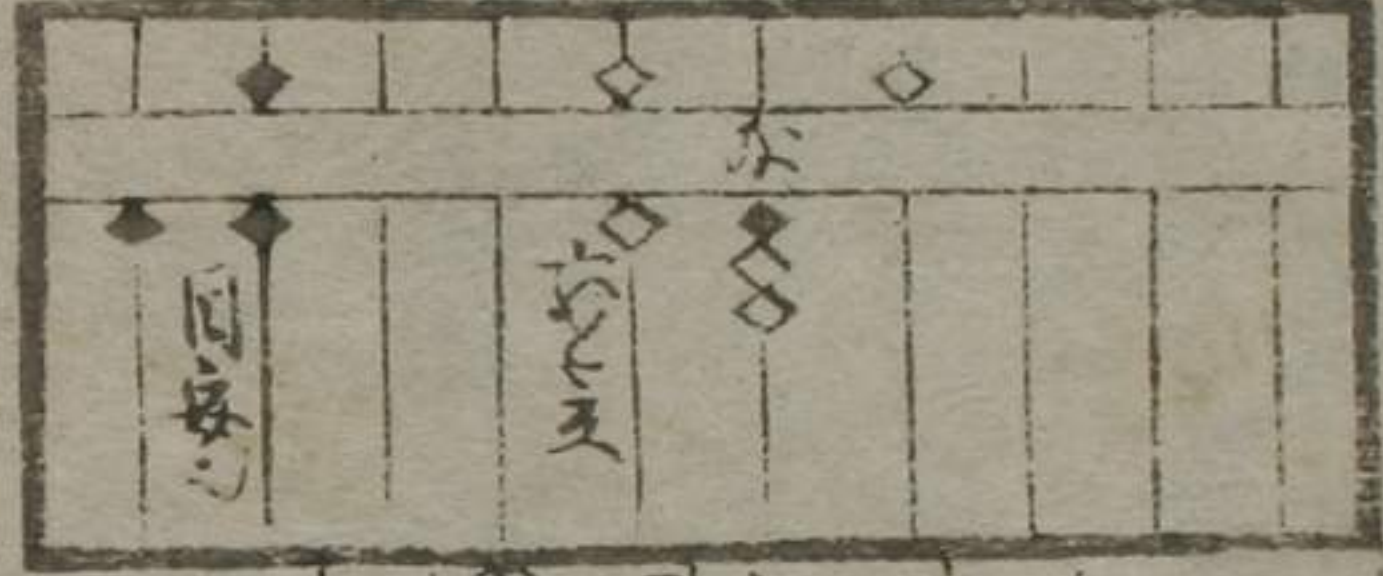
根百圓

拾六れを何程

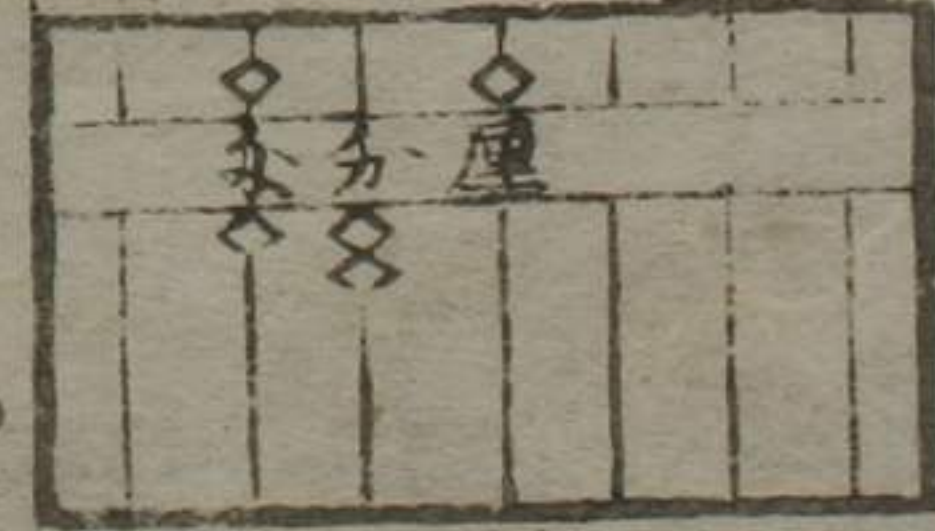
答根六ぬ式分又重

おけざん

かぬめいん



一六三十三引掛
二六十二引掛八掛
六六廿六引掛四掛
一六六引掛三掛
六六三引掛二掛
六六三引掛一掛
六六三引掛一掛
六六三引掛一掛
六六三引掛一掛
六六三引掛一掛



見一
おけざん
日の

かぬめいん
一六三十三引掛
二六十二引掛八掛
六六廿六引掛四掛
一六六引掛三掛
六六三引掛二掛
六六三引掛一掛
六六三引掛一掛
六六三引掛一掛
六六三引掛一掛
六六三引掛一掛

見二乃圖

根貳百貳拾壹ぬと 北六よりれを何程

答根八ぬ式分又重

おけざん

かぬめいん



一六三十三引掛
二六十二引掛八掛
六六廿六引掛四掛
一六六引掛三掛
六六三引掛二掛
六六三引掛一掛
六六三引掛一掛
六六三引掛一掛
六六三引掛一掛
六六三引掛一掛



見二
おけざん
日の

かぬめいん
一六三十三引掛
二六十二引掛八掛
六六廿六引掛四掛
一六六引掛三掛
六六三引掛二掛
六六三引掛一掛
六六三引掛一掛
六六三引掛一掛
六六三引掛一掛
六六三引掛一掛

是六三百五と云ふ二のよんにて別スハの底にて別を
拾式五と云ふ又の式分とわけあり亦三百五を
六の底に別入は乃たんに有りてとあるなり是四六
九四・三八九四乃たなり乃こゑなり何れも是はさうふ
八まんして有りあり

少袖羽織忌むけ横りのゆ

譬 少袖三丈五寸忌むけ 何れと入る

善式五丈八寸あり

法は忌むけ三丈八寸と云ふ七をかくききた式也

四尺八寸とあるなり何れとの長みてもけ
仕ぬうてよ

個力キ遠立ハ右と云ふ毒うてと云ふ

振袖ハ行袖としてよ

亦 羽織式八寸袖はけ何れ入る

善式五丈八寸あり

是ハ着長式八寸と云ふ九と云ふは式八寸あり
とあるなり何れありても九と云ふは

亦 羽織式八寸と云ふ裏ハ何れ入る

答を丈六八寸すいふ

是の着長式を八寸すいふと寸六八寸と懸ぬは寸丈
六八寸すいふ分と寸六八寸すいふ分何れも一寸
よて寸六八寸は是毎例也

呉振木綿糸割物之寸

金	寸	八	寸	八	寸
金	寸	八	寸	八	寸
金	寸	八	寸	八	寸
金	寸	八	寸	八	寸
金	寸	八	寸	八	寸

是の寸品較は直段をゆけて寸六八寸すいふ
又
寸六八寸すいふと寸六八寸すいふと相違は割六寸すいふ
とありあり

○譬寸八寸すいふ寸六八寸すいふの代と寸六

答 寸六八寸すいふ寸六八寸すいふ

是の寸品較は直段をゆけて寸六八寸すいふ

○亦寸六八寸すいふ寸六八寸すいふの代と寸六

答 寸六八寸すいふ寸六八寸すいふ

答 寸六八寸すいふ寸六八寸すいふ

是の七文八分と重長部丈八尺よ刻の
あり亦部丈八尺とて四をうけても

警 錦八尺代七百尺買式人として

き人の四百部拾分

き人の部百八拾分

何程渡り

答

四百部拾分の方 四尺八寸

部百八拾分の方 三尺部寸

是の出根四百部拾分よ八尺とをて代根七百尺
刻の四尺八寸とてあり亦部百八拾分よ八尺と

かゆ七百よよ刻の二尺部寸とあり

紗綾ちりめん綿巻抱を介をハをあるもの
の〇尺よて賣買あり

警 絹八尺令九文四拾文よ何程あり

答 四拾文あり

是の四拾文よと重八尺とをて代令九文よ
刻のあり

金銀錢両替相場刻の事

張相場よ何費何百文の替あり

銀相場

切らん

金五分

金五分

大割五分

銀五分

四割五分

何指何分盤

何分の相場

指五分五分

六指五分五分

古金七分五分五分

四分五分五分五分

四指五分五分五分

警

續又買又百文の時五分の何指りなり

答 八指八文あり

是のみ買又百文と云ふにけりて八をかくまを

八十八文と云ふに(亦)是六入り事と云ふは後さうをの

内くまゆりありは後六時の相場又買又百文と云

下よりみちや平と云ふの内くま入り八と云ふは

上乃けりてみちや二十と云ふは八と云ふは

これきふハ八拾八文あり何れは後相場は六の

こととて下よりみちや十と云ふの内くまの後と云ふは

亦

後又買又の何八百は拾八文指メ何指り

答 拾八文あり

是ハ八百六拾又と並六千を相備ひ貴に割ハ拾五
武ととちとあり百より内ハ同次とて並ハ

亦 後四貴二百又の附 拾武ハ何程と云

答 後九百より云

是ハ四貴六百又に拾武ハと割て六千ハ割と
知るなり 但百より云 同ハ同程引云

亦 是ハ後の後相備に程を各合同程を云とて
あつと云

亦 後を貴又ハ拾武ハハと何程と云

答 四貴八百より云

是ハ六十ハと並拾武ハハと割とて何程
八百より程と云

亦 後を各ハ八拾又の後ハ何程と云

答 八拾又より云

是ハ八拾又と並十百ハと割とて何程と云

亦 金キ分より貴二百四十八と云 貴キハの相備
何程と云

答 八拾六又ハ云

是の貴二百又十又と廿六口をかくと廿八十
六又四分とあるより百又の四の目と加へり

亦 減き貴又拾貳分の四をより減り

何程各

答 八拾又あり

是の九百六拾又を拾貳分より減れば八十二
とあり

亦 丁銀拾き貴貳百又の四より減り

以金何程各

答 金拾七又部分あり

是の拾七又部分百又の四とお場拾四又の
割は拾七又の部分と上端有りの拾七又と
をてあり

譬 大判拾六枚有 七又部分よりして小判

何よりあり

答 小判百部拾あり

是の七又の四部分拾六枚とすれば百部拾七又と
ありあり故金と六割はまの文金ありて

何程うそわ

善え金 百九拾八両あり

是の六両は金十両とく十六両は銀十両と
百部拾五とこれに金とあり増方るは
六拾とといひ也

米雜穀乾刻物一斗一

米 雜穀を俵

何斗何升入

金を五兩三付

何斗何升入

金拾五兩三付

何拾何俵

米三拾五石付

何拾何俵

譬 米八俵

四斗八升入

是の米を石部一斗八升代金とす

善え金五兩三付七角五分

是の四斗八升と善え八俵と掛せが二石六斗八升
相場を石部斗八升とこれに米錢貳貫八百拾文
とあり貳貫文の銀五兩とす七百八拾文の二分とす
是の米五兩三付七角五分とす七百八拾文の二分とす
是の金五兩三付七角五分とす七百八拾文の二分とす

亦 米を石付又拾ふ替の付ま何半替り同か
答 米を石付半一あり

是の六拾ぐく一箇相場又拾ぐくお割のま右部半度
亦 米を石付又拾ふの相場あて又半又半の何半同か
答 或拾七ぐくみかあり

是の又半又半と一箇相場又拾ぐくと是れが浪部拾
七ぐくみかあり

亦 米を俵四半へあて代金とま寄りにく
或は拂相場何れりらる

亦 米を石付半又半替り

是の金を分と取よして或はと寄りに或はと
お拾ぐくお割バ七とあり部又よくく一取二百部拾文よ
るる是をて四半と割バま右部半又半とあるし

亦 米を俵よよ八半替りて代金部分七ぐく
又を併何半入とよ

答 又半一とよ

是の代金と米よあせり一合部分とよと寄七ぐく
みかありお割バ一二とあり右のよよ一と二と

相場八斗と云ふは又斗入りと云ふことなり

亦 米百文より斗入り合買淺相場四貫文
の時よむゆふちりなり

答 米百文あり

是ハ相場四貫文と云ふ斗入り合と云ふことなり

亦 米百文付斗入り合買九斗又合の代何れも
答 二百七拾六文あり

是ハ九斗又合と云ふ斗入り合と云ふことなり
八拾文斗り四八三文斗り目と云ふことなり

亦 大置三拾八俵 四斗入 石八拾三石あり

四斗入 三斗又斗入何れも有る

答 四斗入 拾八俵あり

三斗又斗入 貳拾俵あり

是ハ三拾八俵と云ふ斗入り合と云ふことなり
石八拾三石と云ふ斗入り合と云ふことなり
又斗入り合と云ふ斗入り合と云ふことなり
三斗又斗入り合と云ふ斗入り合と云ふことなり

と凡の三拾又倍よ二斗又升と勢拾武石二斗又升
と或有穀拾二石の初級引を七斗又升余と遠の又升
よて別を二斗又升と初級引を七斗又升余と遠の又升

亦火夏武石替よ買武石六斗よ賣此利金又或
有と云此元金何程有と云

答元金武拾あり

是の利金又或と云賣武石六斗と勢是の八と
或是と云人引と云二石の内武石六斗引残り或遠
四斗有是も右の八を別を元金武拾ありと云るなり

上武斗又升替

亦米三品中武石六斗替

下武石替

右三品の米合三拾八或武石も升取目一
程で買何程と云

答 上中下 武拾石と云

是の武石と云石武斗又升よ別を八と或武石と云
六斗に別を六二と或武石と云武石別を八と云るなり

三に合て十五二と成是と目安れして出金卅八
貳分と別べ貳拾石と知れ

假貳分ハ永にしとふと変之

八斗替の米 貳石四斗有

○赤米

七斗替の米 三石五斗有

右と系 拘して何程々

卷七斗五升七合八勺

是ハ貳石四斗と八斗一斗別三と成三石八斗と七斗一
割ハ又と成二に合て八割九りに別又と成貳石四斗と

三石八斗と合て又石九斗と九の八と目安れ別て知

○赤御城米百俵何十畝の御定

假百俵三拾石の換あり

毛ハ全貳拾又畝替の附畝何斗替の相換と知
三拾石と成貳拾又畝と別石三石四斗替と成
何程の相換を承に成し二十石と別と知

○赤米拾又俵四斗八斗又畝替乃と成て代金と

卷全四畝歩貳分を分四重

是ハ代替り乃別と拾又俵と成四斗八斗入を然二を

拾貳石と多し是に相場貳拾貳石と爲し之を
七石別を永く合ふ上残りの永く六斗五分とかくれを
志しつゝ但相場何拾何石乃相場に永く一銀一
石是も金當りの扱ひにせしむ

亦米百六拾貳俵 納四斗入

合拾貳石貳拾俵替代金何程と

善金八拾貳石五分

是八百六十石俵と壹貳拾俵と別を取と取これ
合以上是を八十二石五分と成上相場は六石とかく

是を相場とあるべし 又此に何斗替を足す時
納四斗入は百六拾貳俵と合石言ひ六拾六石とある
代金と永く直せ八十二石と成是を同安しして別を
取に八斗替とあるなり

亦米拾貳俵代金拾貳石とて百六拾貳俵の代

何程と

善七拾貳石とあり

是八百六拾貳俵と壹代金と別拾貳俵と
別七拾貳石とあるなり

枚様割乃変

譬

米枚梅より七下九俵上苗りを俵に枚少を
敷敷と同

善米四拾又俵之

是ハ下九俵と上方ハ一変一方ハ二と加ハ八拾俵と云
九と十と加ハ合ハ九拾九俵と成是と二ノ割ハ四十
八俵と云何程と云下何俵上を俵苗りの云
此仕法と云云云

亦

米枚梅より七下武拾を俵苗り八俵と何程と云

各武百之俵之

是ハ下武拾を俵にを俵と加武拾武俵と云
是ハ武拾を俵と加四百六拾武俵と成別と云
上八俵乃同を俵引八俵と知是を八拾六俵と云
右四百六十二俵乃内を引七と云別ハ武百
之俵と云云云

亦

枚梅下武拾を俵より拾又俵を苗と云
各上苗り七俵あり

是ハ武拾を俵にを俵と云八俵より拾又俵にけを

苗上七儀と志くとも粒とりて又人乃仕方
てて見分

水油賣買乃定

油類拾掬と付	何拾何友替
同大取造と掬	三斗九升八
大取油相揚一石付	何百友替
油新掬拾掬と付	八拾三友替
油拾掬と付運賃	又拾貳友八分
同本深引拾掬と付	三拾友乃定

譬油と掬相揚拾八友替とて代金と百

答金と友二分三友

是ハ拾八友と志くとも拾百八友と取金と
よて志くとも一何友何分とて取八友と志くとも一

亦拾九友替乃油三斗八升とて是升の代を百

答銀三友

是ハ拾九友と志くとも銀三斗八升と別ハ初之
亦拾九友替乃油三斗八升とて是升の代を百

答油又升一友

是ハ二斗八升と、並拾九五と割又四と割ハ知ラズ

亦此大坂相場を石と付二面用替限さうと云

四分一と法掛を入江戸若何十何あるたう

善金貳拾五三分七厘五分可二毛不系

是ハ三百と並三石九斗と割是ハ百七拾分と或ハ法掛
標の代運賃米深引之は合百六拾又八分一厘を
是ハ百七拾分ハ加え是是二百三拾又八分と限
相場六拾四分と割を永限と或金不十分上端に云
ふと割てある

今御相場割乃

今御拾五何拾何五替の取引

但三本を法

大和荷 九貫三百目入

西園荷 拾貳貫 目入

譬大和今御綿を箇の相場九拾五替乃

代金何程

善金之五

是ハ相場九拾五と三不割を箇の代と云

揚わ耐の令、上ヶ六拾ふと然る但之相場は二と然れハ
根とる何程もて此公得る

亦兩國を箇有相場九五替の時代金何程の旨

答合三五三令七ふ武ふ尺屋

是ハ四三〇一七と或相場九拾五替を然るを永二八七
〇五六と或金三ふと上ヶ七半乃三令と上ヶ五二〇九
六と或是ハ六十ふと然るを相場とある也
相場の四と然拾五半は割ハ根とあるなり

酒賣買別物乃友

酒賣買武格

拾五何拾五替乃相場

譬酒を携有相場拾五五替は代金何程の旨

答金武歩拾武ふ

是ハ拾五五と是二を然るは四拾武ふとある二十ふ乃
武分引替り拾武ふなり

亦酒六駈有相場拾五五武分替の時代金何程の旨

答金九五三令九ふ

星ハ拾六也又と星六點を數生を永九貫九百文と
ある九也七半の二分と上ヶ残りに六十文と數ハ知る

◎亦 酒を樽代金式分拾貳或三斗又升入として
を升乃代何程々

答 壹貳貳分

星ハ金式分拾貳或と銀又志て四十二文と壹二斗半
又割ハ壹升壹貳分と志るなり

◎又 壹樽を二斗入と見て壹升乃代液を見る附ハ
拾六也なり星ハ壹也乃液相場を數て志るべしこれハ

星ハ小賣酒壹斗用ヨリ

◎亦 上酒拾貳點 下酒貳拾點 上酒乃相場と下酒
の相場と上下さるるを以て之也而る上下さるる

何右替々

答 上拾點ハ月 拾貳也替々

下拾點ハ月 九 也替々

星ハ下酒貳拾點と壹遠乃二也とハ式拾點と拾
又點の遠ハ點と割と上酒拾貳也替々と知る
拾貳也の内遠ニ也と引下酒九也替々と知る

亦下と先に見ると凡ハ拾又拾ニ遠ニ支と算拾又
殊式拾拾乃遠の又殊ニ割を下九支久と志す是
上ハ遠ニ支と加へて拾式支替と知るべし

融醬油割乃支

融醬油

支何拾替り

隔り

支何貫目替り

辟言醬油式拾又替支ハ八拾替りて代金を旨

答ニ支七支ト

是ハ式拾又替と並相賜八拾ぐりよれん支と上テ

残上ハ六拾支と算是ハ七支トと志す

紙賣買乃支

紙支何拾替

紙一帖式拾枚切

同子枚何支替

同四拾枚切

同支凡何拾支替

同八拾枚切

支紙一本何拾支

同六拾枚切

但ニ式百枚ハ多

譬紙百六拾支帖支拾又帖替支支拾支帖ぐりの紙
と替りふ支何ハ何と取て合ふ

善式百式拾支帖

星ハ百廿五俵と云々を八拾五俵と云々を
替り七拾五俵替と云々を百廿五俵と云々

擴賣費のり

塩 何拾何俵替 阿こ 二斗八升八

每回 二斗八升八 竹束 二斗八升八

その松 二斗八

○譬 赤穂 齋田 塩 三拾俵 赤穂 より 每回 六俵と

此大小何俵ぞり

答 大俵 赤穂 拾八俵

小俵 才田 拾貳俵

是ハ三拾俵又六俵と云々を大俵之(又此俵の
内六俵引て二つは割を小俵と云々を二つは割を
小俵と云々を)

石灰賣費のり

八五子 石灰 貳斗八 每何拾何俵と

一斗 三斗八

○譬 石灰 每二拾俵替 代金 四貳分と

俵敷當分は波を耐何俵ぞら旨
答又拾俵あり

是の金壹匁とおきた俵まで五匁をぬく故に金一匁
と重武拾又俵まで五匁を甲とある二匁合九俵とぬく
②代金貳匁とたす一匁と重九匁まで五匁は又十
俵ぞら旨。

素麵賣買の①

素麵拾箱有何分何分の賣買あり
山味拾貫目をも箱六百札入○半箱山味

又貫目二百札入大坂下りそらめん右代
落木屋大和屋常屋其外色々比そらめん
かま川そらめん 俵野そらめん箱仕入下り山味
川紙そらめんと何貫目替の賣買あり

譬

素麵壹箱相場六匁貳分替と代金と旨
答金貳分ト九匁あり

毛の相場六匁貳分と六匁と重六十匁とわらと重
三拾九匁とある金よよておらるべし

教乃子難節糶燭一倍増乃別の①

啓

穀の子

壹箱

代貳拾伍

穀節

壹箱

代貳拾伍

糠燭

壹箱

代拾貳

右二品全拾伍とて穀の子は穀節一とて
穀節は糠燭一倍とて黄四倍とて

穀乃

拾箱

善穀節

九箱

糠燭

四拾箱

是ハ穀の二箱代穀節貳箱代ろくく四とる

代合き黄百四拾とて同安よりて左に列ふと出全
拾九とて六拾とてかり同安よりて別を穀乃子拾箱と
せよそれより一とて貳拾箱又より一とて半箱とて
かかみの黄買乃事

かかみとて何黄同替

同き黄同何と替

黄買乃事

啓

銅百貫同賣

換百又拾貫同賣ハ銀百千と余

銅六拾貫同賣 換百八拾貫同賣ハ 貳百千と余

是ハ換銅拾貫同賣何と替

答 拾八目 洞七又五分替
拾八目 誤四 亦替

是六又或百七拾又洞百貫目を二七と云々
百又拾又洞六拾貫目と云々九と云二七と九と云
二六と云右別と云々洞百貫目又誤百八拾貫目と云
十八と云洞六十貫目と誤百八拾貫目又九と云十八
肉引を誤り九と云。是と目云又七右乃二六を別と
誤四又と云々なる也。○又誤百八拾貫目一四又と
誤り余り百八拾貫目と云々洞百貫目又二七と云

洞七又五分と云々あり

多系粉賣買割物と半

上洲 諸 友 何拾斤替といふ

水戸小山田を誤二俵拾斤何友替を傷十六斤入

新田のり百斤何友替と云

上系 乾 拾斤 何拾斤と替

煙草を斤八拾又云六拾又云六何拾又の問也

答 なる也 百即拾八分と云

是八六拾又と云十六と云八拾又と割は云々あり

亦 小山田を債金五分取替と代金とあり

答 五分取替とあり

是の相場亦五分取替とあり

亦 煙艸拾貳貫目有支と拾分替と代金何れも同

答 代金五分拾と五分取替とあり

是の拾貳貫目と重十六の割に七拾分有とあり八拾

分有と割に永七百又拾文の二分と上拾の永は

六拾分とあり是の拾と五分取替とあり

又十六の割に百六拾とあり行の定まり他貫目あり

十六の割に何れとあり十六の割を何れとあり

茶 賣買代 積りて事

川上 五本 拾貳貫目

所取 五本 八貫目

せらやど 五本 九貫目

茶 五本 貳百貫目定まり

但茶の相場亦は仍貫目替といふ

壁 京式心圓

拾貳貫目入
五拾貫目替

代金と同あり

答金をよめ部分おがなり

是ハ指部費用と部部圓とをさうして十の費用の
割にきまぬの部部と上をさうしてお指かとうひ
もバおらんとさうなり

亦 茶七斤の代九かき部拾き斤の代何れも同
答金をよめ部部

是ハ部拾き斤と部九かきとうひ七斤と割に部拾き
かとうひ拾き斤のき分引部浪拾部かとうひ
亦 茶拾部費用部部部拾部費用部部部合當かき

渡す時平均して何れも同

答拾部費用あり

是ハ拾部費用部部部拾部費用部部部合をいりて
四八とうひ是とたし別と部部拾部費用部部部合
二拾部費用と同安かしてたの四八とうひは平均
し拾部費用部部部とさうなり

薬種部部部物と部

茶種部部部定メ

茶種部部部同

何指かき部

是ハ相場六拾七両又ことりゆて志るこり

亦 大白砂糖を貫目にお湯七拾五丁で代銀何れ同

答拾五文或は或重

是相場七拾之両と志るゆて志る四六と志る是と
九割六拾六分或は或重と志る又志る分の代と志る
何れ右の拾六分或は或重二十六と志る六割六分又
九割重又毛と志る新と志る

亦 黒砂糖を搦は皆掛或拾或費或百四拾分有
金或拾八両替りて代銀何れ同

答 百拾八分八厘あり

是ハ皆掛或拾或費或百に拾分と抄之風袋或費
或百四拾分あり西條或拾或費と志る是ハ相場
或拾八両と掛又志るは或は或百と拾或費と志る
志拾分と志るは或は或重と志る又志る何れと志る
何れ代銀と志る味或拾或費と割十と志るは或は或重
九分或重と志るは或は或重と志る

亦 人参三分或は或重有掛目と志るは或は或重

或分替りて何れ同

答金三枚部分六分

是ハ重厚四枚部分と四分ハ重厚五分部分と加ハ
キ四四とあり是と四ハ別バ三六とあり三枚武
分金の上テ残り永ハ六指ぐと云ハ金三枚部分
六分とあり又十枚の別を武指ぐの別は口出ス

味噌 賣買 割積リ 之事

味噌 之を賣ル他拾何費目の替あり

譬

味噌仕込時 米を石五斗替大豆を石五斗
替清ハ用打込うして賣ル他拾何費替

大方と見ル時何程ハ旨 是と大方とあり

善六拾六貫目替積リハあり

是ハ米を石五斗一替と又豆を石八斗八と合せて
武石六斗と換是瓜字別七六十八貫目と大方此と
何程の相違も右ハ仕方も是あり

亦味噌を搦正味武拾六貫目あり

是ハ四拾貫目替也何程ハ旨

善武拾七貫目あり

是ハ武拾六貫目と又四拾貫目替也別ハ六二八とあり

ふ乃武分とて残一とふの六十ふとくれば二ふ
七ふふとてとるあり

亦味増ぬよ四拾八貫目替乃爾後相場ぬせ

文よ志て味増百文よ何百目下

善 九百ふあり

善の四拾八貫とて爾後相場ぬ貫文よと割を九貫ぬ
とるなり又善貫ぬの代をぬるは六拾八貫目替ぬ
強相場ぬとて割を善貫目百拾とてとるなり
百ふの四の目下なり

亦味増強武貫百ふよとて仕書附大貫を替れ付

三拾六の強を替れ付の三拾六又志不替并付

拾六又薪法入用百ふの切るふ合志不ありて

武貫百ふよと各何程書合

大貫	武斗八升
斗糶	武斗八升
志波	武斗或并ふ合

是の大貫を并乃代糶を并の代糶み合乃代二言の
代合八拾文とふる是と目替よとて或や百ふの四と

薪法用百又引を或費又と或是と八十又と別ハ
或斗六升と或斗六升と又合及此れハ下
とあり

炭薪賣賣乃中

薪あり

何百米増あり

又高本あり

何百米増あり

炭あり

何拾俵増あり

警

炭二千百三拾八俵とあり九俵増あり

代金何程とあり

昔百六拾八あり

是ハ二千百三拾八俵と並相増十九俵と別ハ百六
拾八ありとあり獨りハ六千ありとあり

警

薪三百六拾八。炭是ハ或戸又寸繩とあり

二尺繩と並一何米とあり

昔或百八拾八あり

是ハ或戸又寸とあり是を合之百六十米とあり別ハ
右ハ重四二尺とあり並薪合九とあり九と同安
とあり

亦薪二尺六寸繩旦とぬよ武百八寸束グエと
二尺繩又百四拾束乃代何程々同

善きぬ武分

是の二尺六寸とそ合因武百八拾束とわかれたと
四とさる是とたりふ別よ武二尺とそ合とさるよ
四拾束とわかれたは八六とさるたり乃二二四と同
是と割とさるよ武と合とさるよ武と合とさるよ
端の幅六寸とそさる

材木類割物の

板類

ぬ二何拾板割

同拾板

根何ぬ割

同き坪八寸人等

根何ぬ割

貫敷

ぬ二何拾板割

三寸敷

ぬ二何拾板割

中板板

ぬ二何拾板割

丸右

ぬ二何本割

丸右敷き本

根何ぬ割

角扣

ぬ二何本割

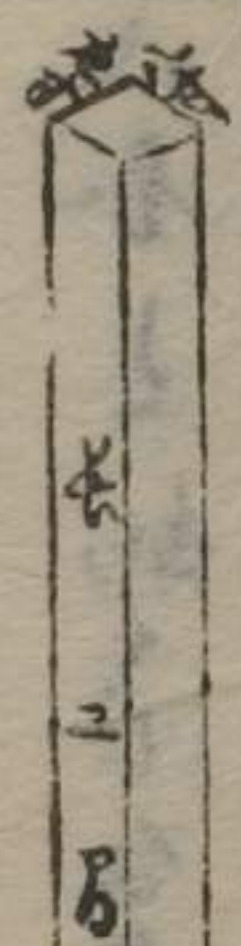
但角物七寸の角の尺メ多く何本
何分乃賣買あり尺メハ長武五尺角
且し本と本本を本乃賣買あり
九尺メ乃仕振とありあり



武間の七寸角を本尺角ニ並べて何後

善尺メ零九あり

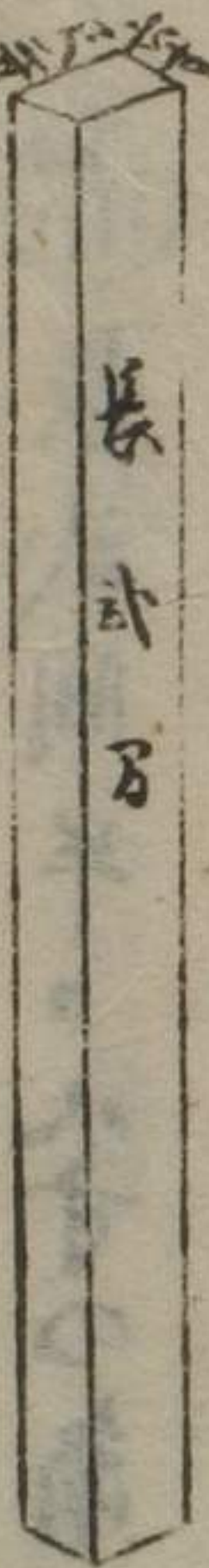
是ハ七寸とある方と並け合され七七四十九あり
是ハ九寸あり



武間の八寸と九寸尺角又並べて

善尺メ七分武五あり

是ハ八寸と九寸と並れ九七分武五とあり



武間乃尺二寸と六寸の平物と尺並に

善尺メ七分七あり

是ハ尺二と六寸尺角を七分七あり

善長二間の九寸角を本武五の尺角と並

何程の旨

卷尺の毫本抄ををるも

是の九寸紙ぬき重を合八十一とあり是は拾五寸かく
是を毫本式分ををるもとあり

亦長式間半・八寸の角を本式分乃尺角二一

何程の旨

卷尺の八分あり

是の八寸ぬき重を合六十四とありこれを八分五厘は
八分と知るあり

亦長二間半尺之は八寸の角を本式間乃尺

角は四と何程の旨

卷尺の毫本八分あり

是の尺之は八寸とを合一。四とぬき是は十七寸紙ぬきこれを
毫本八分式重とあり

右三間抄は拾五寸とけ之を毫本十七寸紙ぬき之を

と式分不割を拾五寸とぬき之を毫本式分不割は一七寸
とぬき其外何れも是を式分不割を法とらるる尺の

仕振るよりハ列也とぬき之より九寸紙ぬき

九寸に七をわくを六寸五分とあらうなり

これハ大方と見る何れ木屋まで

用ゆる早ざんまり

亦九木廻りニ尺六寸五分りけりおと角乃

面と百

答ハ寸〇尺五寸五分乃角とす。

是ハ廻りニ尺六寸五分とす或ハ七尺五分とす

亦九木廻り六尺二寸五分をさへ後ハ何尺答

答さへ後ニ尺五分

是ハ六尺二寸五分とす或ハ七尺五分とす

右角ハ材木ありまゝ賣買取引とあらひ二角ハ

九角五乃法外法因法外法ハより出せ

材木石積りの度

譬 材木長尺間尺或寸角を本石に積りて

何程とす

答 米或石固有

是ハ尺或寸或尺或寸角を合さ四口と成と七より

或石固有とあらう七ニ割を或乃を寸角七拾或本

了そき石目と定メるゆゑあると或る六寸角一本
又半目あり何はけいせをそき何方せも尺のく
七二は別と志るべし又運賃よりそ積りかゝり本
けりそ敷惣として本は石積りして三割きり又割
きり等乃定めり

船運賃割乃定

廻船米百石に付一の取と極めるあり
水國能積廻運賃有石運賃より
地廻運賃を賦し何百文の極め

同 壹拾に付 何文の極め

同 全壹分を付 何拾乃極め

同 全壹壹を付 何拾拾の極め

○譬 廻船米千二百拾又石積 運賃百文付八石は
極め積石乃同運賃を引本米と運賃米と
何程の同

善 本米 千百貳拾又石あり
運賃米九拾石あり

是ハ積石ハ貳百拾又石又八石とけ百八石より是ハ

運賃米と志とあり又積石と百八石と割の本米と
志とあり

飛御賃割乃志

京大坂東海道船 ○二日四日六日九日十二日十四日

毎月飛御出日 ○十六日十九日廿二日廿五日廿九日

同所早飛御 月ぐよりぐるなり

同仕立三日半早飛御乃賃金七匁五分ぐり

系大坂荷扱お結賃大方を以同に相限六七匁ぐり

同所為賃金拾匁に付限を五匁からぐりの割

上及高勝最忌忌 毎月十二さい 一匁六十一より

同相生大間忌 毎月六さい 四十 より

真良仙堂道筋 毎月六さい 一匁 より

仕立早飛御江戸から系五匁自米よもり飛御

賃金四匁五分或米よ換り書状三匁後同一匁

沿津に居ケ又一匁の吉田に居砂一匁の京へ居ケ

道法江戸の沿津に二十里江戸の吉田に七十七里

江戸の系五匁或拾七里乃積より七極結賃の

割と取寄五の状賃何程ぐり

全武分七ふみち

沼津乃状候

答全一五二分六ふみちあり

吉田乃状候

全武分八ふみちあり

系部乃状候

邑のぬまづ三拾里吉田七十七里京百武拾七里二口合二百
 三拾四里とある是と同安ありて九(列)の並價四取三分武集
 と六拾交乃限又並一武百九拾武交ふかとある同安ありて
 別ハ吉里を武分八厘つと成也へ三拾里とを沼津
 乃價取里(又)武分武下みちを七十七里とれを吉田の價
 (又)を武分武下みちを百九拾七武とれハ未乃價あり

何年乃乃十二交と知る筈の

譬

安永四己未年か百八拾八年迄の付後と百

善率^{あるより}間乃とある

邑ハ十二交とある耐百八拾八年と並十二で引落し
 残り拾と法十四と並け同拾を引を残り三とある
 未のち一ゆ未申酉と先へ三つをゆまを酉のちと
 わる(又)十干とある耐百八拾八年と並十で引おし
 残り八とある法十二と並け同八を引を残り七とある
 乙のち一ゆ乙丙丁戊己庚辛と先へ七つをゆま

仲是を辛よりわらふ多し是辛乃酒と志影くたう
何年改りてもは仕法よそあるべし

利息勘定乃ゆ

○譬 貨物利息百文と付四文づの利息あり是ハ

何れも分りあるる旨

善六文と付 善分乃利息あり

是ハ法より九甲と重り又、割をあること何よりても
正當と重りて割を知らん

○亦 元金三拾六文とみ五月かゝ拾又五善分あり

利息何れなり

善 金三文あり

是ハ三拾五文と重り五月とを右より列し重拾五文
四と付六と重り右乃十八を六とて五れを利息とせぬ
とあるなり

○亦 銀七拾文とみ五月かゝ一月武分乃利息あり

何れなり

善 四文武分あり

是ハ七拾文と重り五月かゝ一月武分乃利息あり

是は利息二分とすれを四割五分とするなり

亦元金三百兩を一年五分とするなり

何程の向

若六拾兩あり

是は三百兩に二分割とすれを半年とするなり

又元利元金に月五分割とす元と一口少く十二とす

元金三百とすれを利息金合せて三百六十とす

若くあり

亦元銀を貫八百目月二分割の程の向あり

利何程の向

若二百目あり

是は元銀二分割をすれを半年とす元銀を二分

少利三百目とす二分割とすれを半年あり

亦金三拾兩一月五分とす利をすれの何十兩

是分又わたる向

若六拾兩あり

是は三拾兩に五分とす拾兩とすれを半年とす

別は五分とす十八兩とすれを半年とす

貳拾又取とありあり

○亦 金九百七拾六取利は二割半よりして三年

かきと三取又二取乃五取に一と何取の九名
答は百取づと二取九て合あり

星ハ二取り米と重一取之入一二取法よりして一と割ハ
ハと取の八又二取久て一八と取一取乃法より三取を
一四取と取の二取加て二四取と一取法に五取を一九取と取
是より九百七拾六取と取れたと又百取づと三取と取
個取の八取又取の八取別な五何取とと右凡

仕方とて合あり

○亦 銀百文の付き十月間貸す乃利よりして八ヶ月と
三百文利ととるハ元銀何取の旨

答 九百文あり

星ハ三百文と並同銀を引を二八八と取是と四又よ
五取を七二と取是と八ヶ月の五取を九百文ととるあり

○亦 元銀壹貫又百圓より利は三百取あり是ハ
何取の取の旨

答 貳 割あり

元利根と元根とを混れを知らずなり

亦元根と百圓利を割り分けて之を

利不割を加へ何程か

善七百六拾五字を七毛五束に成

元利を割りて一四一と成元利一四一を

割れを一四二。八七五と成元利一四根と百圓の利息

ありなり

亦利根と元根とを混れを知らずなり

善七百六拾五字を七毛五束に成

善七百六拾五字を七毛五束に成

是の三十日以内と成元利と成元利とを混れを知らずなり

定同引外引内増外増の割

外二より引ハ 十二の割ハ

内二より増ハ 八の割ハ

外二より増ハ 十二の割ハ

内二より増ハ 八の割ハ

何割引増とを混れを知らずなり

知行方乃直

譬 言拾万石物成四六分物成五石付以米
三升米八升米何程云

熟物成

六万九千石

善口米

貳千七拾石

夫米

貳千八百石

是ハ高拾万石以四六分と知く是を物成と知く
②物成ハ三升と知く是は米と云ふなり③八升を
知く是は夫米と云ふなり④大之は乃成米合一石

月子と知ハ口米三升入夫米八升合是ハ善口米加
て四六分と云ふ拾万石と知く是は本米口米夫米
三升合七万六千八百九十石と知くなり

亦 本米口米夫米三升合七万六千八百九十石之

此物成四六分口米善口米三升夫米善口米付
八升ハ小善口高何程云

善口高拾万石なり

是ハ口米三升以夫米八升合善口米三升五石と云ふ
善口米三升と云ふ四六分と知く是ハ又善口六と云ふ

粟と同申を以て方七万六千八百九十石とされたる
はより式量石を斗を升より割て本米と考へ之

亦 三升乃四米八升乃米二石合七千八百九十

石乃何の本米何程の間

養本米六万五千石

粟は口米史米合を斗を升より七千八百九十石と割り
本米と考へたり

亦 口米斗の何程の間

昔武千の七十石あり

粟は七千八百九十石三升をかり口米史米合を斗
を升より割るを考へたり 又史米斗の口米と合七千八百
九十石史米八升をかりてを斗を升より割るを史米
又千八百九十石と考へたり

亦 拾五万石乃物取六万九千石あり

何程取らば

答 四の六分あり

こ是ハ拾五石を同安と表て成米を口米と考へたり

六分と志取りあり

斗代り乃り

譬 二反八畝ありき及に付き石八斗よりしき

何程り石

善四石又斗あり

是ハ二反八畝とありき石八斗とありき四石
五斗とありきなり

亦 八畝拾八畝ありき及に付き石八斗より

高河後り同

善五石又斗よりあり

是ハ八畝拾八畝ありき及に付き石八斗より
あり八畝ありき及に付き石八斗よりあり
又斗三石とありきなり

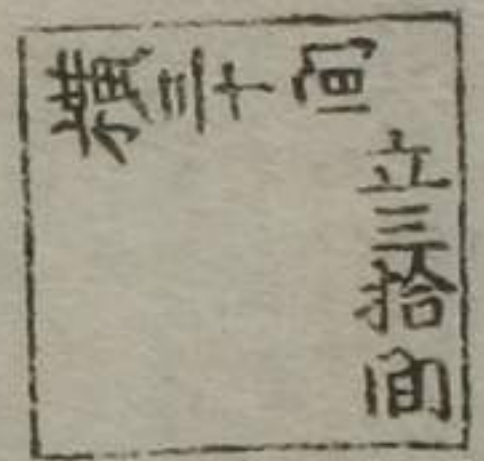
亦 善町二反三畝ありき及に付き石八斗より

四斗あり是ハ何石代り高河より

善 善石八斗あり

是ハ廿二石あり斗四升とありき善町二反三畝
小割の善石八斗とありきなり

検地積リ之率



立三拾間

横三拾間

此坪と云ふ

答九百坪あり

是ハ立横を合すと云ふハ九百坪と云ふなり



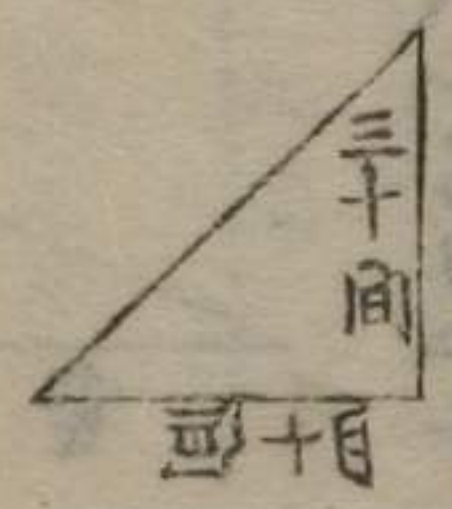
長廿八間

此坪と同ハ

答三百三十六坪

横拾二間

是ハ長横を合すと云ふハ三百三十六坪と云ふなり



立三拾間

此坪較と同ハ

答六百坪あり

横四拾間

是ハ三十間と四十間とを合すと云ふハ六百坪と云ふなり



立八間

此坪と云ふ

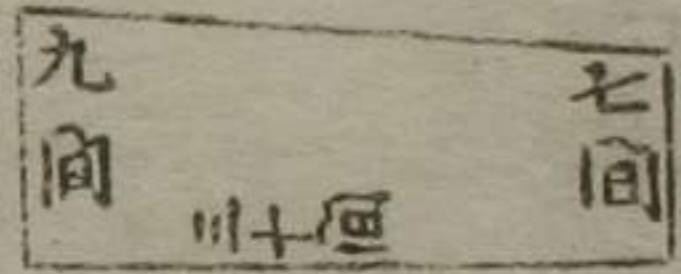
答七拾六坪あり

横拾九間

是ハ十九間と八間とを合すと云ふハ七拾六坪と云ふなり

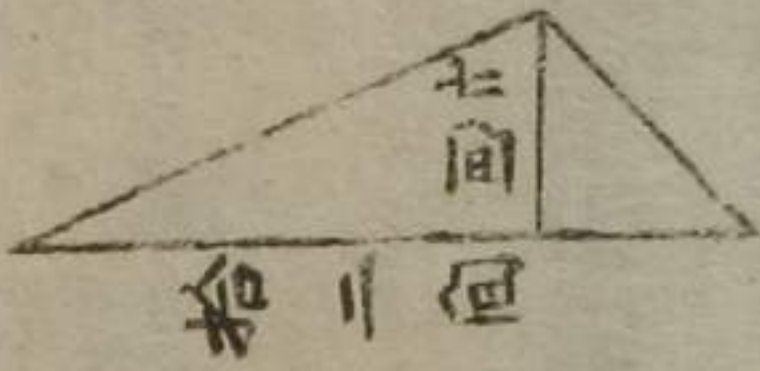
六十九

六十九



立七間と九間
 横三拾間
 廿四拾坪あり

是ハ七間九間と云々是ハ十六間と云々横三拾間と云々刻ハ云々



横拾貳間
 立七間
 廿四拾貳坪あり

是ハ七間九間と云々是ハ十六間と云々横三拾間と云々刻ハ云々



立九間
 横六間下横八間
 廿六拾二坪あり

是ハ六間八間と云々是ハ九間と云々刻ハ云々



立七間
 横三尺
 廿四拾五坪あり

是ハ七間八間と云々是ハ九間と云々刻ハ云々

十六間

う波一

拾六間

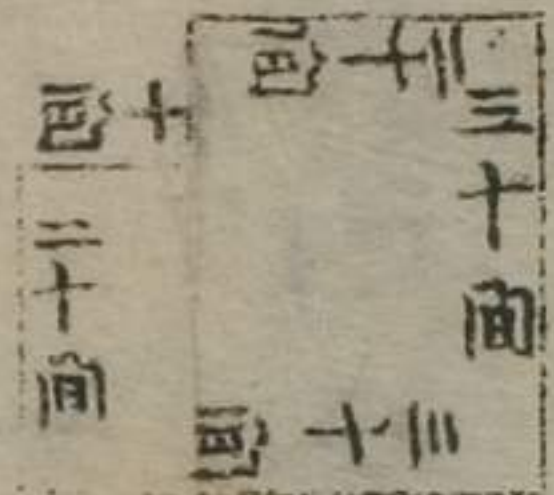
い坪とら

各二百二坪二分四厘

是の十六間とを合二つとらる是(七九とをさるあり

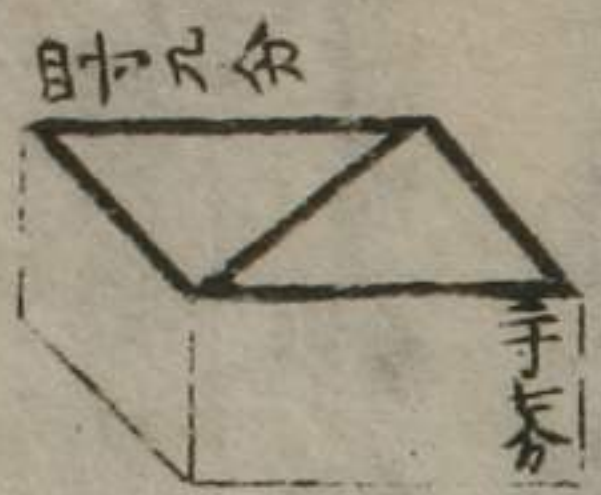
立三合間二武拾間 け坪とら

横三拾間武拾間 各八百坪あり



是の三拾間二武拾間とを合と別二つとら又武拾間二拾間とを合とらる是の八百坪とをさるあり

田法は右坪敷と二ツ割ハ何及何畝とあるあり
三百坪とら及三拾坪とら二ツ割とある三拾坪の内何接
歩と別るを歩の坪之換地田法右とら方面を合を坪敷と
是九二角六分八厘法とをさる知るは法也
外 法積りとら

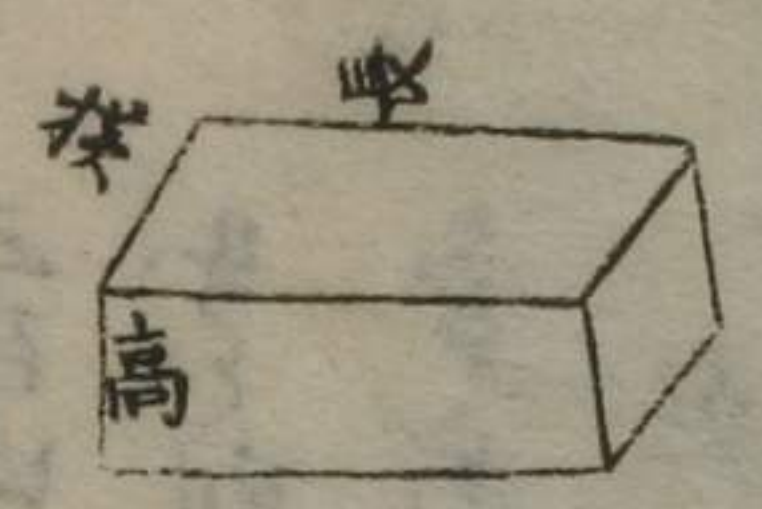


口四寸九分 是外八何坪有ら

深二寸七分 是早坪六拾四坪八分 武屋七色あり

是の四寸九分とを合是は深二寸七分とを合は是の四寸

六面の坪六拾四坪八分或重七毛之寸分四方六面之六方四千
八百二十七歩之是ハ寸外の寸坪之寸重六四八二七と外法
と何程の大小とも口とを合深サとを外法六四八
二七とて刻ハ志スルアリ



長 四尺九寸

横 三尺四寸七分

高 一尺八寸九分

何程ハ寸々

合或石を外入

是ハ長四尺九寸ニ横三尺四寸七分と重七毛之寸分四方六面之六方四千八百二十七歩之是ハ寸外の寸坪之寸重六四八二七と外法と何程の大小とも口とを合深サとを外法六四八二七とて刻ハ志スルアリ

外法六四八二七とて刻ハ志スルアリ



口 一尺四寸九分

深 サ 一尺四寸七分

何程ハ寸々

合七合九寸八分

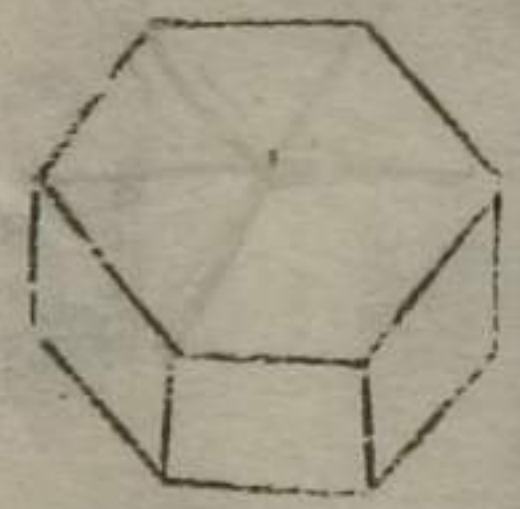
是ハ口四寸九分ニ重七毛之寸分四方六面之六方四千八百二十七歩之是ハ寸外の寸坪之寸重六四八二七と外法と何程の大小とも口とを合深サとを外法六四八二七とて刻ハ志スルアリ



口六寸 寸坪とらふ

深サ壹寸 答百。四坪部八厘

是ハ口六寸とを合七九とを又(又)深サをて二寸(割ハ
あふ)非(法)まで割ハ何非ハとあふらり



六角の面四寸 何非ハらふ

深サ 四寸 答二坪六合九夕二也

是ハ面四寸とを合一六とあふ深サとをて六七二こ
らふ(又)六角の法二又九八とをて一七四又八又あふ
らふ非(法)又(割)ハあふらり



口八寸 寸坪とらふ

深サ壹寸 答貳百又拾六坪

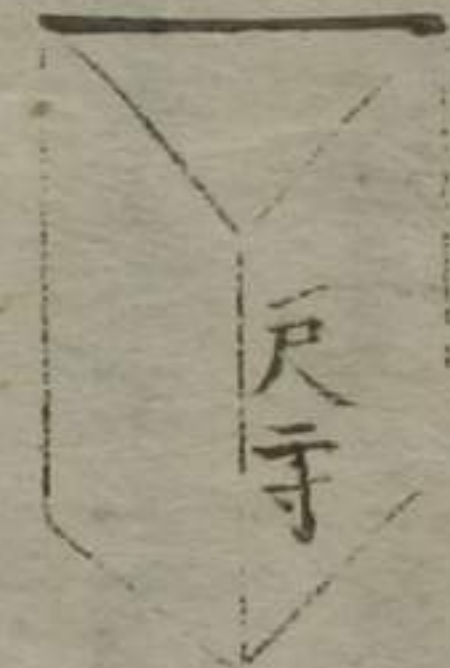
是ハ八寸とを合(又)深サを二寸とを三寸(割)坪部
とあふ非(法)割ハ何非ハとあふらり



たのまき入
あつさぬ寸 寸坪とらふ

たのまぬ寸 答貳百又拾坪
長サ壹寸

是ハ壹寸とを合一とあふとらふ(又)何非ハとあふらり
とあふ非(法)とをてあふらり



三角口を金寸寸坪とらふ

深サ 五寸八分 答九百拾二坪七口

先八面を金寸寸と合(又)深サを八寸と合(又)三角の法
四三二とを金寸寸坪とらふ



口 或八寸五分 或六寸五分

深サ 二寸五分 答四百二坪二合八

先八面と合深サとを合(又)三角の法四三二
とらふ(又)割が坪とらふ(又)坪法に
割が四中と合(又)合の法とらふ



上長サ 拾六間

日横 五間 坪とらふ

下長サ 拾九間

日横 七間 答四百拾二坪

高サ 四間

先上拾六間と倍下拾九間と上上の横又間とを二又とらふ
別は下拾九間と倍して上拾六間と上上の横七間とを
三七八とらふ右の二又と或は合六三とあるは
二又四間とを合六三と割が四中と或坪とあるとらふ
大方積りするは何れもけいあり

配分金人教金と云ふ事

啓 金八あり九あり七あり又七あり九あり八あり
余に一人教金と云ふ事

答 人教の八金百拾とあり

是の余り八あり又七ありと云ふ事
あるは人教十ありと云ふ事
と云ふ事
亦 銀ありと云ふ事
云ふ事

答 人教 九 人
銀あり 七拾あり

是の余り二拾ありの内解り
別は金あり八ありの内
又九あり八あり
同本綿反教人教と知る事

啓 本綿拾貳反り分
又十ありと云ふ事

早川

三十一

答 人殺 貳拾又人
本綿 貳百九拾九反

是の言又十を及の内不足と及と引強り又拾反を
別よと重又拾四反の内十貳反引バ遠 貳反なり
是も右を拾反又割バ廿又人とちなりなり又廿五
拾貳反と重又言と及引バ貳百九拾九反と重なり
人子ぞんのみ

譬 人子殺七つ代廿をうて重なりなり下して
何れなりなり合なり

- 一 四又八分
- 二 四又貳分
- 三 二又六分
- 四 二又二分
- 五 貳又四分
- 六 壹又八分
- 七 壹又二分

是の言貳三四又六と合て貳拾をのちも八六分と
かれを拾貳又六分と重貳拾を又八分人子殺
七つ又五れをかりら乃代重八分と重なりなり
六分引を強り乃代重れなり又重なりなり
貳拾を又乃内又右乃拾貳又六ト引 七又五れ

を多乃代きみ武分と志を有り以費よ六分づで加へてあるべし

亦 假敷八つ乃代四拾一な武分星を志并に

八升と次費又志并より丹し何程も

- 一 九分六分
- 二 八分四分
- 三 七分二分
- 四 六分
- 五 四分八分
- 六 三分六分
- 七 二分四分
- 八 一分二分

是ハ幸武三四五六七八と合二十六あり是と同安

よ志で四十二な武分と志れを小乃代假きみ武分と志り次費小な武分と志りて初より

亦 又の組三拾六分までかいらふ六一割下り

三六二割と候く下して六何程も同

- 一 九分
- 二 八分七分
- 三 七分五分
- 四 六分三分
- 五 五分四分

是ハ十九八七六と合て四十ありこれと同中をり三拾五分と志れをかいら九分と志り九分又九分

かかれを二とん乃代九か又八をうくれを二乃代九か
七をかかれを四乃代九か又六をかかれを八乃代九

亦七の組大の四か八かよとあるをみかぶらなり一ツ
六を遣りて熱代根何程と旨

善哉拾をみかぶら

是ハ巻武三四五六合て九一なり別は置四か八か
乃内をみかぶら引ぬら三か六下と遣六下と遣れを
六と成右乃九一をかかれを拾武か六下と成別は置
累か八か又七とかの三十一か六下と成うらをかか乃

拾武か六かと引を武拾をみかぶらとありなり

讓金割合乃復

譬

金千。六拾ある兄才三人へ後を兄の妹へ
四拾ある落妹より才の三拾ある落よりしてお乃く

何程ぞと旨

兄 三百九拾ある

落妹 三百又拾ある

才 三百武拾ある

是ハ兄妹乃遣四十ある兄と才乃遣七拾ある合せ

百拾五あり 是を金高く加へて三人に割見乃五分之
四拾五引と妹乃取分内三拾五引ハ才乃取分と
あるなる也

亦金三百五六人又割後を以才七五落より

何程の旨

- 一 六拾七五武分
- 二 六拾五武分
- 三 五拾三五武分
- 四 四拾六五武分

五 三拾五五武分

六 三拾五武分

是ハ一二三四五と合十五とある也又七と引きて
百〇五あり有金加へて四百〇五あり六人又
それをき者乃取前とあるべし次才に七五落して
あるべし

亦銀七百三拾八五と四人に後一がら分
武割落よきて何程の旨

答 是武百五十也

- ニ 貳百 ぬ
- 三 百六十 ぬ
- 四 百廿八 ぬ

里ハ一と列ハ一並キヨハと數ハ分と數是と列ハ並
 又ハ分ヨハをけ六分四厘と數列ハ並六分四厘ハを
 かけ分キ重貳毛と數右四に合ニ九又二とあるを
 同ヤとみしてわり根を置進をキをん乃ころあ
 貳百六十ぬとあるニと四とんくヨハをかく進を
 志とけり

爲 おく 積り ち 事

譬 爲 三寸 四方 寸を 六尺 四方 の 内へ おく ち
 何 ほど 入り ち ぬ

答 四百 枚

是ハ六尺とあるを合九寸とあるを同安うて
 三寸とあるを合九寸とあるを同安うて
 右と割ハ四百枚とあるなり

亦 三寸の爲 貳枚 あり 四寸の爲 一 あり
 何 ほど 入り ち ぬ

答子百式拾又牧

是ハ三寸の幅あるを合又式又牧とをれだ
拾八とあるは別うを四寸の幅あるは合てを
合拾とあるは是と同安うて拾八と割れは
子百即拾又牧とあるはあり幅の積むは積の
形も坪敷と積り幅の坪うて割はあり

矢竹敷と知るる



矢竹敷は束ある周拾八寸とあり
敷敷何寸とあり

答三拾七本

是ハ周拾八本と合六本とあり即拾四と
ある周拾八本とをて四之即とある拾又
割バ三拾六本とある申さるは三拾
七本とあるはあり



三角束周拾八本とあり
敷敷何寸とあり

答即拾八本といふ

是ハ周拾八本とたあるは三拾七とあり

是ハ解リ教キツと四ツツとモ入部ツあまのりあ
ゆへ二のハとモ是モ指式らもあまのり或指と
志しうり解りあしりあ付六十式も百部指
ともらあまのり何れぞあまのりも何れぞあまのり

百又減の刻々事

百又びんの年の教との教も熱教といひ
ね付とてよそ引解の教も熱教あまのり

又ハツツ引バ 何れ余るとる 二ツ余るとる
又ハツツ引バ 何れ余るとる 二ツ余るとる

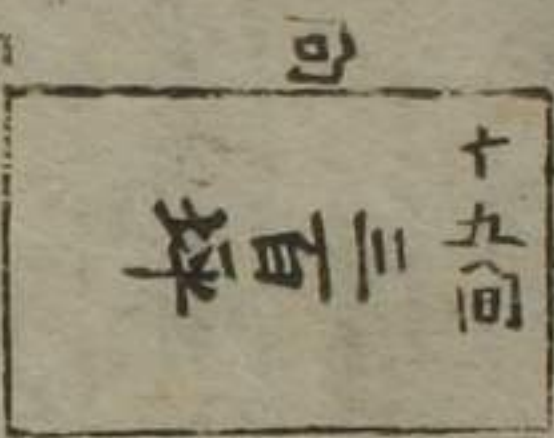
啓

又ハツツ引を何れ余るとる 一ツ余るとる

善悪教又十二といふ

是ハ七つづ引と死余の一ツを十又つとモ入二ツ余り
ゆへ四又とモ並四又つづ引と死余の二ツを十又と
づとモ入二ツあまのり四又とモ並四又つづ引と死
解りきつと七十づとモ入二ツあまのり七十と並二ツ合
百又十七と並四又つ引を又十二とモ入個引解あ死
と死ハ引きつとモ入二ツあまのりあ死と死を百又つと
あまのり

平坪積りの半



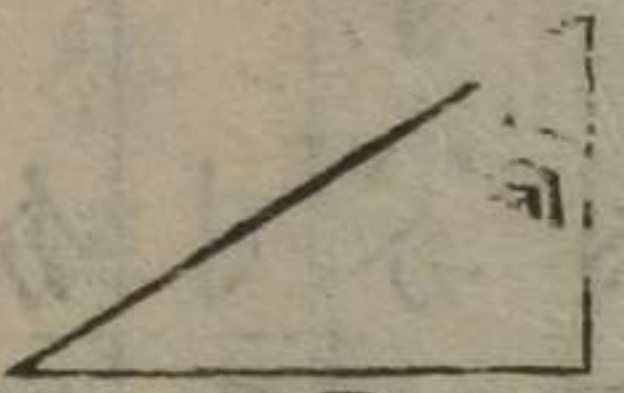
積リ二百坪あり

長サ何程の間か

横拾又間ニシテ

答 貳拾間

是ハ積キ二百坪トシテ長サ何程の間ニ刻バ貳拾間トシテ

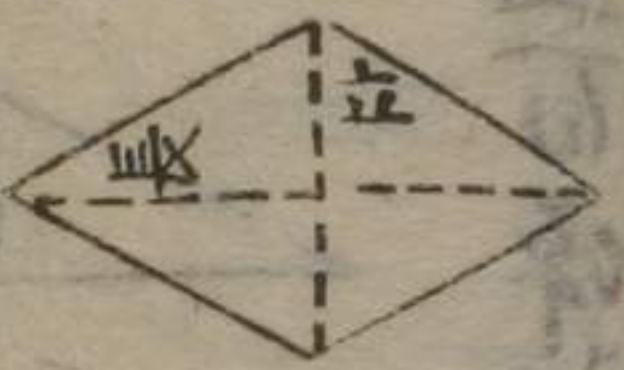


積又拾坪あり 股とらふ

約八間より

答 拾貳間也

是ハ又拾坪トシテ長サ何程の間ニ刻バ拾又間トシテ



菱形寸歩

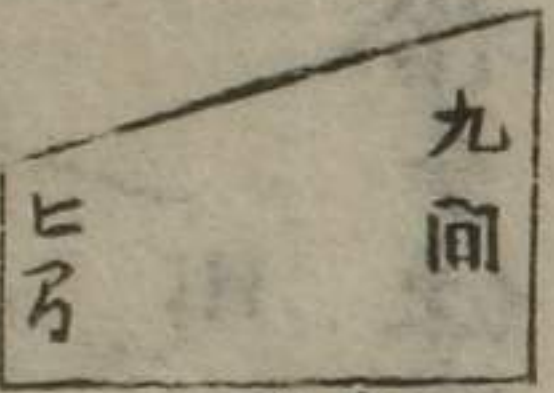
又拾四坪あり

長サ何程の間

長とらふ

答 九寸

是ハ又拾四坪トシテ長サ何程の間ニ刻バ拾又間トシテ



積百四坪あり

長サ何程の間か

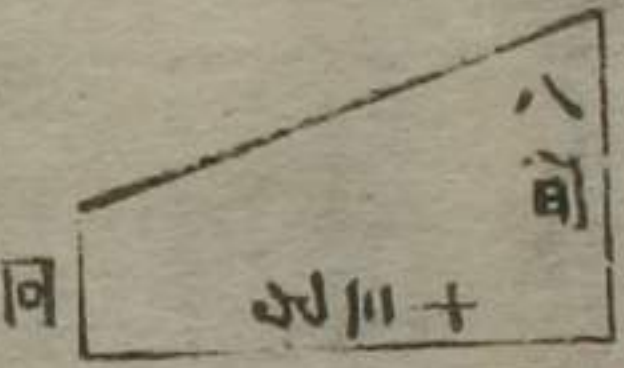
横九間トシテ

答 拾三間

是ハ百四坪トシテ長サ何程の間ニ刻バ拾又間トシテ

三

九



積七拾壹坪半あり

八間拾三間

長サ約七拾五間

答 三 間

是ハ七拾壹坪半あり七十三間刻ハ括キ方ハ八間刻ハ二方ハ約

積三百坪あり

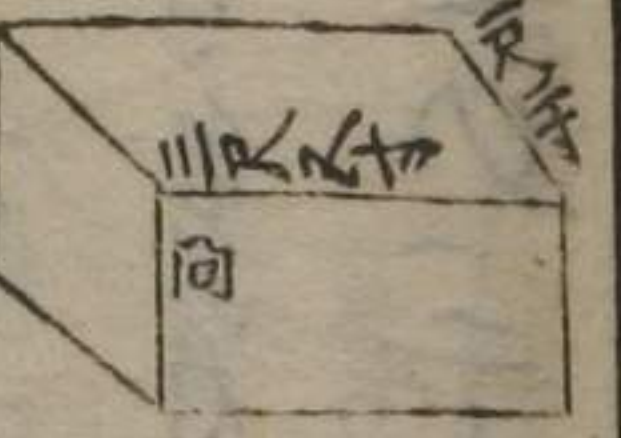
中八間ニシテ

長サとらふ

答 七拾五間



是ハ三百坪と倍シテ八間ハ刻ハ括キ方あり



寸坪八千四百坪

長三尺六寸

横五尺二寸

長サ約七拾五間

答 三 間

是ハ八ハ四四百坪と倍シテ三尺六寸ハ寸坪八千四百坪と

是ハ四二とあり是ハ八ハ四四百坪と刻ハ括キ方あり

寸坪或百坪あり

方面六寸四方

答 八 寸



是ハ或百坪と倍シテ六寸とを合シテ八寸とあり是ハ或
即百坪と刻ハ括キ方あり



寸歩

二百き坪

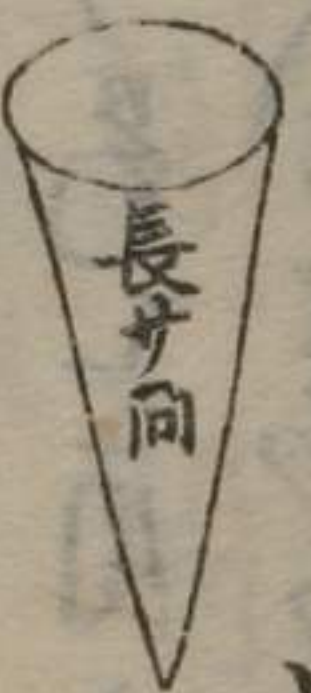
さすところ

上方面又す

答 七寸

下方面八寸一七

是の上又すとを合せぬところ下八寸とを合せぬところ
うの上又すと八寸とを合せぬところ二口合二九とある
別は二百き坪二百き坪と二とを九百二坪とある
と名の二九とて割るさ七寸と志すところ



寸坪七拾九坪

さすところ

口又すところ

答 七寸八寸

是の七拾九坪とを合せぬところ七九と別別の右とを合
とを合二又とあると同安は右と割るさ七寸と志すところ

寸坪或の四百坪

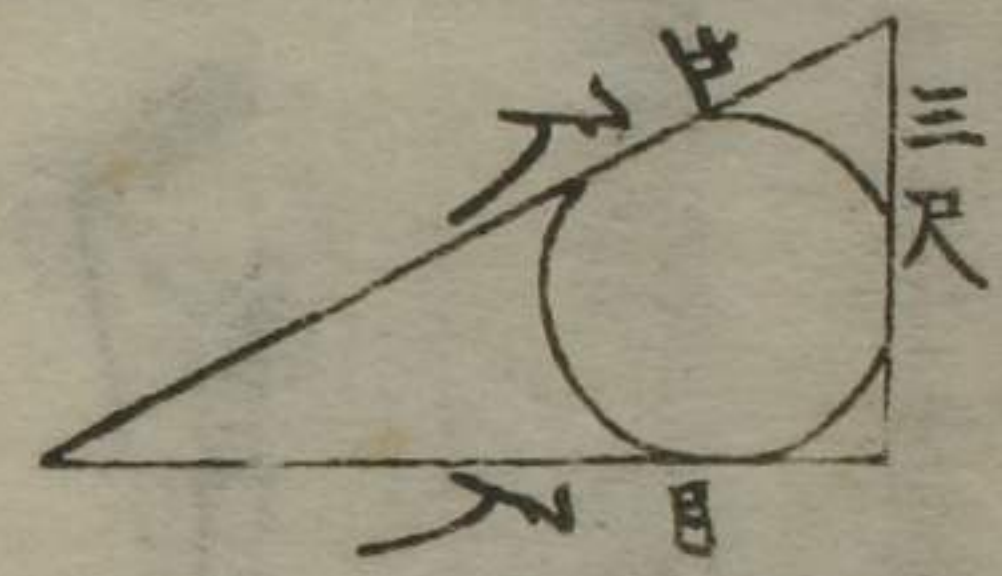
深さところ

口二寸一七

答 八寸



是の或の四百坪と二とを別したるは二口二寸とを合
九とあると同安して割るさ七寸と志すところ



白 三尺
股 四尺
弦 五尺

大サ何程うらふ

答 貳尺

是ハ二尺ハ又四尺とをチ倍して貳拾四とあり
別よ二尺又三尺四尺ハ尺ハ三口合て七尺貳尺
あり是と周長ありて右の貳拾四と割が
即尺ハ二尺とあり



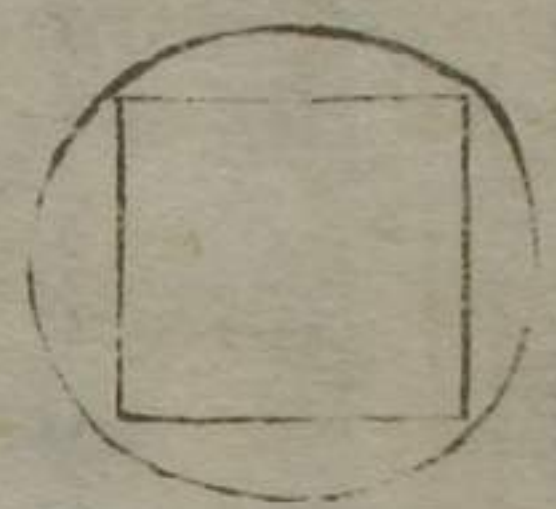
白 三尺
股 四尺

何尺四尺あり

答 七尺

五分四厘二毫八糸

是ハ二尺ハ又四尺とをチ倍して八とあり
別よ二尺又三尺四尺ハ尺ハ三口合て七尺貳尺
あり是と周長ありて右の八と割が
即尺ハ二尺とあり



丸の径より大四寸五分四厘或元
け内二角と入付 角の面何れより
答 寸八分四厘

丸の径より大四寸五分四厘或元
割の角の面より大寸五分四厘

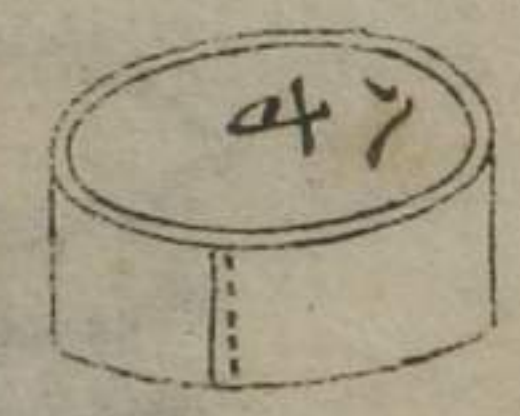


菱の角より大寸五分四厘
立九寸 面寸五分 答 七寸五分

丸の径より大四寸五分四厘或元
割の角の面より大寸五分四厘



三寸入箱 深サと同カ
長キ大寸 横キ大寸 答 寸八分四厘



三寸入口八寸にて 深サ何れより
答 寸八分四厘

丸の径より大四寸五分四厘或元
又七九の七割別より寸八分
とを合六四の寸五分四厘と同カ
七割の寸八分四厘

右にありしとて延乃江戸相場割とありしゆに
 出を是より漫進ある割物へ以後増補を
 なるにたに志るを定位法用は開立早集平
 法乃備御をありしと目初公乃子引せんも
 平法乃圓或割附成くくしを志る一用平
 早集秘傳と題号あり別去折本せしむ
 出を是を得て平法乃御を志るべきなり

位見指の傳

割銀

まぐくと四千人の割ハ何れもなり

春 二系又忽なり

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十
目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目

位見指の傳
 一系又忽なり
 二系又忽なり
 三系又忽なり
 四系又忽なり
 五系又忽なり
 六系又忽なり
 七系又忽なり
 八系又忽なり
 九系又忽なり
 十系又忽なり
 十一系又忽なり
 十二系又忽なり
 十三系又忽なり
 十四系又忽なり
 十五系又忽なり
 十六系又忽なり
 十七系又忽なり
 十八系又忽なり
 十九系又忽なり
 二十系又忽なり

位の見指の伝まぐとの処とまぐを定立するもの
 柄は早集とまぐ千人百千人とまぐのやまは四千人
 割は千人のやまを柄とまぐを定立するもの
 上(四)目の柄は千人のやまを柄とまぐを定立するもの
 四(四)目の柄は千人のやまを柄とまぐを定立するもの
 是の早集のやまを柄とまぐを定立するもの

まぐの柄はまぐのやまを柄とまぐを定立するもの

早割

九日

割 金貳拾万両 千両箱入て何箱うらふ

答 貳百箱 うらふ

是の部指万両の柄と云箱と云字をさしきうの上を箱
十箱百箱を箱と云位と云て千両箱を割りて
箱の位と云柄と云てはさうして扱箱の位と
位何拾万箱と云是と云下より九万両と云あつては
割りてはさしきと云位何指万箱の柄よりと云
何指万何百と云と云てはさしき箱百箱と云は
割 米九万石 八百石箱にて何何艘うらふ

答 百八拾艘 うらふ

と云はさしき箱と云位何指万箱の柄よりと云
十艘十艘百艘と云位と云てはさしき箱の位と
て万の位と云と云下より九万石と云はさしき
箱と云位何指万何百と云と云てはさしき箱の位と
何百何十艘と云と云てはさしき箱の位と云はさしき
割 麦三千六百石 甲乙并合して何艘うらふ
答 八の儀うらふ

是の部六万石と云はさしき箱の位何何百何十

何石何斗と位と見えて四斗又斗よ割ゆ
何斗の斤とき杉さみ日暮らて扱何斗
の斤と位とき儀と見えとささり云ふ六百
石と四斗又斗よ割ぶ八とささり位とき儀の
杉さみとささり儀拾儀百儀ふ儀とささり
ささり八ふ儀とささりささり

割 絹六斗八人 又すつふ切ハ何程ささり

答 百四切ささり

是ハ六斗八人と儀又すつふ切ハ何程とささり

ささり又すよ切ささり六の杉さみ何又何又何す
と位とささり又すつふ割ゆすの斤とき杉
さみ日暮らとて扱すの斤と位とき切と見え
又六斗八人と又すよ割位とき切の杉さみとささり
十切百切と見えささり

割 銀百九十九貫目 是ハ八分つふ割人較と同

答 拾六万五千貳百又拾人ささり

ささり下一と位と見えささりささりささりハ
右はみ

割板八千枚 板三拾枚替り代合とらふ

替 百六拾枚とらふ

是の下へ位と見らるり 割板右同也

割小豆を石を中を外武合

四百人割き八よ何終らる

替武合七百八也

是の上へ位と見らるり 割板右同也

割銀を石 或万人の割り何終らる

替 八忽とらふ

是の上へ位を見らるり 割板右同也

割釘九百目 千本に付同く二枚と

右何本あると問

替 三拾万本あり

是の下へ位を見らるり 右同也

掛板八千枚 替板四十三枚とらふて何様と問

替 三百四拾四貫目

是の八千枚乃けりて何文何百何拾何枚と問

桁を替桁とらふと問 是の桁を四十八枚の位と

おしえ八千枚又四拾三枚と數それより後四十
乃けさうくさるらんぐ上へ何拾何百何貫何
何百と大敷へうをええれと二百三拾四貫目と
志すかるよ

掛 大判八千枚

き枚七ぬ武分つよ志て何ぬと問

答 金二万七千八百ぬり

是ハ八ぬ枚乃折より何千何百何拾何枚と問
けとを志りぬ死問志しと道きくぬきぬ

の掛と切ぬへぬ枚よ七ぬとくひ位き支の掛
よりよくもへん色ばあうさう

掛 八万人

き人よ米きる八事つて何銀問

答 米九万石さうり

是ハ八人位とんさうりかひぬうたけり

掛 新部万石

き米みりつとて代銀何銀問

答 銀五貫目さうり

是ハ八人位とんさうりかひ銀右日銀

掛 米三拾部石

き米の掛のこ四百目

て何ほどうさふ

答 百部百八拾費用あり

是のより位と見ゆるより かけきりあひぬ

掛米 六万九千石 きてるより又合つた

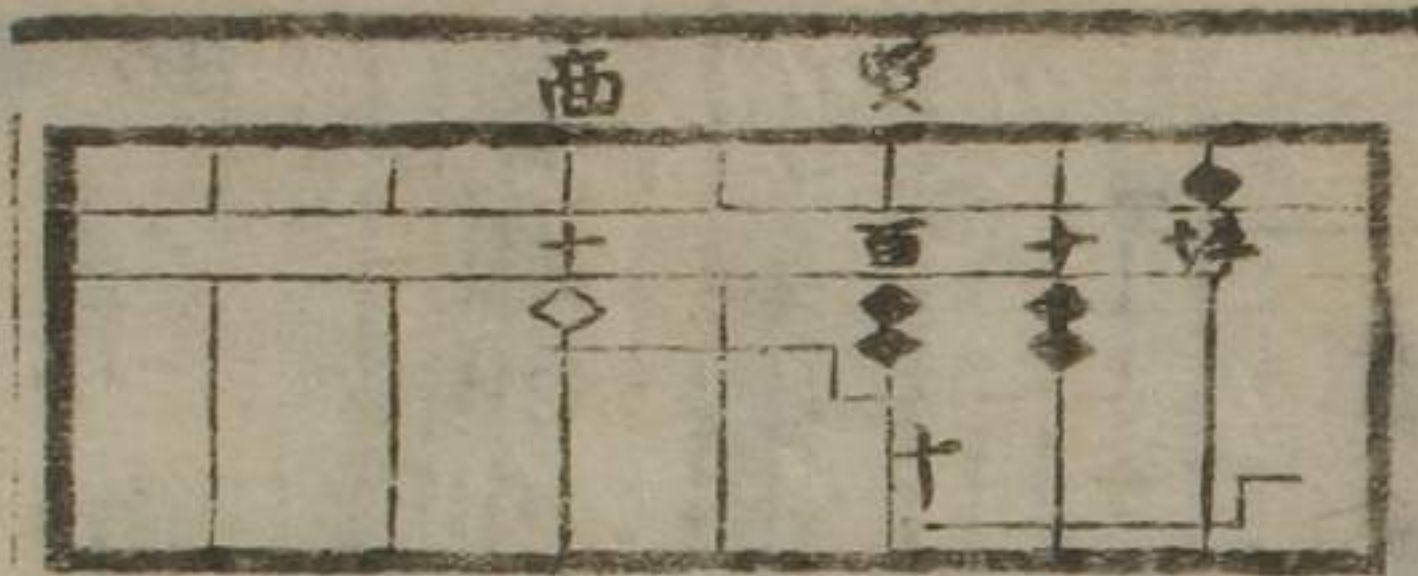
時何程うさふ

答 三百四拾又ふさふ

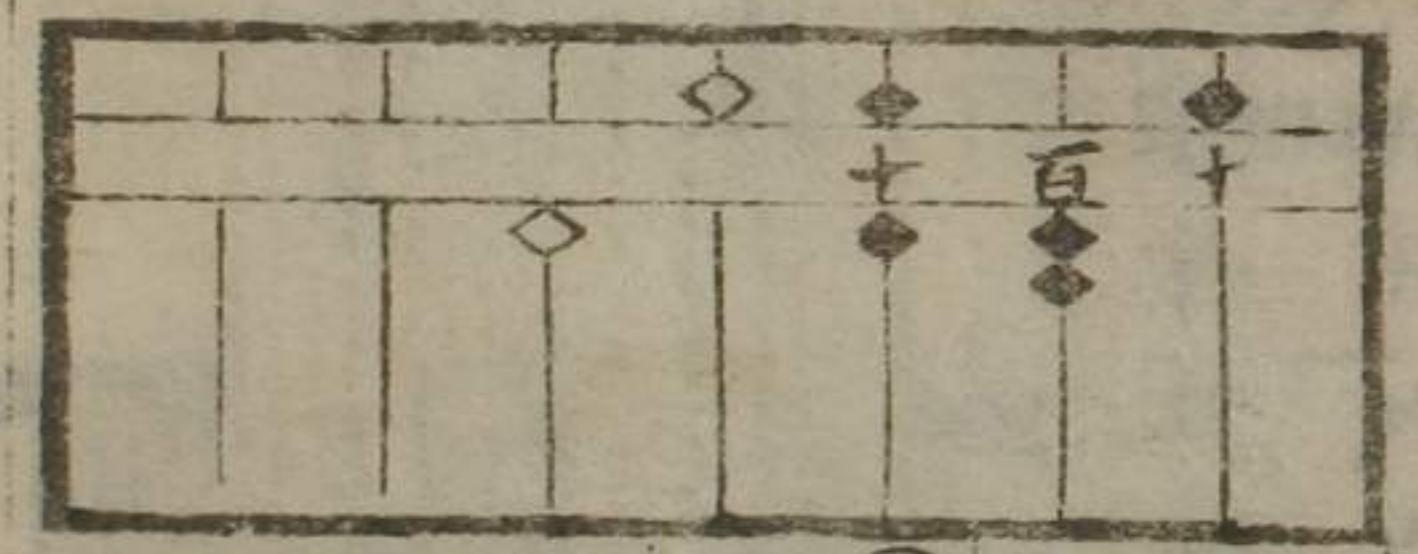
是のより位と見ゆるより 右は日改り何程と
も同じ仕法なり 又位と見ゆる時位の概と
たりのゆびとておさくおほくさふ

角 平法早割之圖

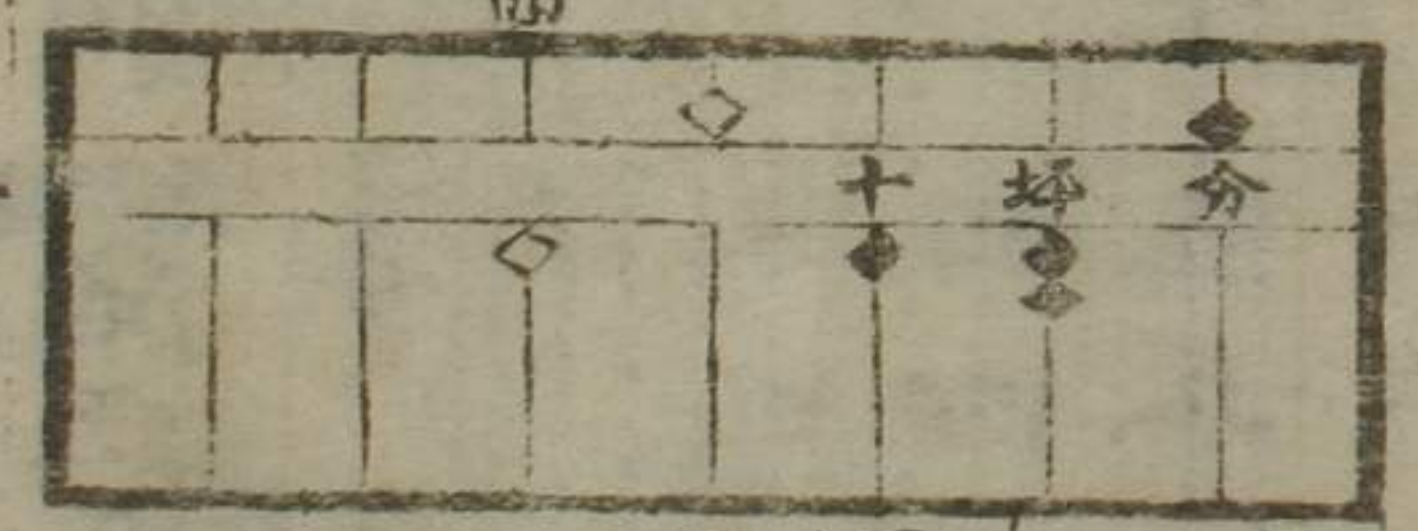
譬 積式百貳拾五坪有 此地面四角四方を何程さふ
答 拾五間 四面あり



①積、百五拾
と二ツの
のづか
るま、
②の十位と
足して
て九九よ
びのけ
あて



③積、十坪半
あつたの
づか
④産半と
上
⑤このまを
同安して
次のけ
と



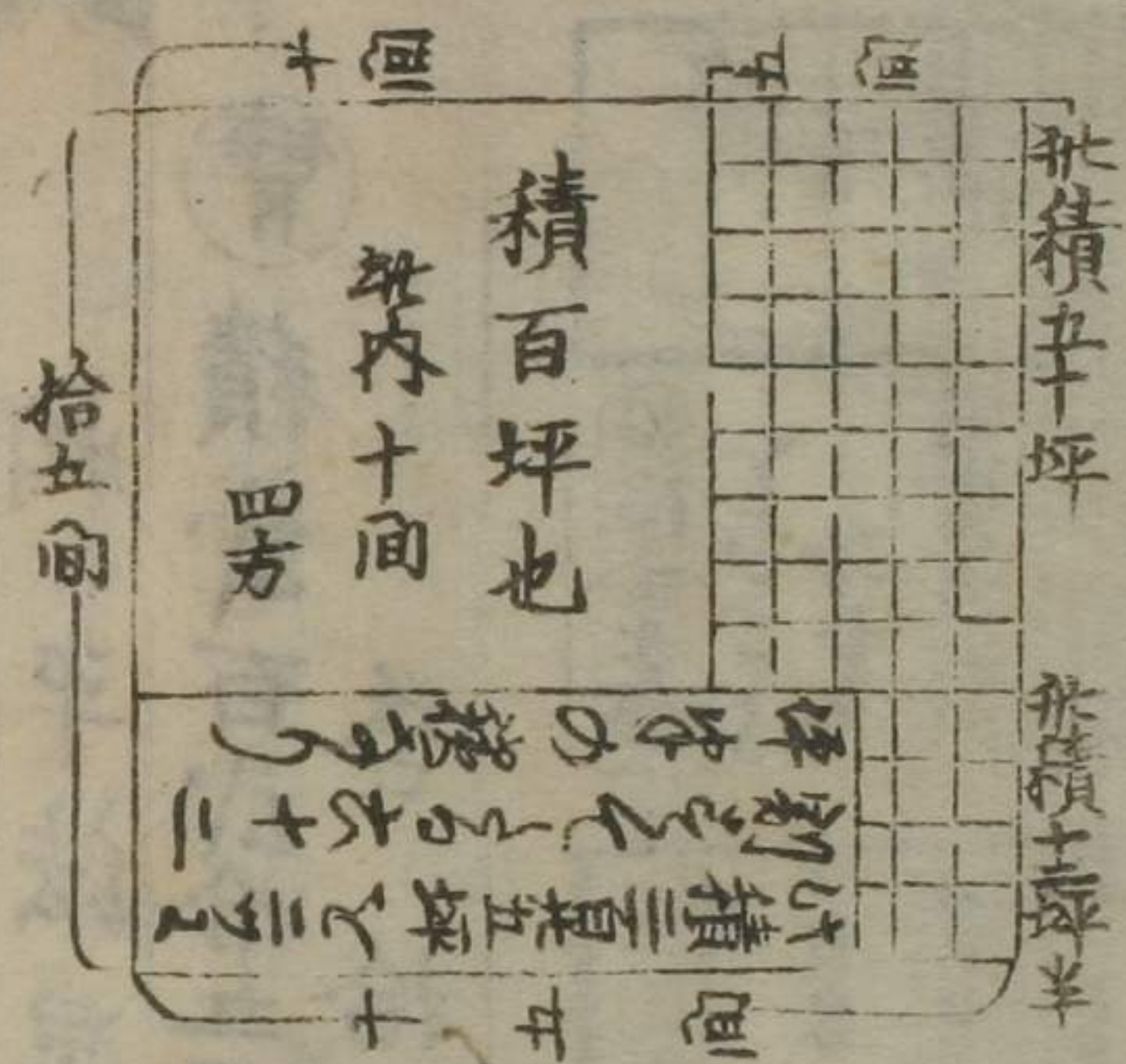
⑥このまを
九九よ
ふつきの
け
あり

早割

早割

積刻の圖

積二百九十五坪有四方ありて
如圖拾五間四面あり



開平九九之刻

開立九九之刻

九九	九九	九九	九九	九九	九九	九九	九九
八八	八八	七七	七七	六六	六六	五五	五五
七七	七七	六六	六六	五五	五五	四四	四四
六六	六六	五五	五五	四四	四四	三三	三三
五五	五五	四四	四四	三三	三三	二二	二二
四四	四四	三三	三三	二二	二二	一一	一一
三三	三三	二二	二二	一一	一一	半	半
二二	二二	一一	一一	半	半	半	半
一一	一一	半	半	半	半	半	半

開平法の股強し術

長貳拾六間
横拾六間

長貳拾六間 四〇〇〇り

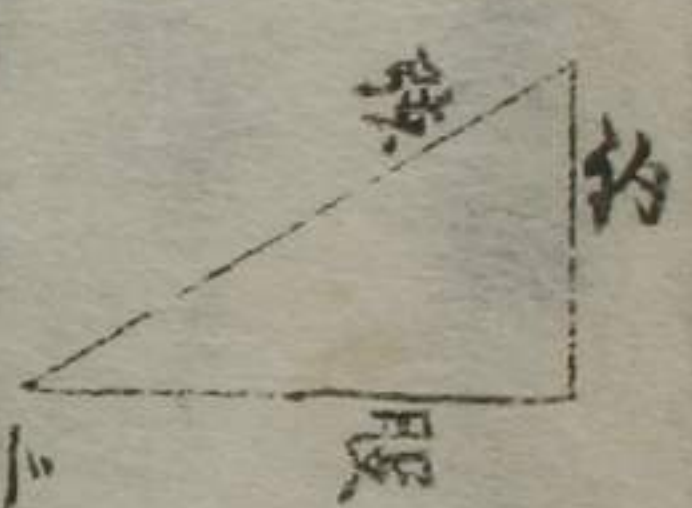
術拾六間と北之間とを四百坪とす。開平法に除き其間とす。

方面即ち八寸強何たりとす。

長貳拾六間 八寸強何たりとす。



開平法除き又法四四二とて面即ち八寸強何たりとす。



股 四尺 約 股とらふ
弦 五尺
約 弦和八尺

樹^二股自^レ實^ト和^レ除^キ約^ノ弦^ノ差^ノ和^ト之^レ
半^ノ強^ノ和^ノ内^ノ差^ノ減^キ半^ノ強^ノ之^レ



約 三尺 股 強とらふ
弦 四尺
股 強差五尺

樹^二約自^レ實^ト差^レ除^キ股^ノ強^ノ和^ノ和^ノ差^ノ之^レ
半^ノ強^ノ和^ノ内^ノ差^ノ去^リ半^ノ強^ノ之^レ



積 六坪 約 股とらふ
弦 四寸 約 三寸
股 四寸

樹^二換^子四^と乘^シ強^自己^去り^白股^ノ差^之強^と自^己
差^と除^キ股^也股^ノ内^ノ差^ノ減^キ約^之



約 強差五尺 約 股強とらふ
弦 四尺
股 強差五尺

樹^二約^ノ差^子股^ノ差^と乘^倍半^去り^甲強^ノ差^甲と
加^股之^股強^ノ差^甲と^之強^之差^甲と^之強^也



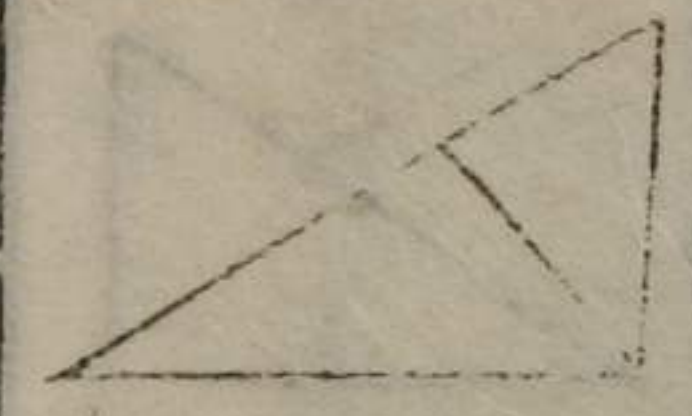
約三尺
股四尺
弦五尺

中右と云ふ

答 約三尺

長弦三尺
短弦二尺

例は約股弦之方和と強を除キ約股と云ふ中白之
又長線の強と云ふは股と自強とて除キ長強より
約と自強とて除キ強也



中股約三尺
約股強三寸和
長文式尺

約股強と云ふ
約 三尺
答 股 四尺
弦 五尺

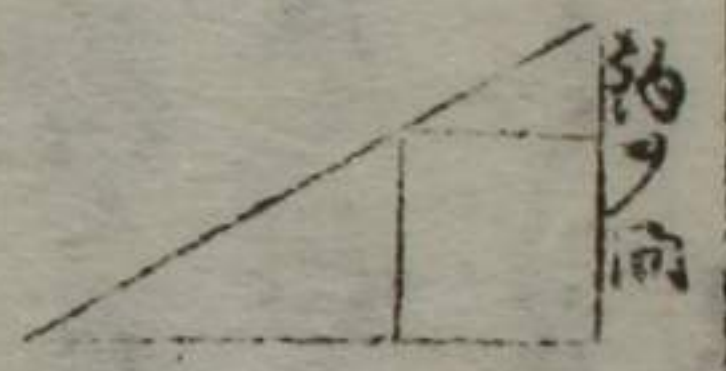
例は約三股甲三寸の和と中約と云ふ法より甲と強と
強也和の内強と云ふは約股の和也是と自強と云ふは
強自倍内と云ふ平方約股の長より和と云ふは
約股と云ふ



中約三尺
約股和七尺

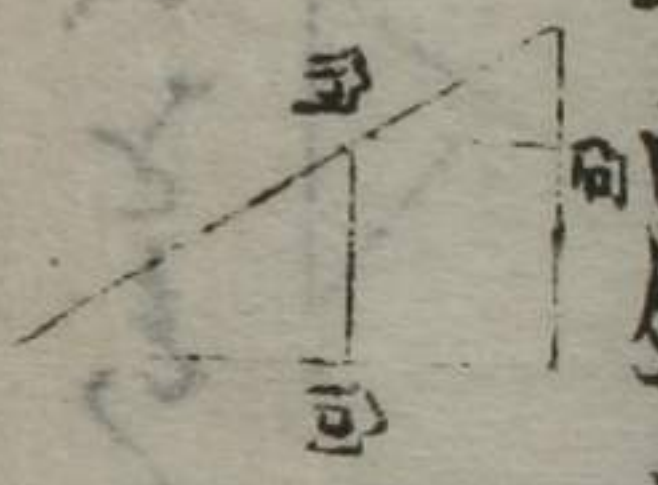
約股強と云ふ約 三尺
答 股 四尺
弦 五尺

例は中約と自強と自強平方より甲と尺甲の内中約と
云ふ強之和自強は強自倍内と云ふ平方より和と云ふは
長之和と云ふは約股と云ふ



方面三尺
股を丈貳尺

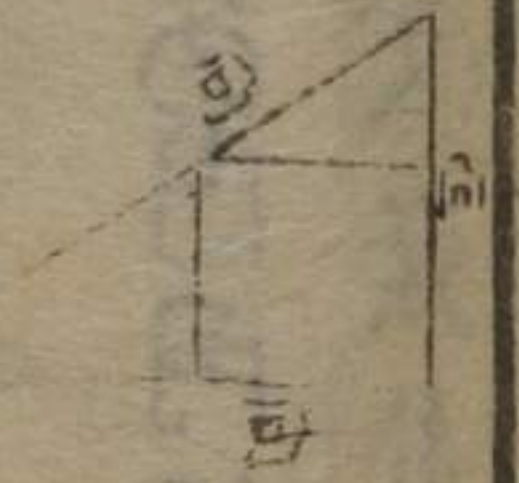
い約とさふ
答 四尺



方面三尺
約股差八尺

い約股強とさふ
答 股を丈貳尺
強を丈貳尺のさふとさふ

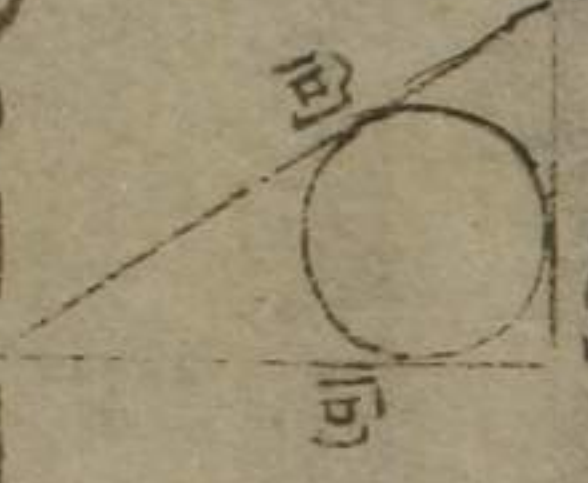
樹より方面股と紫実の方面と股の差を除き約あり
樹より自内と方面倍とてとと自子とて甲と和を平方
とととととと約股の和也和と差よりして約股とさふ
約股と強とさふ



方面三尺
約股和を丈貳尺

い約股強とさふ
答 股を丈貳尺
強を丈三尺のさふとさふ

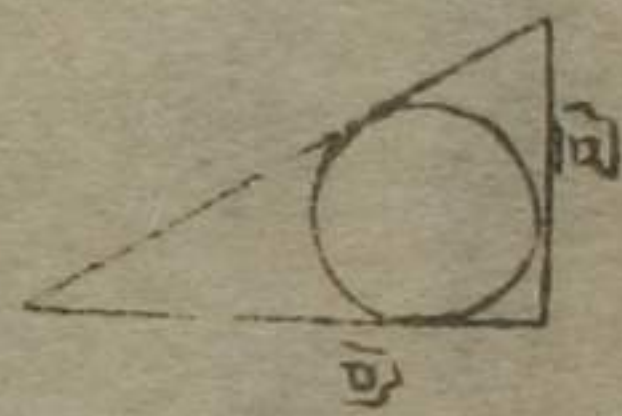
樹より和より方面と紫実の法四と紫を甲と
余り平方して約股の差あり和と差より約股とさふ
約股と強とさふ



内徑貳尺
約 三尺

い股強とさふ
答 股 四尺
強 八尺

樹より内内徑を余り約股の差とて又約自実とて
差を除股強の和と和と差より股強とさふ



内径 貳尺
 弦 六尺
 答 股 四尺

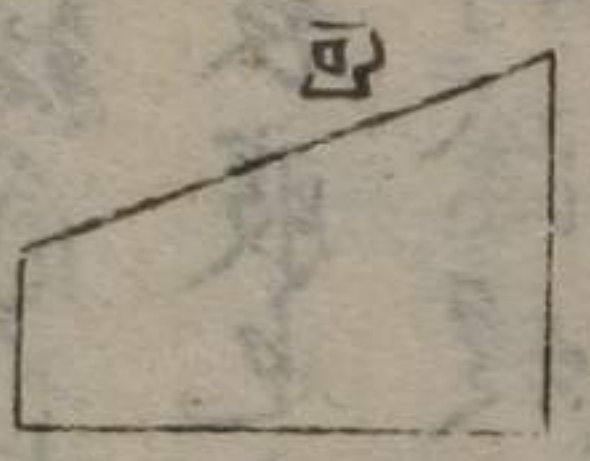
又強し内径和と強股の和之強自倍内和と自より
 余り平方より強之和と強股と強と



内径 貳尺
 強 貳尺
 答 股 四尺

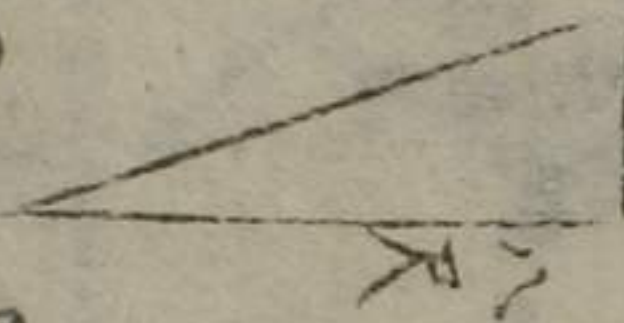
又強し内径和と強股の和之強自倍内和と自より
 余り平方より強之和と強股と強と

股の強之和と強股と強と



内径 貳尺
 強 貳尺
 答 股 四尺

又強し内径和と強股の和之強自倍内和と自より
 余り平方より強之和と強股と強と

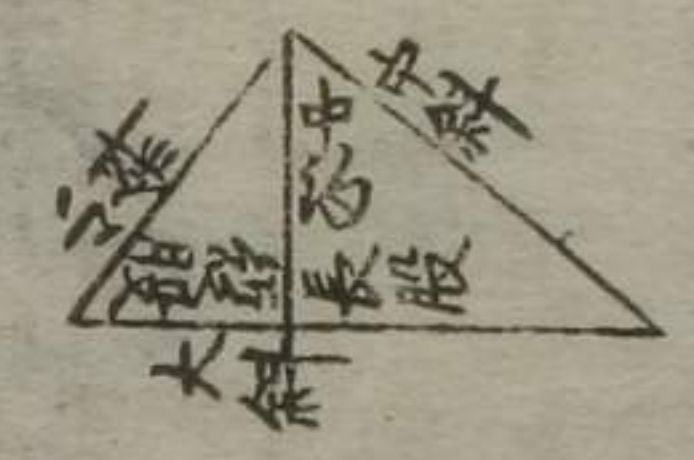


内径 貳尺
 強 貳尺
 答 股 四尺

又強し内径和と強股の和之強自倍内和と自より
 余り平方より強之和と強股と強と

る配と法とて約と除記ある

三斜 測のり



大斜 三丈六寸 い長短の股中約とらふ
 中斜 二丈九寸 長股 八丈七寸
 短股 七丈八寸
 小斜 二丈六寸 中約 二丈八寸
 積 三百六十坪

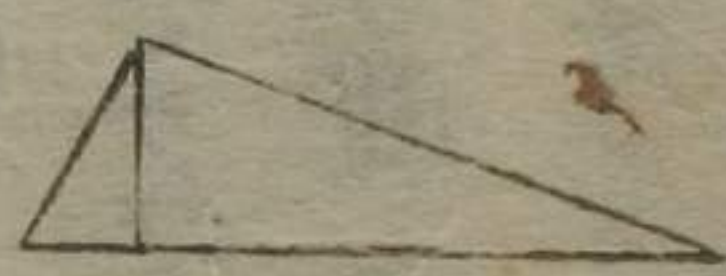
測大斜自中斜自和自小斜自去甲大斜倍して甲と
 除長股也大斜自小斜自和又内中約自去半
 又斜除短股之強股少て中約知る大斜は
 中約乘二除大積知る



積八拾四坪
 大斜 三丈七寸
 中斜 二丈七寸

此中約長短股小斜とらふ
 中約 八寸
 長股 七丈七寸
 短股 六寸
 小斜 七丈八寸

測小積と倍大斜少て除中約あり中斜と
 中約より長股と去る大斜のうら長股
 去り短股より中約と短股より小斜
 と去る

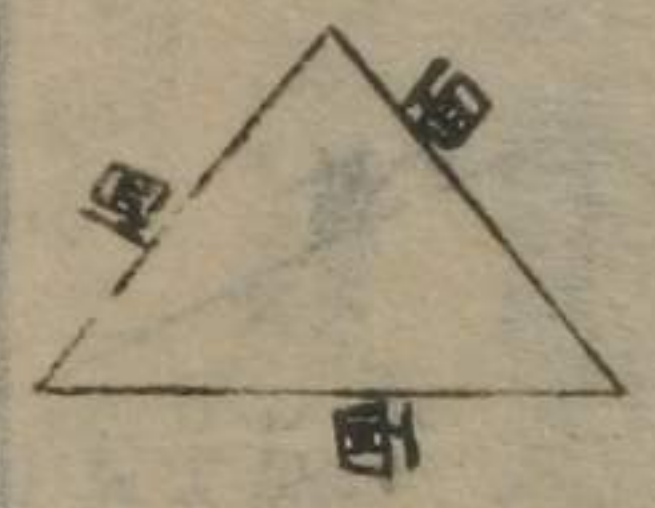


積二百四拾坪
大斜四尺八寸
小斜三寸五分

中約長短股中斜とらふ
中約三寸五分
短股八寸
長股三尺八寸
中斜三尺七寸

樹子積と倍々大斜小除中約の中約と小斜と短股と知
大斜の内短股とより長股之長股中約の中斜とらふ

三角樹のり



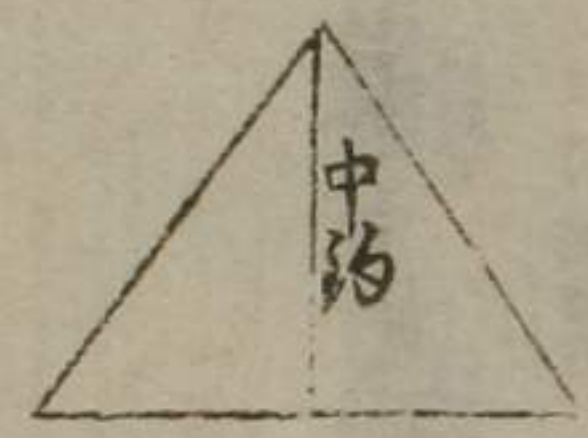
積貳百七拾歩ある二層又毛
三角めて面とらふ
答貳尺八寸

樹子積と二角の法と除き平方又ある



三角の面 一尺九寸法とらふ
答六寸九分貳厘八毛

樹面と自二層九除平方又ある



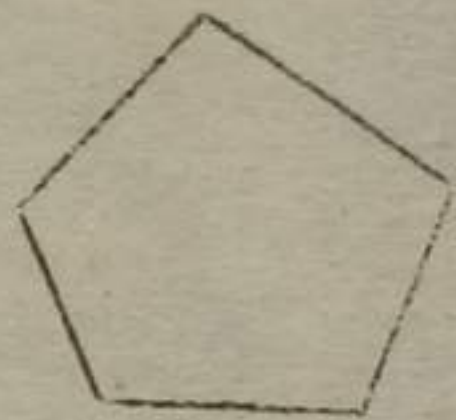
三角の面 中約とらふ
答四寸八分四厘九毛

樹子面と自二層九除平方又ある
減一平方とてある

又角術のり

積千八百 又角メ面とる

四拾八坪 答 三丈



術ニ積ラ又角の法ニ除キ平法ニ知何角とモ仕方日ハ

楔形ニ術のり

積貳拾六坪

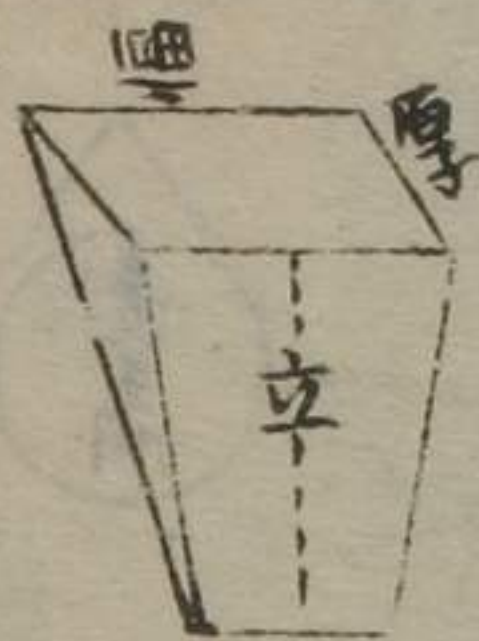
立六寸 厚二寸

幅齒差二寸

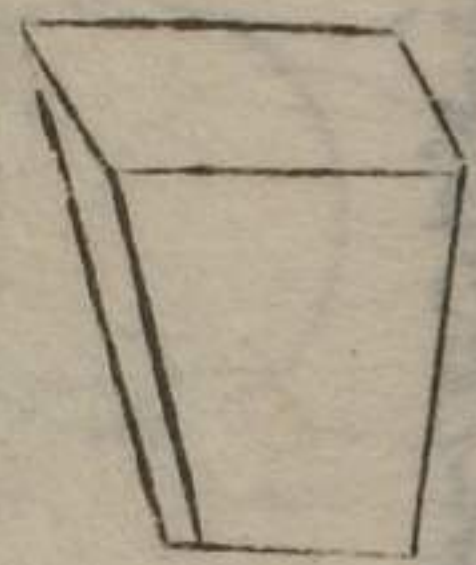
齒幅と同

答 齒 三寸

幅 五寸



術ニ立ニ厚とテメ甲とル積ニ定法とテメメ実とテ甲ニ除キ
 してス差と加ニ除幅之幅の内差とテ去リ齒より



積貳拾六坪

立六寸 齒三寸

厚幅和七寸

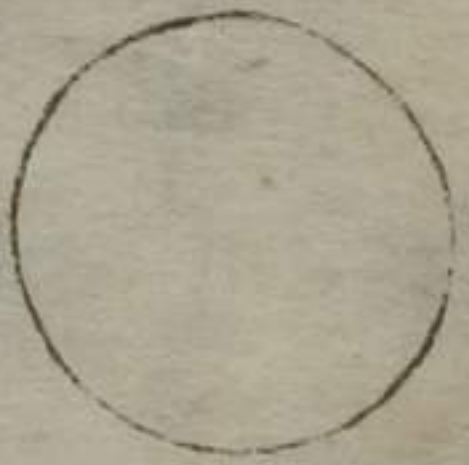
厚幅同

答 厚 二寸

幅 七寸

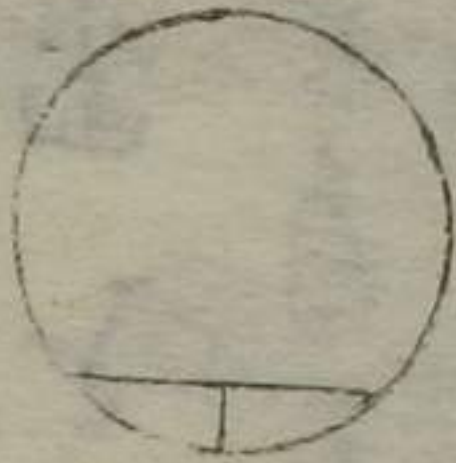
術ニ積リ十二乘メ是と立ニ除キ甲と別
 二齒とニ除メととと和ニ加へてして
 して自メ内甲ニ減ニ平方メ子とル
 一の内子と減ニ半メ原サあり和の
 内厚と去幅也

經夫法の術のり



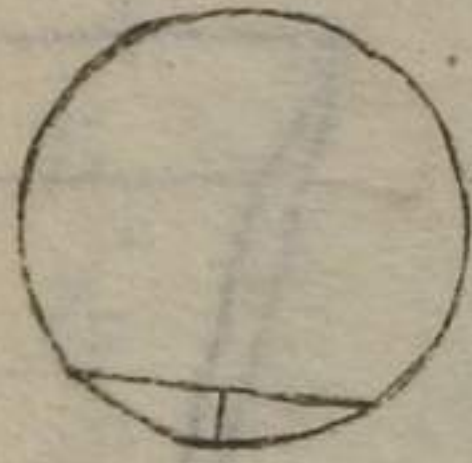
積式百二坪 九のうらうらと
式を四重 卷き入る

測積と七九を除き平方して知る



糸径式八 強とろよ
夫四寸切 卷き入る

測糸径の内夫とろよて夫と糸を四と糸を平方して知る



糸径式八 夫とろよ
強八寸切 卷式寸

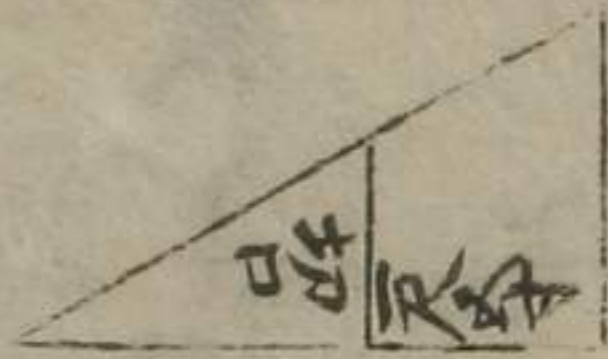
測糸径の内強と糸と糸を四除平方して知る



夫四寸又分 糸径とろよ
強式寸 卷式寸七寸

測強自々四を除き又糸を四除平方して糸を強とろよ

約股配積割く



約式八
股四尺

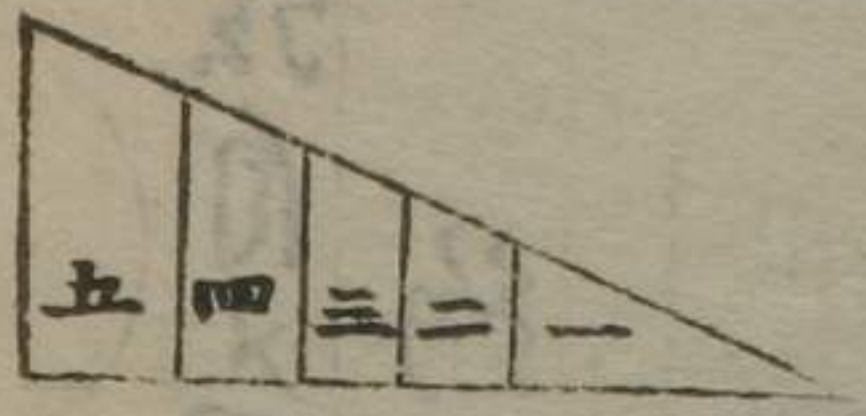
廣さ方が糸を八寸切て
切りとろよ
卷き入る式を四寸

測約と股を除きと甲と股の内を夫とろよを
甲と糸をろよ

約三尺
股四尺

七寸八寸下り切て横の切口とす
答式ノ式寸六寸八寸

粥小股と約と除き七寸と紫知らうり



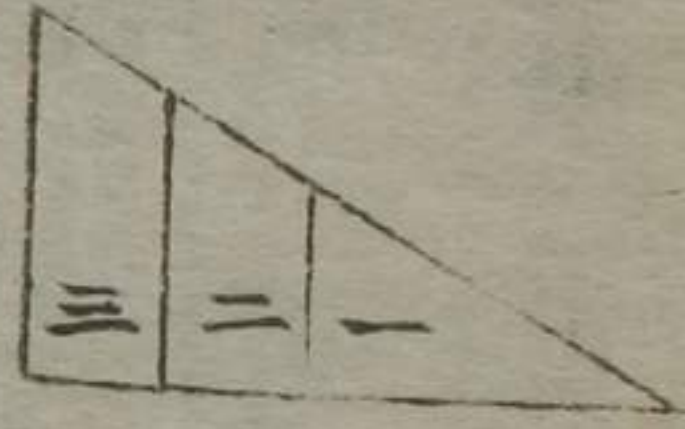
約拾間
股拾間

一 百八拾坪
二 六拾又坪
三 九拾坪又合
四 六拾坪又合
五 九拾又坪

答
二日 横六間四寸
三日 横四間
四日 横三拾間
五日 横二拾間
六日 横一拾間

粥と約と股と除き配也と通成倍して甲と尺とす乃
降うまに甲と紫平方一をさの切口ありき武の坪
合甲と紫平方一と武の切口ありき武との坪合
甲と紫平方一との切口あり又下の間とともうめさる記
号切の除きさるり武の下れ間とさるりのさるり乃
切口とさるり余りとする配除きさるり此骨おその前
此切口とさるりさるり配と除き修くよさるり

四日 拾八間
又約 式拾間
日又 間



約三拾間 三人一高を小波一切
股四拾間 下の高は何れととも

答 或は北四間四九重 或は九間
三間 七間

三間約三拾間 二間 七間

測約自甲より甲の二系を二除平方して丁切口あり
甲の二系を二除平方して乙の切口あり下の間あり
おいらる死んで切口と除と右同法あり

錐方測のし



寸歩積を方八十九百六拾坪
長廿八尺より口ととも

答 三人

測積と系法を除又長を除二と系平法を知り

寸歩積を方四千坪をり

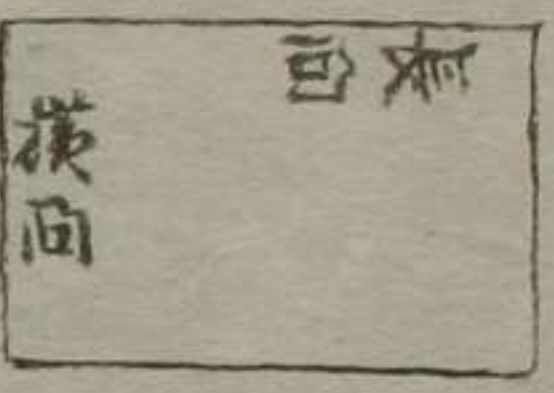
長廿八尺より口ととも

答 三人



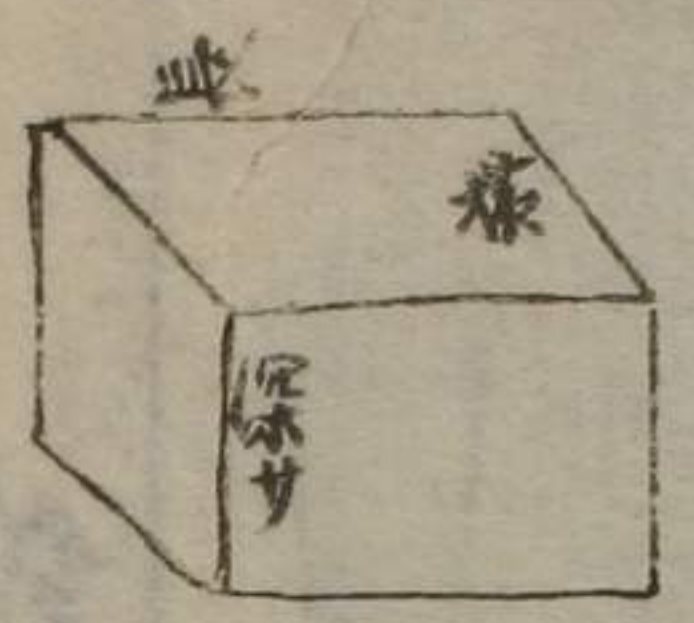
測積と長を除二と系平法して知り

帯從用平



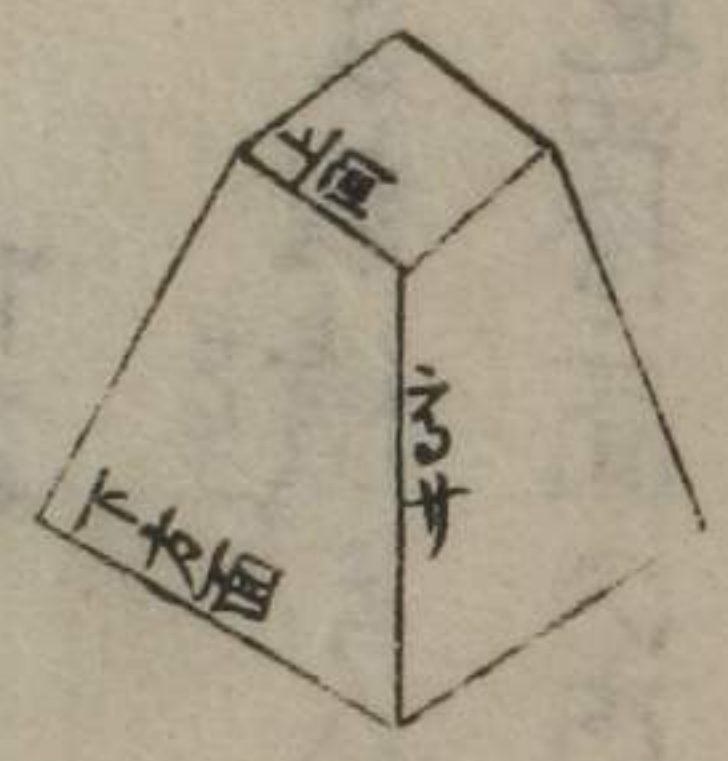
積括入坪
 長横六武間
 答 長 八間
 横 三間

御積と四倍して長自和して平方を長横と
 和得て長と減一半して横を長加長より



六平入の箱
 横六長八
 答 長 八間
 横 六間

御よみ平の外法と糸して除きと先と帯從
 平法を長横ととる

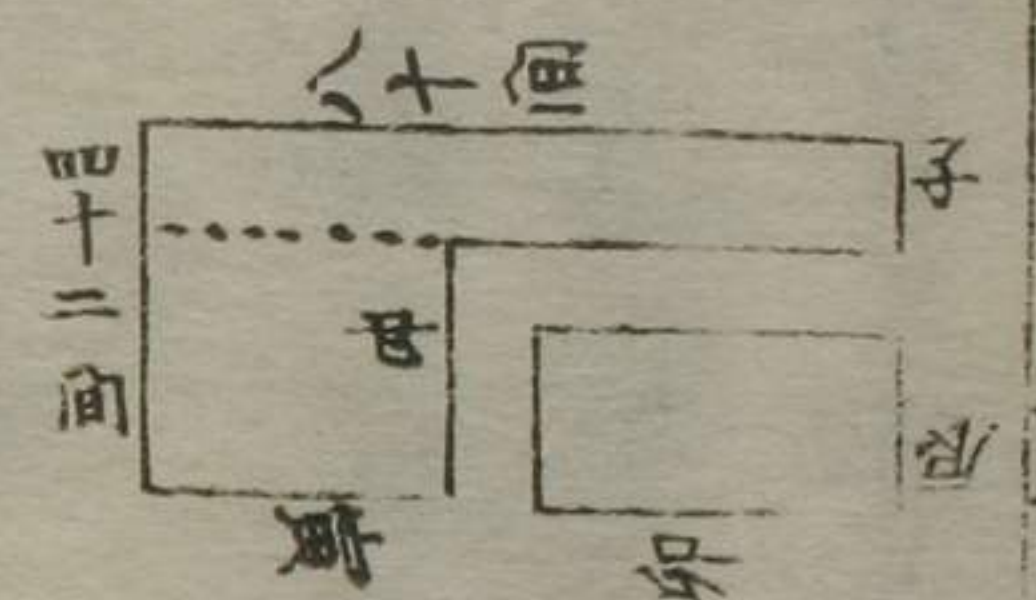


六百四拾八坪を先と方巻ありき
 長八間下の方面七間ありて
 上の方面ととる

答 四間

御よ積よ定法二と糸してさす除肉下の方面七
 四十九坪減余りと実と七間ありて帯從平法を先ととる
 半上の方面也又さす上の面ありて下の面とさすも同也

此地面ニツ生刻三人の坪敷當分の貸入
 申八通り道を取何間ツ貸入スルコト

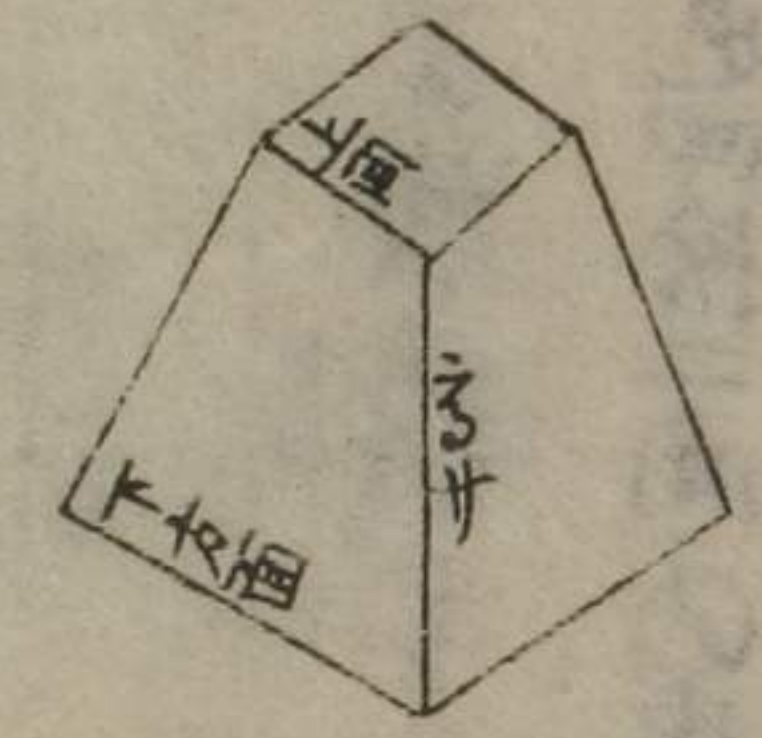


答

- 子 十式間
- 辰 廿三間
- 寅 三三間
- 道幅六間
- 卯 四十二間
- 辰 廿三間
- 道幅六間

測る物積三人半又除き人前の坪と八拾間又除キ
 子也四拾二間の内子と云世也是と云人前の坪と除キ
 寅也八拾間の内寅と云世と相減余り十八間と云是
 卯辰の差也申從下方して卯辰と云

測る又半へ外法と繋りて測るは除る是と帯從
 平法へ長横と云

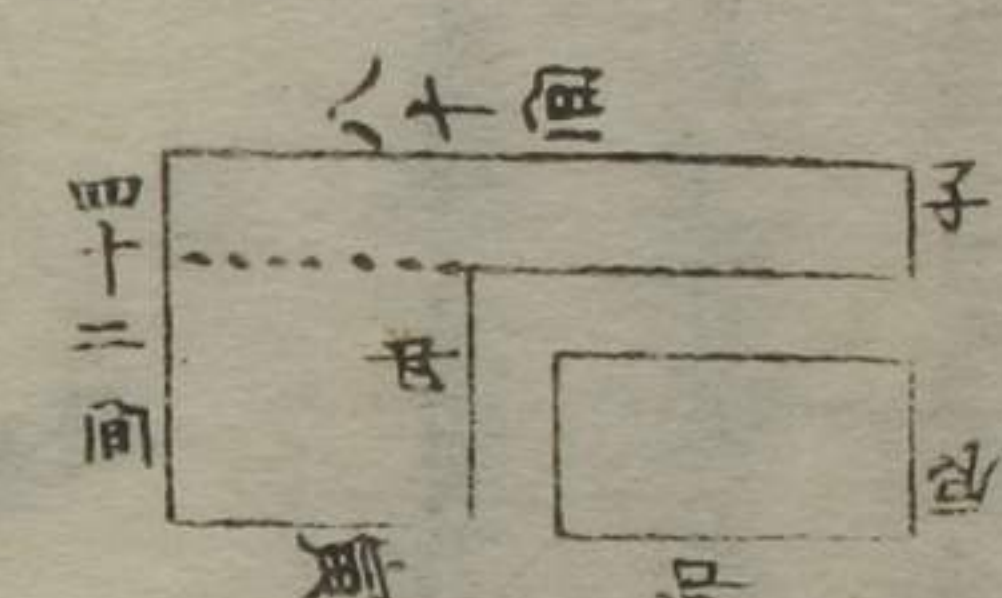


六三四拾八坪と云是と方巻ありて
 申八間下の方面七間ありて
 上の方面と云

答 四間

測る積の定法之と繋りて申は除肉下の方面七
 四十九坪減余りと實と七間申へ帯從平法へ是と云
 申上の方面也又申上の面ありて下の面と云も同也

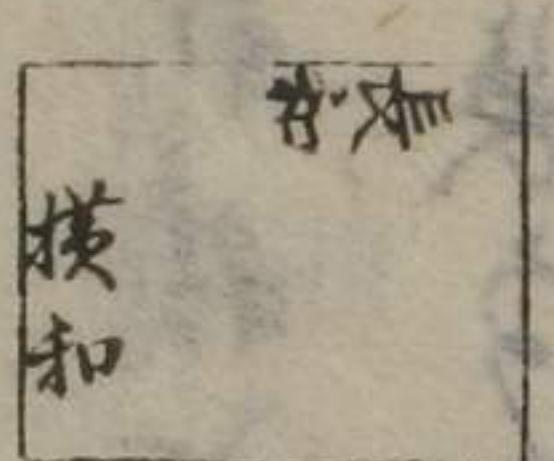
此地面ニツケ刻三人ノ坪数當分ニ貸ス
申ハ通リ道ニ取付間ツケ貸スルコト



- 答
- 子 十式間
 - 申 三十間
 - 寅 三三間
 - 卯 四二間
 - 辰 七三間
 - 道幅 六間
 - 二六四
 - 二六四
 - 七三六

測子物積^{七九}三人半ニ除キ人前の坪と八拾間ニ除キ
子也四拾二間の内子と云^廿也是^{三三}人前の坪と除キ
寅也八拾間の内寅と云^廿と相減余^{十八}間と云^七是
卯辰の差也^三從^二方^一七^七卯辰と云^三

同和常從の測り方



積八拾三坪 長と横と何回ツラカ
長横和拾六間有 答 長サ 九間
横 七間

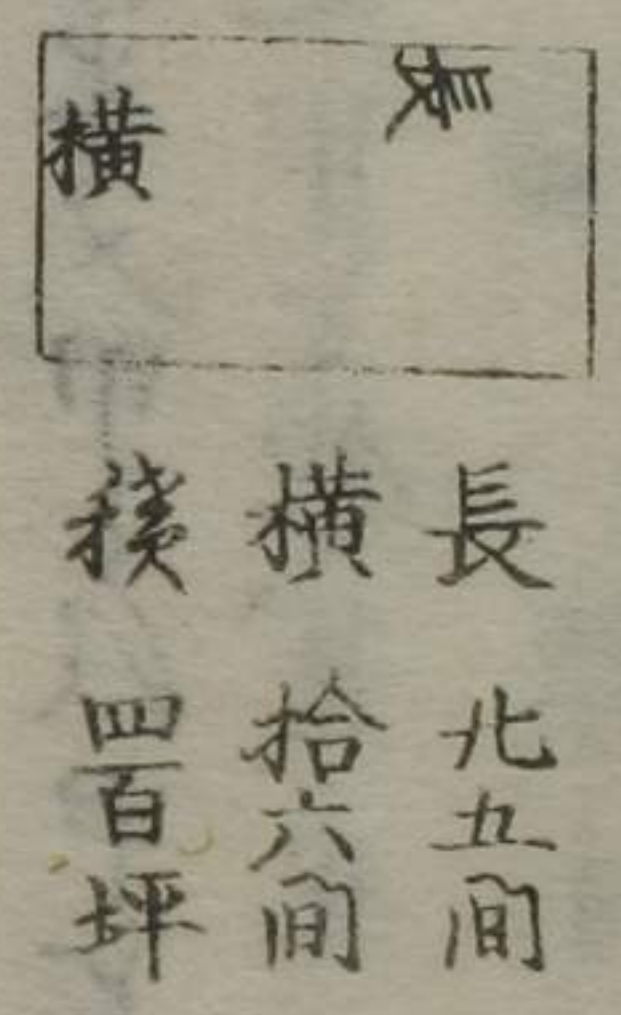
測和半メ甲と尺甲と自メ内積と去リ余^三方^一七
差也甲と加^長也甲の内長減^一横也



積寸 四百步 横立何程々トカ
積和 八尺寸 答 長 式 尺 六寸
横 三 尺 六寸

術和と四除キ甲ス甲と月積と去り余り平方と
甲と加へ長あり甲の内と減し横あり

相懸用平



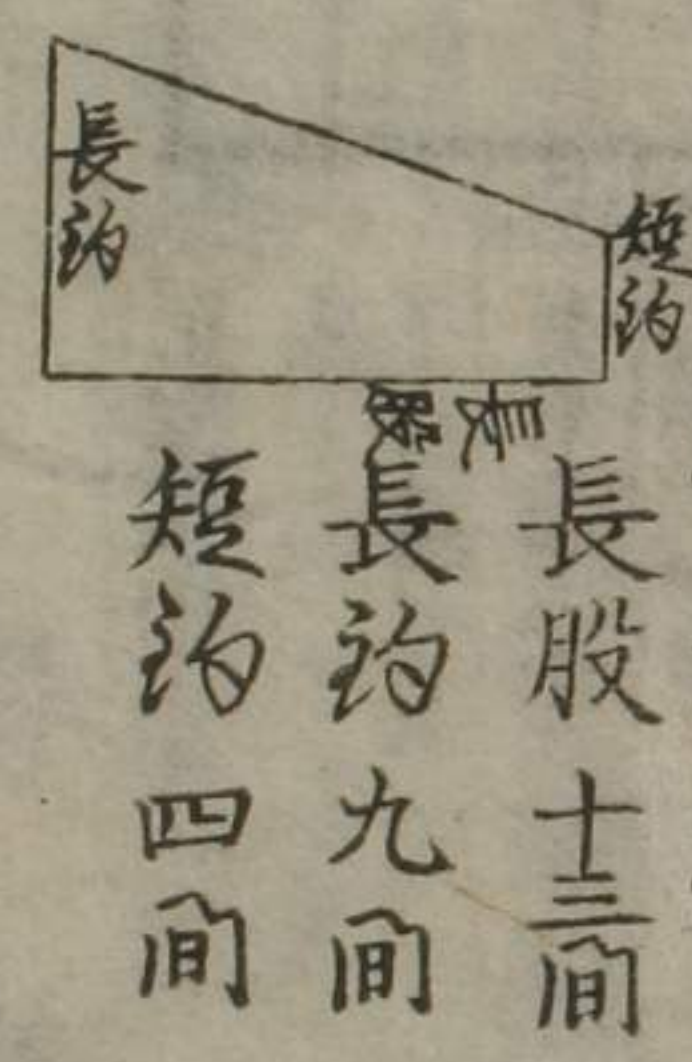
此拾好ありて替地積三子六百坪後又時
何分とありて合うとす
答 長 七拾又間
横 四拾八間

術新積と古積と除キ平法メ長と累し新
地の長あり横と累し新地横あり



此拾好ありて三子一渡り付長横
何分とありとす
答 長 拾間三分九厘貳毛
横 六間九分二厘八毛

術長と月二子除平法メ新地長あり横と月二子除
平法して新地横あり



此拾好相懸ありて替地貳百十六坪
三子一渡り付何分とあり
答 長 股 九間四尺五分
長 約 十四間二尺四寸
短 約 六間二尺四寸

術新積と倍して二子除法して新積と除し
平法して路との間と累して去り

開立術之圖并圖解
 譬積千七百二十八坪有四方六面之間
 答拾二間六面也

算

一 千ト位ヲ見テ商
 間六面ヲ立テ批ヲ牽
 九九ヨビ次ニテ引也

二 九リノト見合
 一カ十坪引也

三 残リ七百二十八坪ヲ
 商ノニテ除ク

四 又上坪分定法三除

五 北四坪二分六厘ニモヲ
 商十間ニテ一桁除ク
 下ノ圖ニ有ル

六 批商
 九九ニヨビ
 次ニテ引

七 三三四引
 残積ヲ
 源ニ戻ス

八 二分六厘
 二モヲ
 商ニテ乘ス

九 三坪六分
 定法ヲ分乘
 下ノ圖ニ有リ

十 六桁ニ
 六方九九
 ニテ以テ
 ヨビ次ニテ
 商十間
 六面ニ也

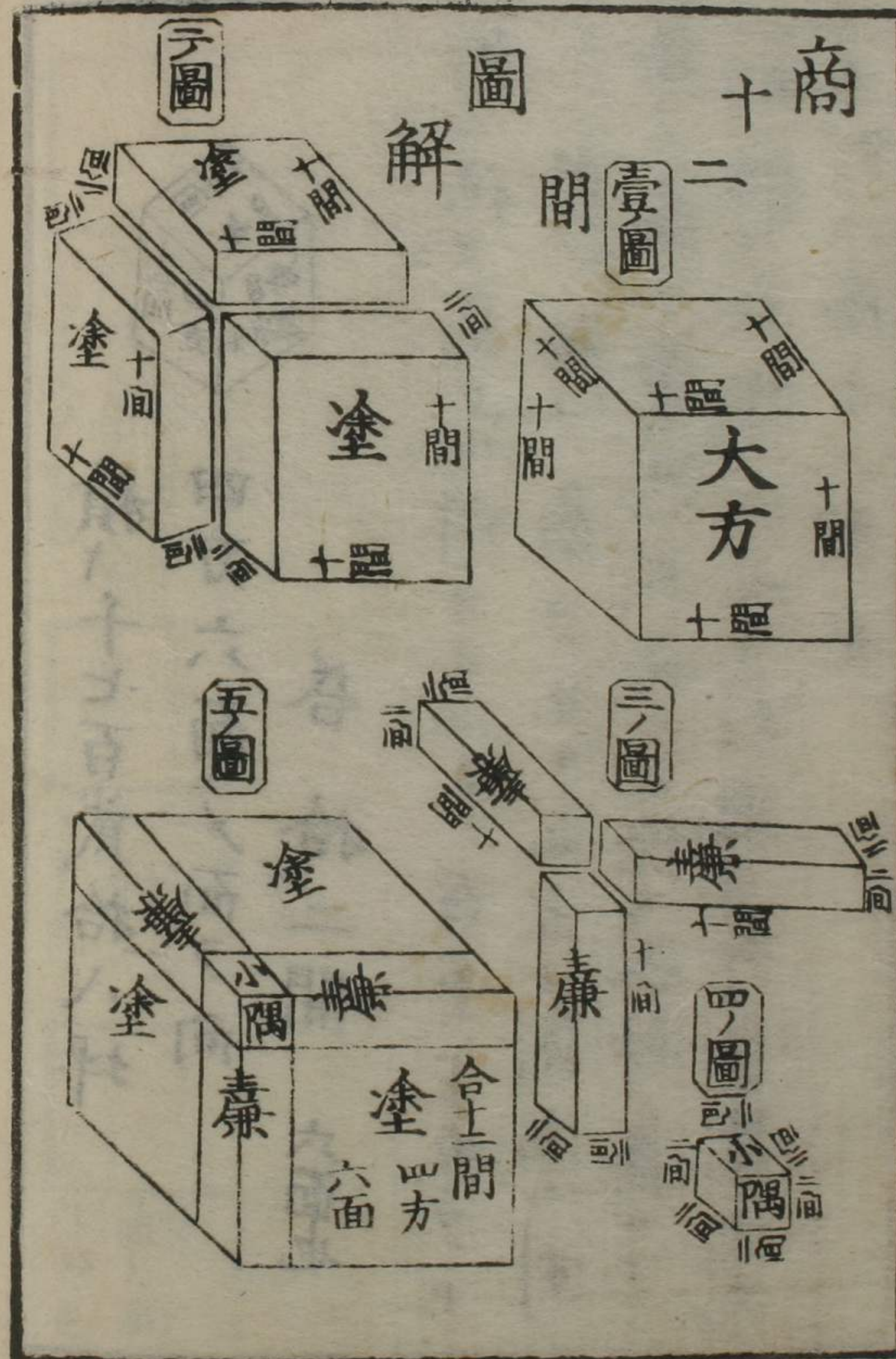
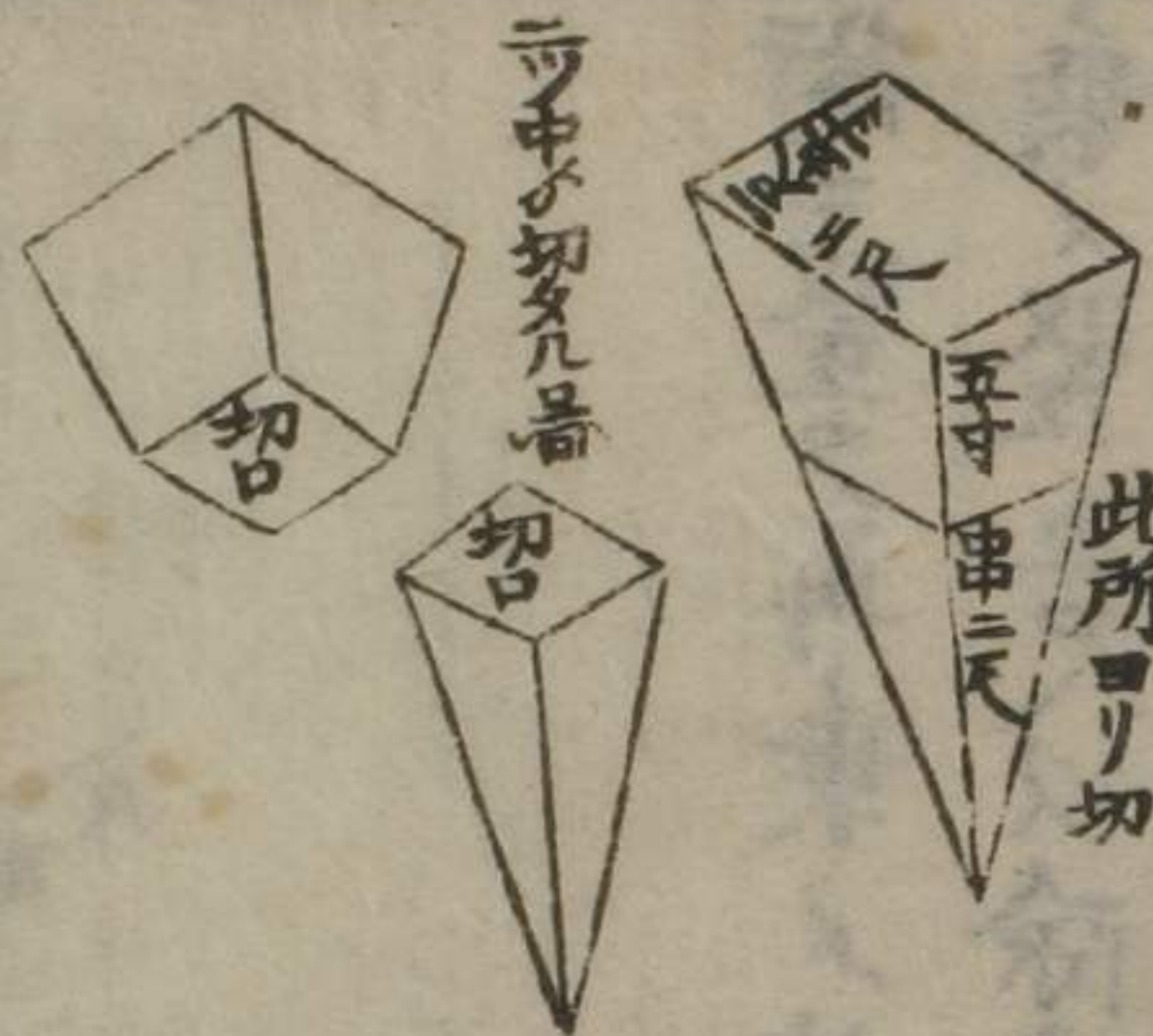


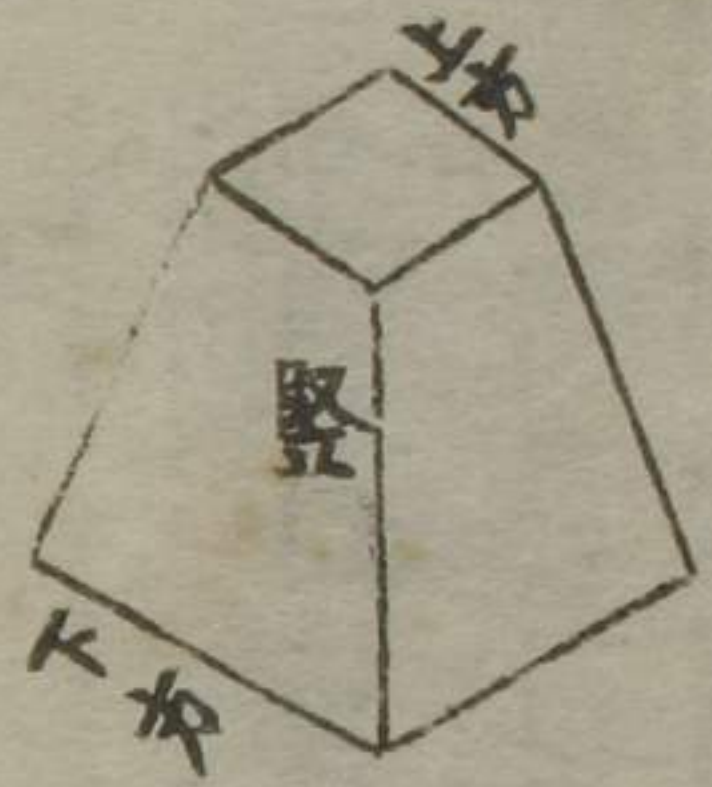
積キ千七百貳拾八坪
 四方六面ニメ面ヲ間
 答拾二間 六面也

術ニ位ヲ見タル所ヨリ一千百千トカソエ
 千ノ所ニ初ノ商ヲ立テ立方ノ九九ニ引
 初ノ商ニ除キ又定法三ニ除キ又初ノ商ニテ
 一桁除キ平方ノ九九ヲ引源ニ戻ス立方ノ九九
 ニテ引ハ商十二間也

此所ヨリ切
 今厚幅錐有り唯言厚サキ尺五寸
 幅二尺串二尺五寸積二千五百坪
 トガリノ方ニテ二百七十六坪四分八厘
 切テ切口ノ幅ヲ問
 答 幅九寸六分

術ニ切積ヲ錐方ヲ以乘メ幅ヲ乘メ以串ヲ除テ六六六十
 三坪五五二是ヲ甲トス別ニ幅二尺ヲ以厚一尺五寸ヲ除キ乙トス
 乙ヲ以テ甲ヲ除キ八百八十四坪七三六是ヲ實トメ立方ニ屬キ知凡





上方五尺七寸

下方二尺七寸

豎 五尺

一倍ニメ造ル
時各々同

上方 一尺五寸二分一厘九毫

答 下方 三尺四寸二分一厘七毫八四

豎 六尺二寸九分九厘六毫

術ニ豎ヲ再乗メ倍メ立方ニ開豎得豎ニ上方ヲ
乗メ豎立尺以除キ上方トス下方二尺七寸新キノ
豎ヲ乗シ古ノ豎ヲ以除キ新キノ下方



開立今并之法

方面 百十七坪六四九
深サ 十九坪六八三

八并入

方面深サ同

今并相應メ

答

口方 九寸八分
深サ 五寸四分



術ニ好ノ入ヲ方面ノ并法ニ乗メ立方ニ開方面ノ寸也
深サノ并法ニ好ノ入ヲ乗メ立方ニ開深サ寸也何程
ノ好ニテモ此術ニテ知ル右之外開平開立ノ諸
術變化近々増補ニ出者也

凡例

一今著の算術法算式を以て平方の術を
の割より指の割よりいろは附の合致小
て委しくそ然と志しくむ

一平方算先位を足付する一也譬ハ積を
分四方寸四方寸尺四方六尺四方何
不てもそ品不位て定ぬ用術也扱算
術法の算式不出凡如くそ算の術と

一凡算小高は樹より実の敷を、次算と
そ樹並小一十一と位を足實を交より実の
娘をのそ樹とと二々樹ととと十の位不為
受をけ算の積ハ何程四方をそと大敷を考
此形小高を立る也平方の算式不委しく著凡
一凡四方の大敷ハそ樹ハ四方也此指ハ同
四方也百坪ハ指同四方也此千ハ百坪ハ指
同四方也そ万坪ハ百同四方也餘ハとそと小

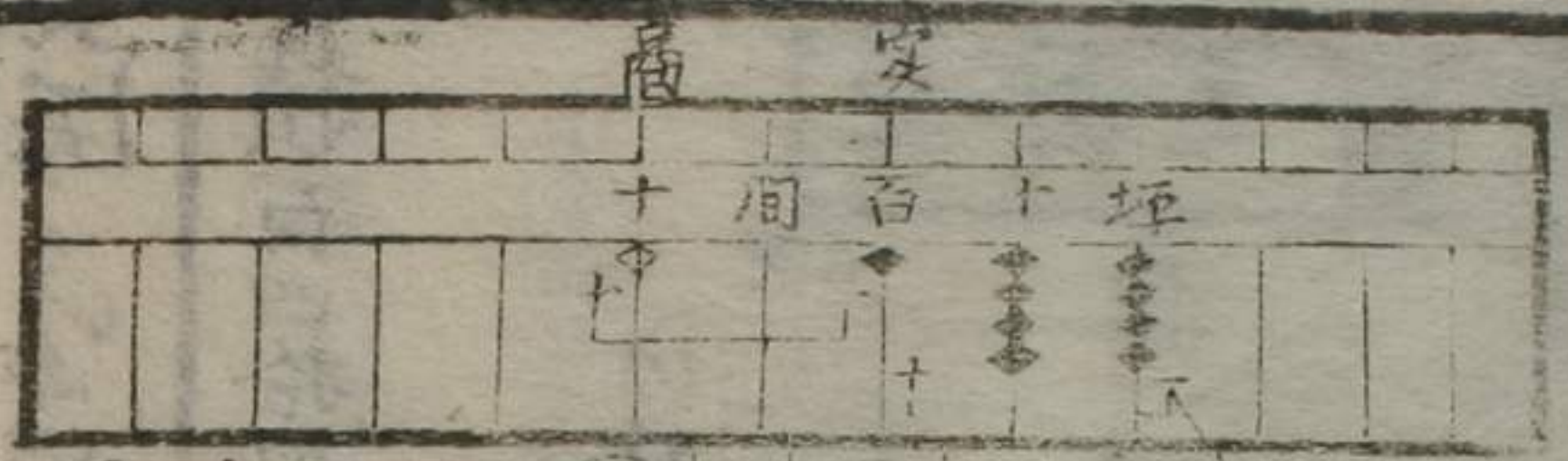
考の
刻の

壁言

積百四拾四坪

此地は方々何程高

答拾八間也



い 如前位の考へてはと
三松下小て一と刻なり
但しはとしてとん高の
一と目安ふして実を割
りたりしつてもとれ小
からうと

い 如前位の考へてはと
三松下小て一と刻なり
但しはとしてとん高の
一と目安ふして実を割
りたりしつてもとれ小
からうと

い 如前位の考へてはと
三松下小て一と刻なり
但しはとしてとん高の
一と目安ふして実を割
りたりしつてもとれ小
からうと

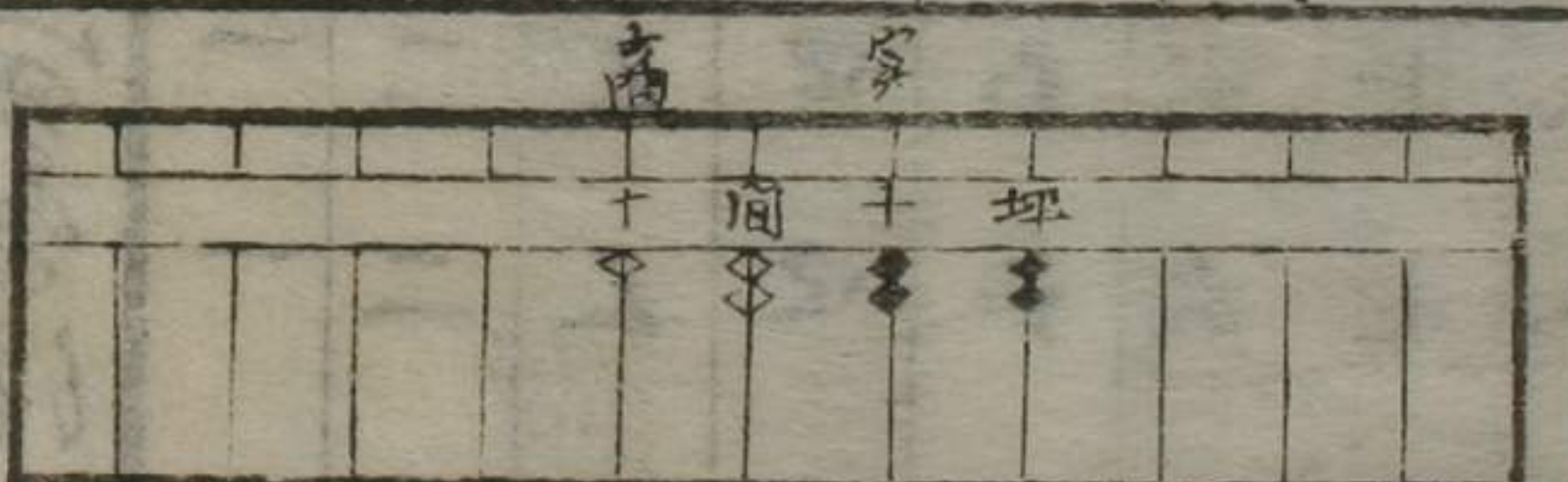
い 如前位の考へてはと
三松下小て一と刻なり
但しはとしてとん高の
一と目安ふして実を割
りたりしつてもとれ小
からうと

考の
刻の

壁言

積五百拾九坪

此地は方々の何程高



い 如前位を考へては
四方と足しては松小二の高を
立てては高の二を九九小よ
ひ実の内より二二二と
ひつては百坪引たり

い 如前位を考へては
四方と足しては松小二の高を
立てては高の二を九九小よ
ひ実の内より二二二と
ひつては百坪引たり

い 如前位を考へては
四方と足しては松小二の高を
立てては高の二を九九小よ
ひ実の内より二二二と
ひつては百坪引たり

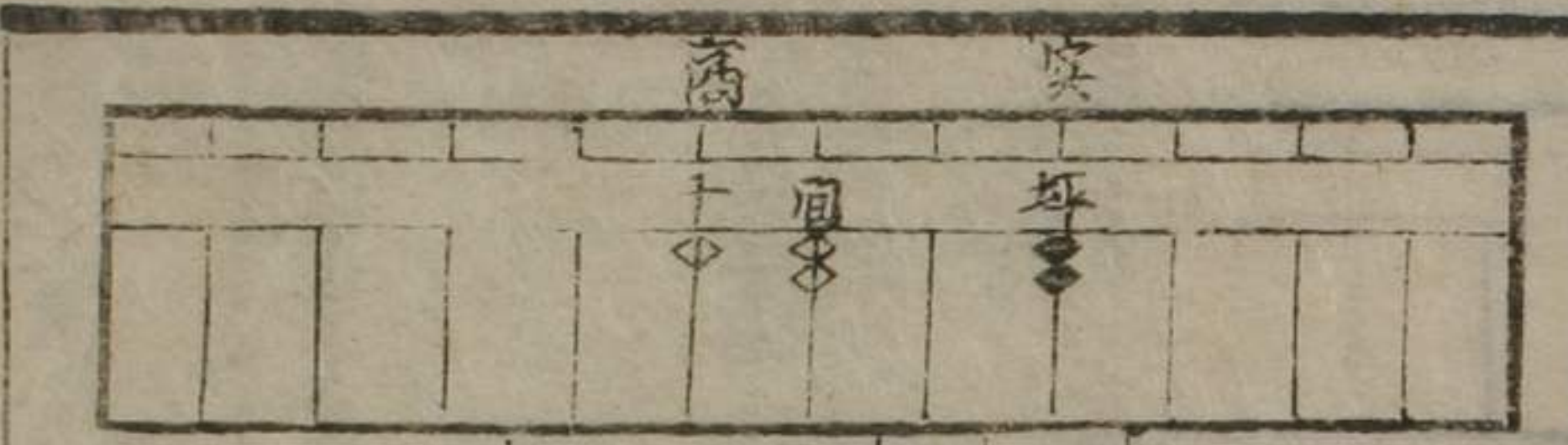
い 如前位を考へては
四方と足しては松小二の高を
立てては高の二を九九小よ
ひ実の内より二二二と
ひつては百坪引たり

考の
刻の

壁言

積百八拾四坪

此地は方々何程高



い 如前位を考へては
四方と足しては松小二の高を
立てては高の二を九九小よ
ひ実の内より二二二と
ひつては百坪引たり

い 如前位を考へては
四方と足しては松小二の高を
立てては高の二を九九小よ
ひ実の内より二二二と
ひつては百坪引たり

い 如前位を考へては
四方と足しては松小二の高を
立てては高の二を九九小よ
ひ実の内より二二二と
ひつては百坪引たり

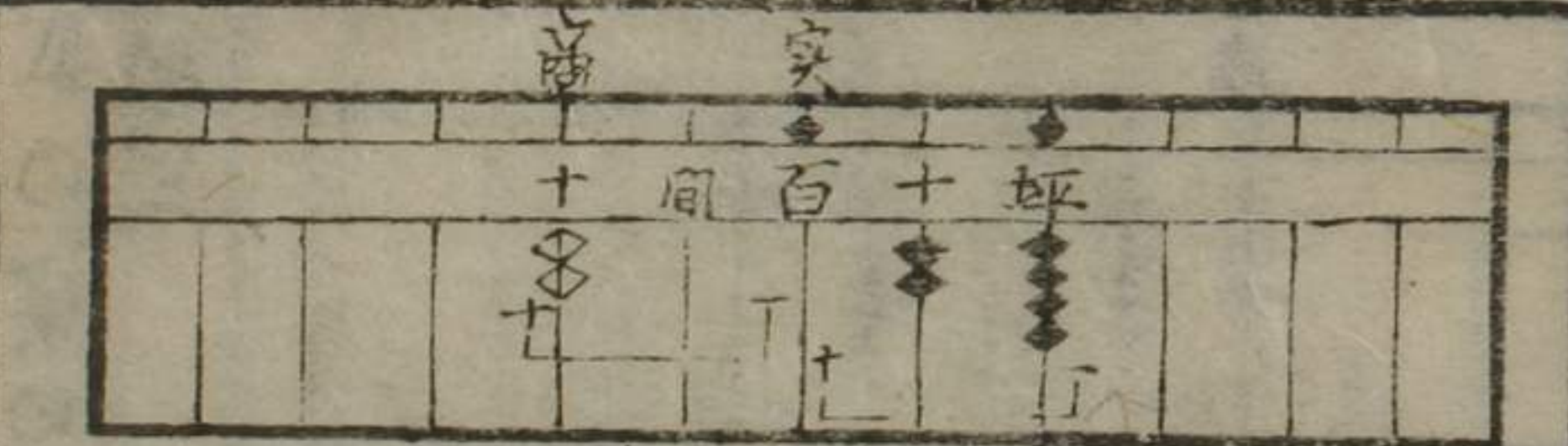
い 如前位を考へては
四方と足しては松小二の高を
立てては高の二を九九小よ
ひ実の内より二二二と
ひつては百坪引たり

考の
刻の

壁言

積五百拾九坪

此地は方々の何程高



い 如前位を考へては
四方と足しては松小二の高を
立てては高の二を九九小よ
ひ実の内より二二二と
ひつては百坪引たり

い 如前位を考へては
四方と足しては松小二の高を
立てては高の二を九九小よ
ひ実の内より二二二と
ひつては百坪引たり

い 如前位を考へては
四方と足しては松小二の高を
立てては高の二を九九小よ
ひ実の内より二二二と
ひつては百坪引たり

い 如前位を考へては
四方と足しては松小二の高を
立てては高の二を九九小よ
ひ実の内より二二二と
ひつては百坪引たり

三の字の積法

積七坪を分三厘を毛

商	十	坪	分	厘	毛
十	十	十	十	十	十

ぬ 後の法り
次の書不出す

り 四四八引して三三三法す
ち 一の位を引くと九九小
よ びび引して引たり

三の字の積法

積七坪を分三厘を毛

商	十	坪	分	厘	毛
十	十	十	十	十	十

か 後の法り
次の書不出す

わ 六進二十
を 三一三十一
る 一の位を引くと九九小
よ びび引して引たり

三の字の積法

積七坪を分三厘を毛

商	十	坪	分	厘	毛
十	十	十	十	十	十

ろ 方面
三拾四間半ト成

れ 五九十二半引掛小
た 四四二引高の位と九九小
よ 一の位を引くと九九小
よ びび引して引たり

四の字の積法

積八千四拾三坪四厘

商	十	坪	分	厘	毛
十	十	十	十	十	十

は 積法
各四拾五間五分也

ろ 四四十六引して三三三法す
い 前の位を引くと九九小
よ 一の位を引くと九九小
よ びび引して引たり

四の空の積法
割二
百位珠を坪むる位に成

商	十	百	千	万	十	百	千	万

へ 積の法り
次の空小出に

ほ 四二天作五
に け 四の空を法として
引小して一とく割たり

四の空の積法
割三
珠を坪むる位に成

商	十	百	千	万	十	百	千	万

り 積の法り
次の空小出に

ち け 初より五十二引
と け 高の二と高の九
引小して引たり

四の空の積法
割四
九坪或厘下成

商	十	百	千	万	十	百	千	万

を 積の法り
次の空小出に

る 八進二十
ぬ け 四の空を法として
に 初より一とく割
たり

四の空の積法
割五
七坪或厘下成

商	十	百	千	万	十	百	千	万

た 方面

四拾五間或分下成

ふ 高の二と高の九
引小して二と二引
か 二五引
お け 高の二と高の九
九九引小して引
たり

五の割二

譬

積三千百八拾坪九分六厘
け地はさし何能う向
差五拾六間四分也

商	十	十	十	十	十
十	十	十	十	十	十
十	十	十	十	十	十
十	十	十	十	十	十
十	十	十	十	十	十
十	十	十	十	十	十

は 積少テ

六百八拾坪九分六厘を
二つ小割の當小生尺

ろ 五五二十五引て減らさず

い 如前位と考へ右積間
方と見えては極小の毫を
立てけ為の毫を九九ふら
むを二十ふとつて或千
百坪引たり

五の割三

五の 実の積少テ
三百四拾坪四分八厘

商	十	十	十	十	十
十	十	十	十	十	十
十	十	十	十	十	十
十	十	十	十	十	十
十	十	十	十	十	十
十	十	十	十	十	十

へ 積の少り

此の當小生尺

ほ 五三倍作六たつては
けの毫を法とて

に けの毫を法とて
減らして一とく割たり

五の割三

五の 実の積少テ
四拾坪四分八厘ト成

商	十	十	十	十	十
十	十	十	十	十	十
十	十	十	十	十	十
十	十	十	十	十	十
十	十	十	十	十	十
十	十	十	十	十	十

り 積の少り

此の當小生尺

ち 六六十八引て或二
のこす

こ けの毫を半九九
ふらび減らして引たり

五の割四

五の 実の積少テ
貳拾貳坪四分八厘ト成

商	十	十	十	十	十
十	十	十	十	十	十
十	十	十	十	十	十
十	十	十	十	十	十
十	十	十	十	十	十
十	十	十	十	十	十

を 積の少り

此の當小生尺

る 五二倍作四

ぬ けの毫を法と
して三極下して一
とく割たり

五の刻の五

実の移法テ

九坪四分八厘ト成



九方面

五拾六間四分ト成

よ高の口と半九九糸

四四八引拂

か四六二十四引

わけ高の口と一初上の実

高の六と九九糸よび引

下して引たり

六の刻の二

啓

三千六百拾八坪二厘一毛忽

は地口を以何程と向

答六拾間五分厘也



は移法テ

拾八坪八厘一毛糸

先と二つ小割の算小出す

ろ六六三十六引

い如前後と考六拾間

口方と引して初小の算

を点ては高の六と九九糸

よび六六三十六と引して

三子六百坪引たり

六の刻の二

実の移法テ

九坪二厘一毛二糸五忽ト成



へ移の法り

次の算小出す

ほ六進一十

にけ六の高を法と一

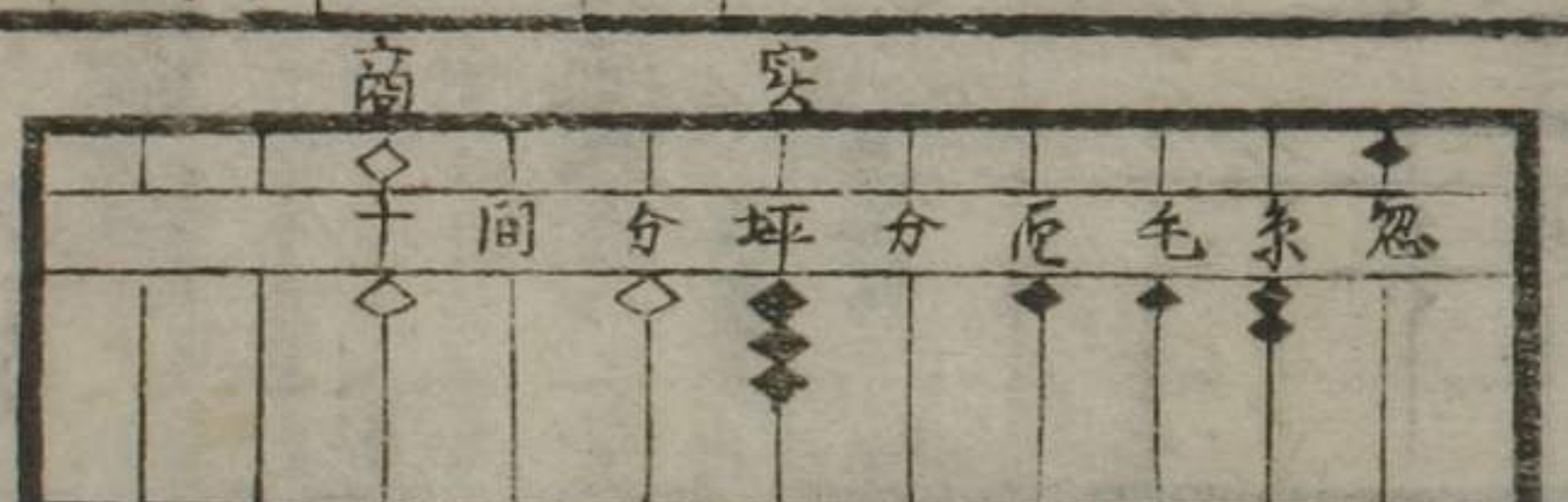
ては初小して一とく

刻なり

六の刻の二

実の移法テ

三坪二厘一毛二糸五忽ト成



り移の法り

次の算小出す

あ二一〇引して六

つ法すたり

こけ高の一と半九九糸

よびこび初とあつこ

下して引たり

六の割の四

実の後跡テ

三坪〇六毛二糸五忽成

商	同	分	厘	毛	糸	忽
十	〇	〇	〇	〇	〇	〇

① 後の跡り

沢の雪小出す

② 六三 天作五

③ ぬけ六の毫と法と一
ては柳下ふて一こく
割なり

六の割の五

実の後跡テ

六毛二糸五忽ト成

商	同	分	厘	毛	糸	忽
十	〇	〇	〇	〇	〇	〇

④ 方面

六拾間一分五厘ト成

⑤ よ毫の五と字九九小引
五五十二字引拂ふ

⑥ か一五、五引

⑦ わび毫の五と毫の一と
九九小引びは柳下ふて
引なり

七の割の

⑧ 積六三二拾八坪八分四厘四毛
は法に方々何程々の
一糸
善七拾七間七分二厘成

商	同	分	厘	毛	糸	忽
十	〇	〇	〇	〇	〇	〇

⑧ 後の跡り

千百二拾八坪八分四厘四毛
是と二糸割沢の雪小出は

⑨ 七七四十九引

⑩ い如前位を考七拾間五分
方と見ては柳下ふ七の毫と
は毫の七と九九小引び七七に
積九とよては千九百坪引也

七の割の二

⑪ 実の後跡テ
五百六拾九坪四分二厘二毛五忽ト成

商	同	分	厘	毛	糸	忽
十	〇	〇	〇	〇	〇	〇

⑫ 後の跡り

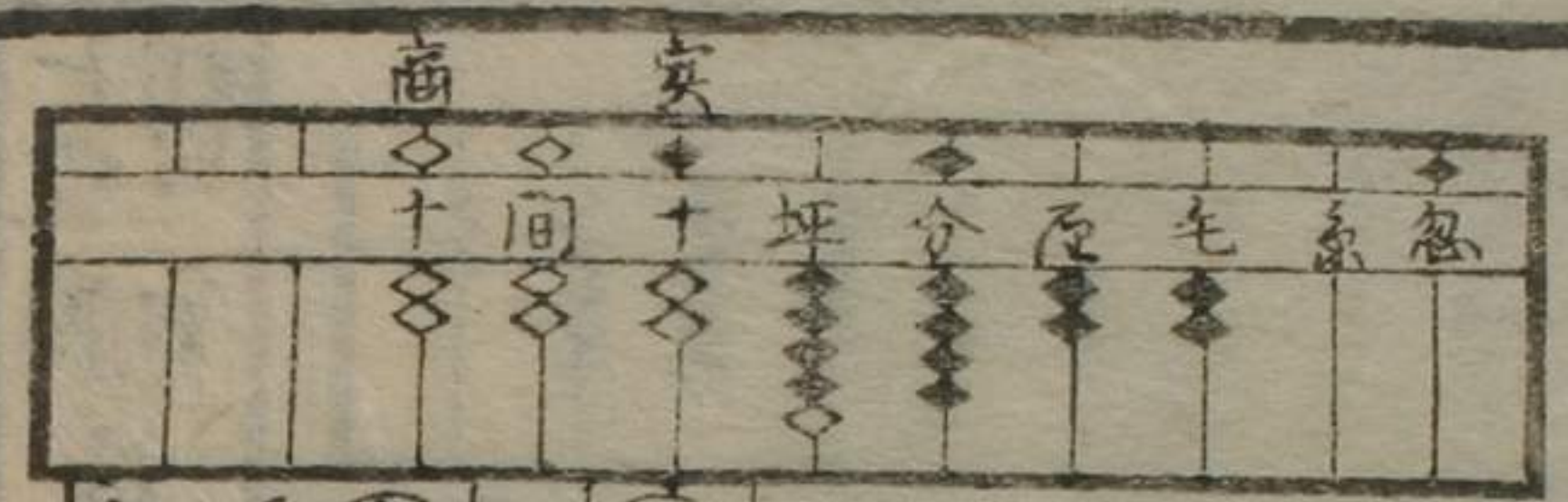
沢の雪小出は

⑬ は一柳上りの七の毫と
九九小引び七七二十四引

⑭ は七五七十一は柳七の毫と成

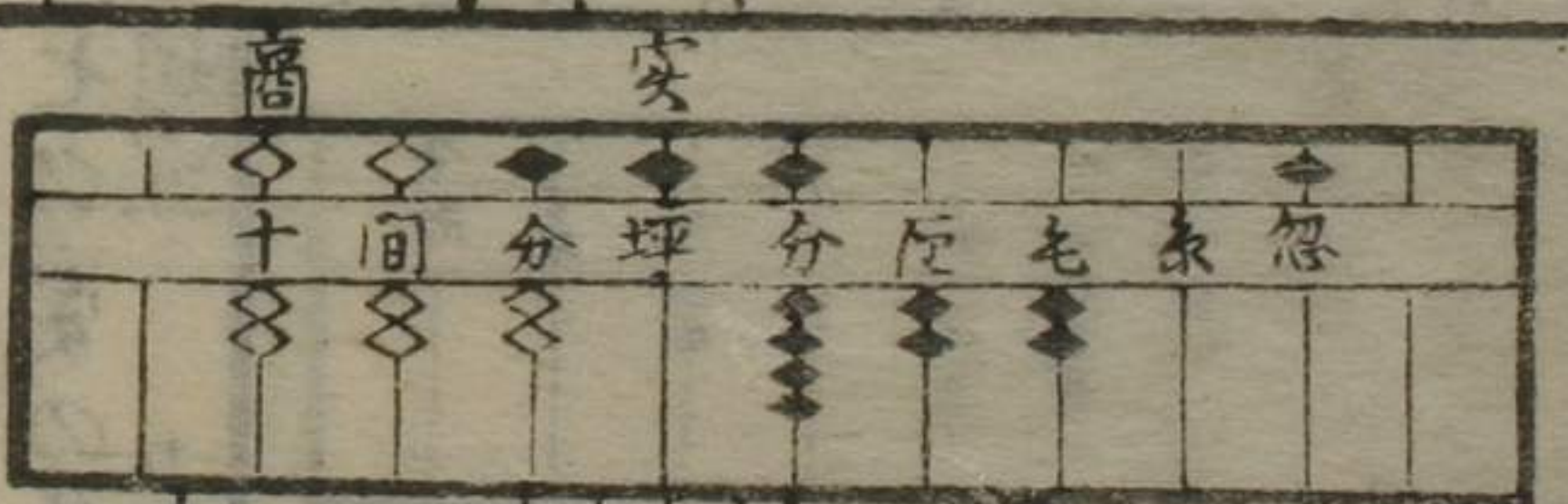
⑮ に七の毫を法と一
て沢の雪と一こく割
なり

七の 実の積法テ
割三
五拾四坪九分八厘八毛五忽ト成



ぬ 後のゆり
次の算不出
の 七五七十一
ち け七の毫を法と
て二桁下の毫と一と入
割たり

七の 実の積法テ
割四
五坪九分八厘八毛五忽ト成



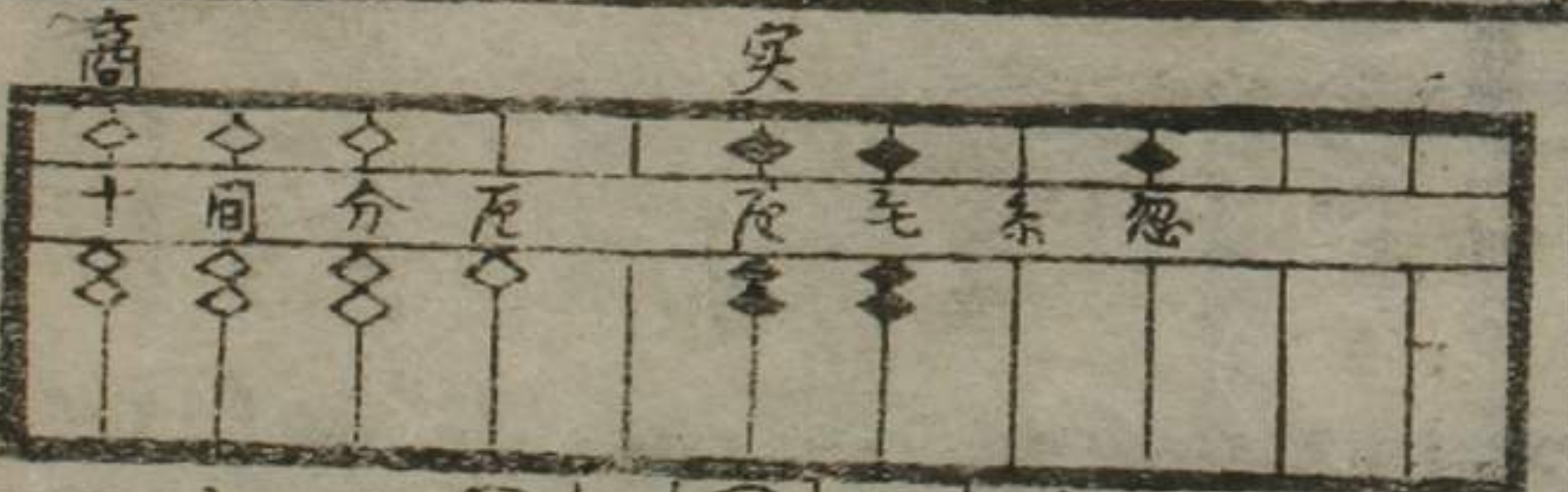
か 後のゆり
次の算不出
わ け三桁上の毫の七を
半九九小のちけ桁より
七七二十四半引
を 七七四十九引
る け毫の七と一桁上の
毫の七と九九小のちけ
桁下り引たり

七の 実の積法テ
割五
七分七厘七毛〇五忽ト成



れ 後のゆり
次の算不出
た 七進一十
よ け七の毫を法と
て五桁下り一と入割
たり

七の 実の積法テ
割六
七厘七毛〇五忽ト成



ら 方面
七拾七間七分三厘ト成
な 一ニカ半引構ふ
ね 一七ウ七引
つ 一七ウ七引
ろ け毫の一と二桁上の毫
の七と見合九九小のちけ
桁下り引又毫の毫と
一桁上の毫の七と見合
引け毫の一と九九小のちけ

八の二の刻

辟言積七千六百三拾坪七分八厘九毫六
け地は方丈何程なり

各八拾七間三分六厘成



は積の跡り

千二百三拾坪七分八厘九毫六

毫と二ふ刻の場小出

ろ八八六十四引

い如前位を考へ八拾間四

方と見ては八の九を

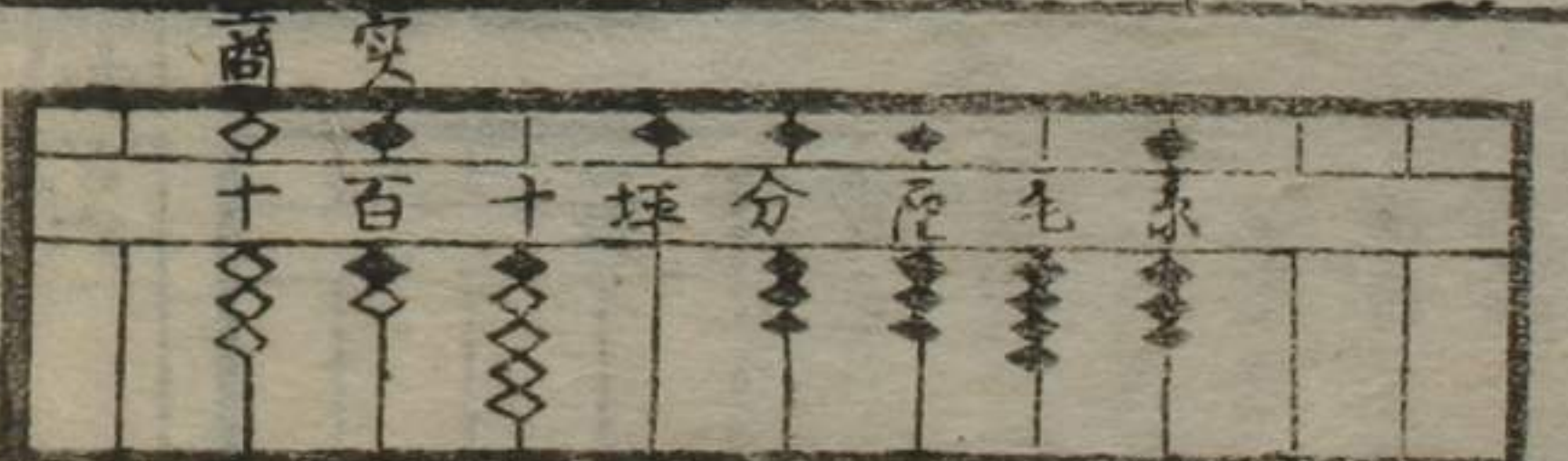
立ては九の八を九九ふび

八八六十とよみて六十は

百坪引なり

八の三の刻

六百拾五坪八分八厘四毫八糸成



こ積の跡り

沢の場小出

へは二拾上の七の毫と

九九ふび七二十四引

ほ八七十四は八の七の毫と

に八の毫と法と

て沢の六と二ふ刻なり

八の三の刻

三拾二坪三分八厘四毫八糸成



ぬ積の跡り

沢の場小出

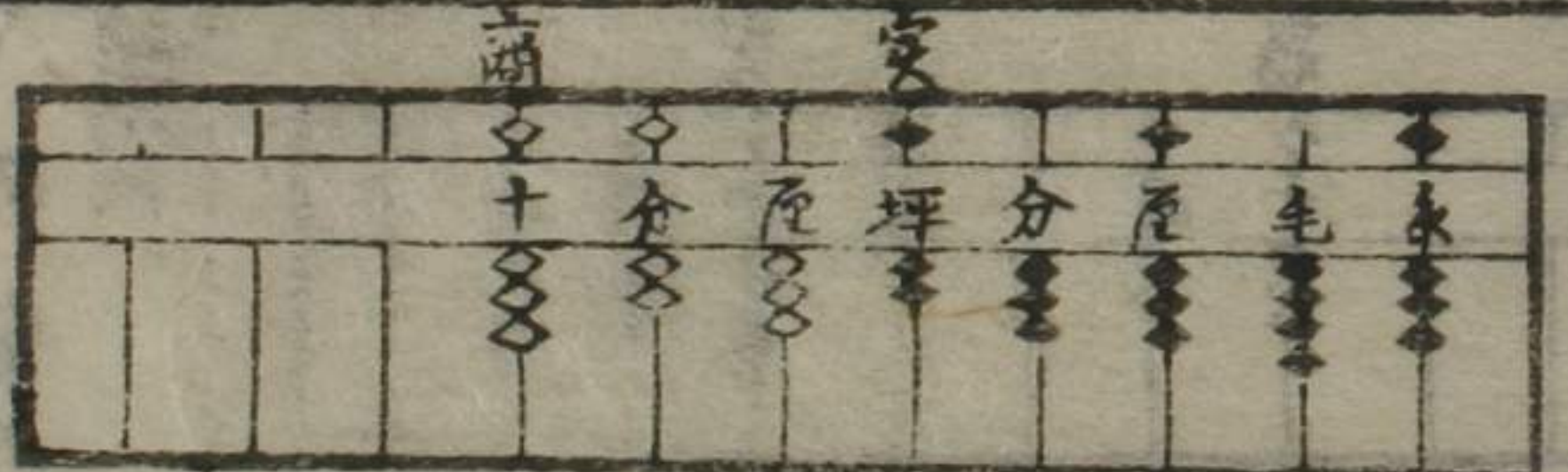
の八三加下六

ち八の毫を法として

三拾下の三と二ふ刻也

八の四の刻

七坪三分八厘四毫八糸成



か積の跡り

沢の場小出

わは四拾上の毫の三と九九

ふび三三三三引なり

を三七二十一引

るは毫の三と一拾上の毫

の七と八合九九ふび

の八の毫と法として

半九九ふびは下おて

引なり

八の實の積法テ
割の五
五坪二分三厘九毛八糸ト成

商	同	分	厘	毛	糸
十	十	十	十	十	十
〇	〇	〇	〇	〇	〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇

① 積の法り

次の算小出す

② た 八五六十二

③ よけ八の高を法として
は杉下の高さとし
割かり

八の實の積法テ
割の六
四分三厘九毛八糸ト成

商	同	分	厘	毛	糸
十	十	十	十	十	十
〇	〇	〇	〇	〇	〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇

④ 方面

八拾七間三分六厘ト成

⑤ な 六六十八引 掃ふ

⑥ ね 三六十八引

⑦ つ 六七四十二引

⑧ うけ高のちと二杉上の
高の七と見合九九小び
はの杉下で引又高のちと
一杉上の高の三と見合
引かり又け高のちと半
九九小び引掃ふ

九の實の積法
割の七
積八十三百二拾五坪分
は地四方何程島 二五糸
各九拾間二分五厘ト成

商	同	分	厘	毛	糸
十	十	十	十	十	十
〇	〇	〇	〇	〇	〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇

① は 積の法り

二五坪分は地四方何程島
先と二五小割引の算小出す

② ろ 九九八十一引

③ い 如前法を考へ九拾間
は方と見ては杉小九の高
をばい高の九と九九小び
九九八十一と引半五坪引

九の實の積法
割の二
百拾三坪五分厘毛二糸五厘ト成

商	同	分	厘	毛	糸
十	十	十	十	十	十
〇	〇	〇	〇	〇	〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇

④ こ 積の法り

次の算小出す

① は 二杉上の高と半
九九小び引半五坪引

② は 九加下一は杉一の高と法

③ に は 九の高を法として
はの二と一と引割かり

拾の割の

啓言

積二万九千九百六拾坪分を
はたはた、何程、何
答百四拾二間三分成

毛	分	坪	十	百	十	百
●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●
●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●

は積の法、
九年九百六拾五坪六分九厘を
二つ割、はのふ小出、

ろ、二一、一引

い、如き積方の位、位一、位
進、万坪、百間、は方と考へ、
とさ、は、高の一と九九、ふ、ひ、二、
一といふ、二、初、下、下、下、万坪、引、也

拾の割の

啓言

積二万九千九百六拾坪分を
はたはた、何程、何
答百四拾二間三分成

毛	分	坪	十	百	十	百
●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●
●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●

ち積の法、
はのふ小出、

こ、四四、八引

い、如き積方の位、位一、位
進、万坪、百間、は方と考へ、
とさ、は、高の一と九九、ふ、ひ、二、
一といふ、二、初、下、下、下、万坪、引、也

拾の割の

啓言

積二万九千九百六拾坪分を
はたはた、何程、何
答百四拾二間三分成

毛	分	坪	十	百	十	百
●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●
●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●

る積の法、
はのふ小出、

か、一、一、一引

い、如き積方の位、位一、位
進、万坪、百間、は方と考へ、
とさ、は、高の一と九九、ふ、ひ、二、
一といふ、二、初、下、下、下、万坪、引、也

拾の割の

啓言

積二万九千九百六拾坪分を
はたはた、何程、何
答百四拾二間三分成

毛	分	坪	十	百	十	百
●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●
●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●

よ積の法、
はのふ小出、

か、一、一、一引

い、如き積方の位、位一、位
進、万坪、百間、は方と考へ、
とさ、は、高の一と九九、ふ、ひ、二、
一といふ、二、初、下、下、下、万坪、引、也

拾の實の積法テ
割の五
四拾坪三分四厘五毛ト成

毛	厘	分	坪	十	分	同	十	百
●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●

① 積の法り

沢の邊小出す

② 積三進三十

③ たいの巻と法として
五、柄下小して一と一割なり

拾の實の積法テ
割の六
拾二坪三分四厘五毛ト成

毛	厘	分	坪	十	分	同	十	百
●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●

④ 方面

百四拾二間三分ト成

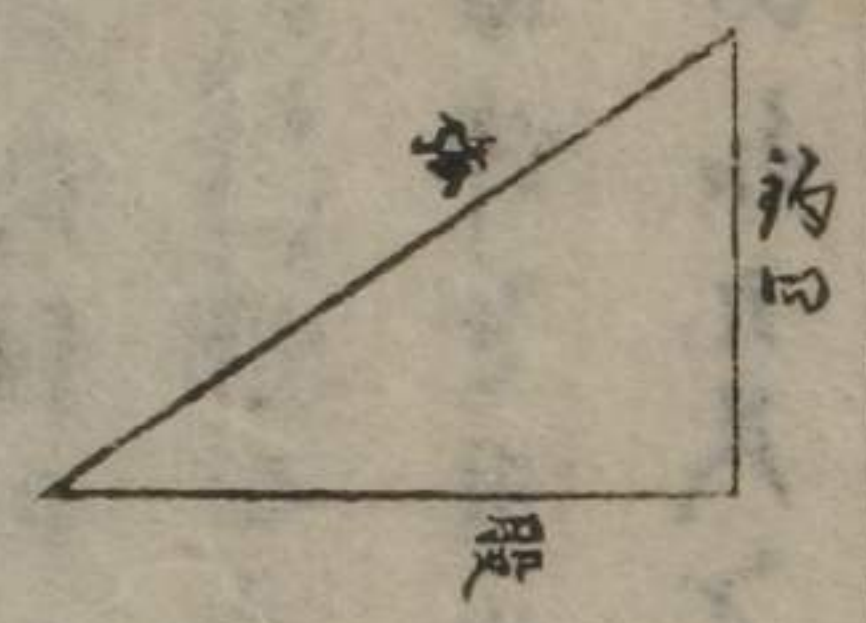
⑤ 三三四半引棒

⑥ 一三三三引

⑦ 三三三三引

⑧ 三三三三引
ついで巻の三と三柄と、の巻
の四と見合九九小、ひ沢の柄
半引又巻の三と柄と、の
巻の一と見合九九小、ひ引
又ひ巻の三と半九九小、ひ
五柄下小して引棒、なり

関平法諸術



股四寸
弦五寸

約何寸

答約三寸

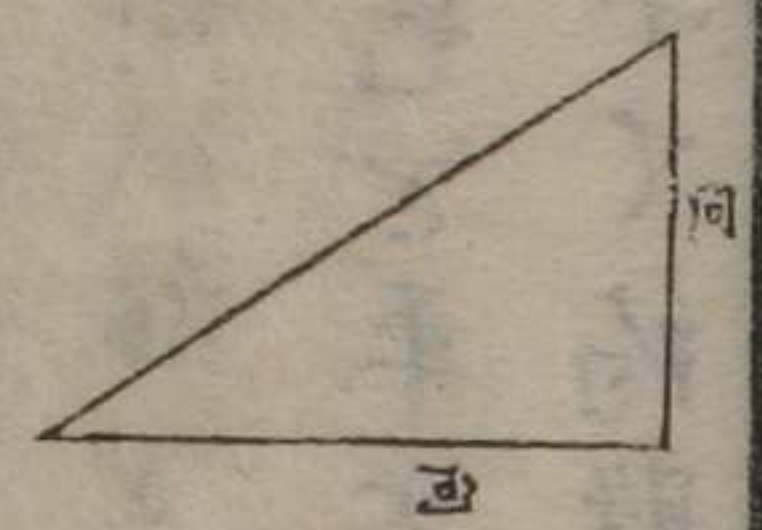
術小弦を寸を自メ自してとかけ合
せりよとふたり
と成を甲の内小て去り
様と引をいふ
余り
九坪を
求ぬるなり

甲と成とふたは積を
おろすなり
股四寸を自メ
合せりよとふたは積を
合せりよとふたは積を
合せりよとふたは積を



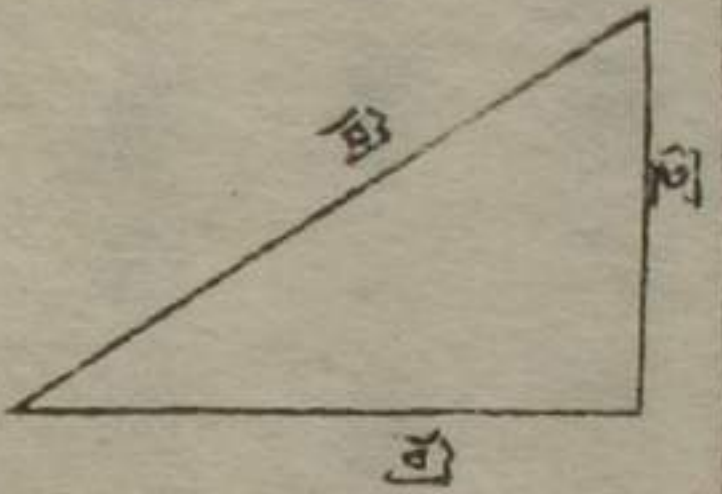
横六拵坪
 約股何程の向
 答 約八寸
 弦七尺七寸
 股七尺六寸

備小横六拵坪不曰と糸メ貳百に横坪を甲と尺
 該七尺七寸と目メ甲と去余曰拵九坪を糸方メ約股の
 差七寸と求メ差を自メしと尺この尺とはは種と
おろちとあり甲と倍メ乙
 と加メ加ふといは百貳拵九坪と糸方メ約股の糸貳
 尺三寸と求メ和と尺六寸と約股と知ぬ測入前不五



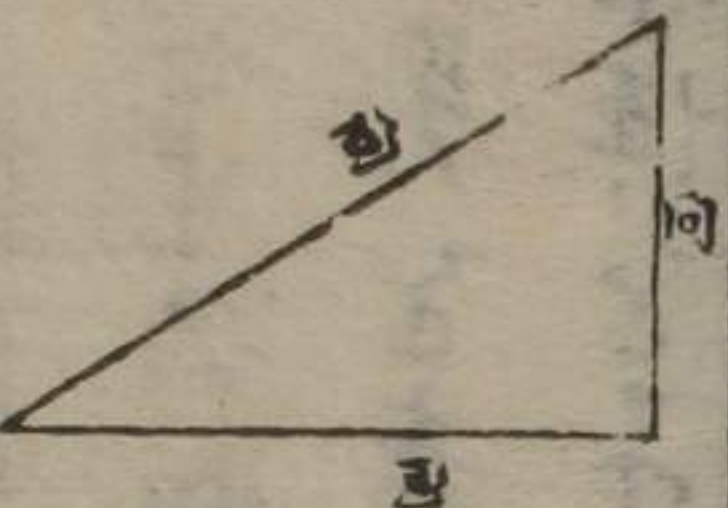
弦貳尺六寸
 約股の長
 答 約七寸
 股貳尺四寸

備小該貳尺六寸と自メ六百貳拵五坪と甲と尺七
 寸と尺七寸と自メ貳百八拵九坪と甲の内不て去り余
 二百二拵六坪としと尺甲不しと加メ九百六拵五
 坪を糸方メ三尺寸求メ半メ子と尺子とはは種と
おろちとあり子の内不を加へて
 尺を半メ母と尺母とはは種と
おろちとあり子の内不を去り約たり



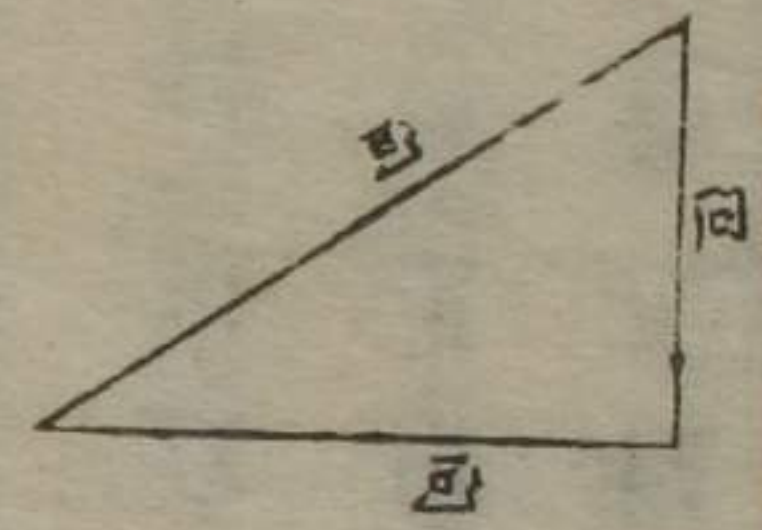
積六百坪
約股弦と四
答 約 三尺
股 四尺
弦 五尺

術 小積六百坪小口と糸メ八千口百坪と甲と尺
和を丈八尺を自メ是万口百坪の内甲と去
二の除く除く実として和を丈八尺小除弦を尺
と求め此弦を自メ八千口百坪の内甲と城こ百坪
余り是と平方メ約股の長を尺と求め約股の和と
長小て約股と志依例ハ前に何れ



約弦を糸五千五百坪
股弦を糸メ八千坪
此約股弦と四
答 約 三尺
股 四尺
弦 五尺

術 小約弦の積千口百坪を甲と尺甲と糸メ八千
口千口百坪と乙と尺股弦の積八千坪と子と尺
子と自糸メ自糸してと糸メ八千坪と世と尺糸メ
乙を丈六万口千口百坪と再平方メ再平方と六万口
弦を尺を求め弦小て甲と除き約三尺を求め弦
小て子と除き股を求め志依例なり

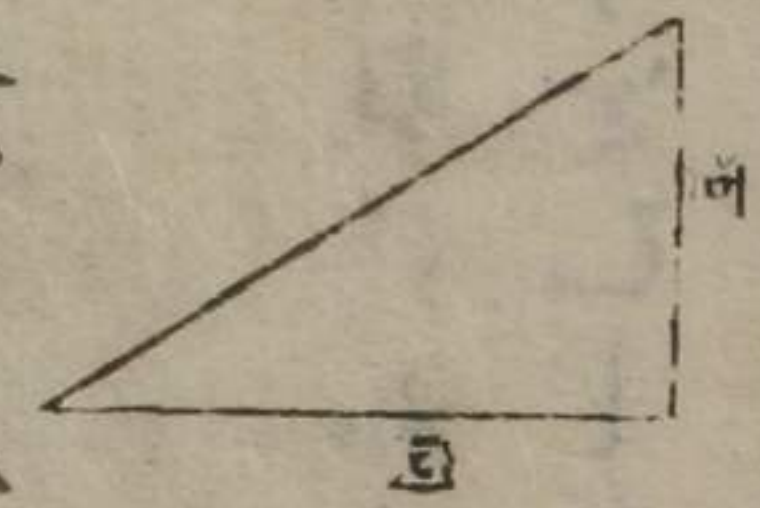


積三指輝
釣股の長七寸

答 約 五寸
股 七寸
弦 七寸

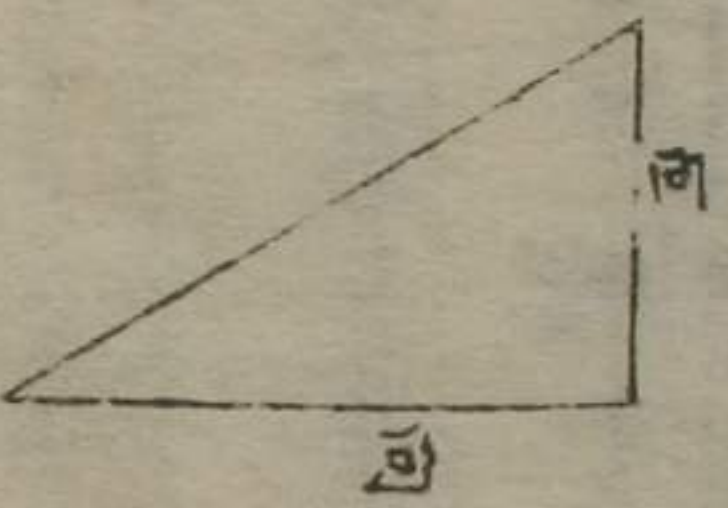
例不積三指輝小八と糸の或百は指輝と甲と
長七寸を自の或百は指輝としと長甲小乙を加へ
或百八指九輝と平方の釣股の和を尺七寸を求め
是尺七寸の和を尺七寸を加へ二小隙き股を尺七寸と知
り内長を去り釣む寸を知又積三指輝小乙と糸の百
或指輝と子と長七寸を自の或百は指九輝と隙を

母と子小母を加へ百六指九輝と平方の弦を知り



弦 尺五寸
釣股 尺五寸
答 股 尺

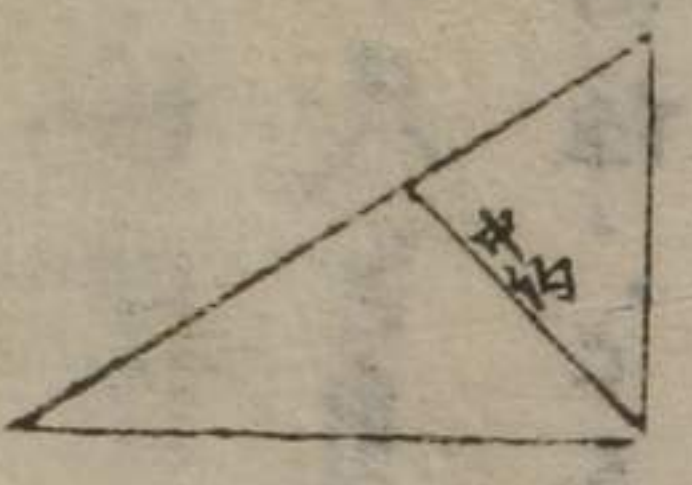
例不積尺五寸を自の六百或指九輝と実と長
七寸を糸の長を加へ一或六二と法と一と
法として一と実を隙きは或百指九輝と平方の股を尺
五寸と求め自の或百或指九輝と隙を
平方の釣を尺五寸と求め長は尺五寸なり



弦は百七格の間を自れ
 約股弦三方の和
 千百四拾間有
 答 約 弦 百 八 拾 五 間
 股 三 百 八 拾 間

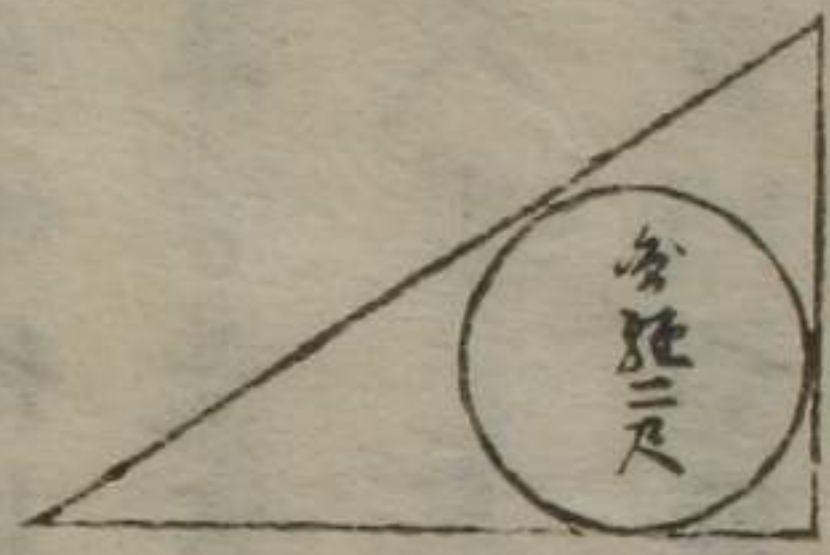
術不弦は百七格の間を自れ
 或格の坪を倍れは格の万
 二この和を百は格間の内弦を去れ
 間約股の和也此和を乗れは格は万式千式百式格
 五坪としは尺甲の内乙を減て九千式格の坪を
 乗方約股の差九格の間を求めて約股の和と差

此は約股と表は術の前不出尺



約股弦と四
 中約式尺は寸
 約股の差五尺
 答 約 三 尺
 股 四 尺
 弦 五 尺

術不中約式尺は寸を自れ
 六坪と乗方式尺六寸と求甲
 式尺四寸を加へ弦也式尺を自れ
 乘れは百坪を去余は千九百坪
 の和を求め和と差して約股を



半径貳尺約股の和七尺也

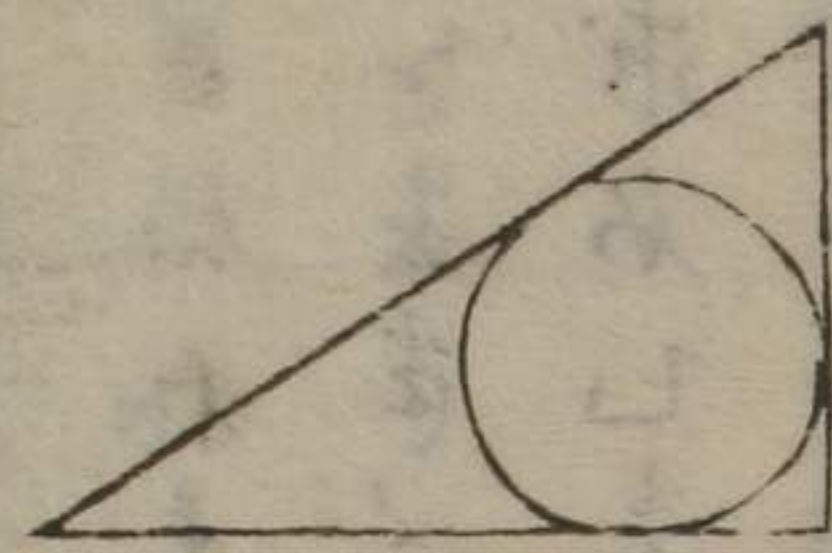
約股弦と四

約 三尺

答 股 四尺

弦 貳尺

例示約股の和七尺の内半径貳尺と去弦貳尺也
 弦貳尺を自に倍に貳千坪の内和七尺と乘に去
 余百坪を平方に約股の長さ尺也和と長より
 約股を去る例示前不出尺



半径貳尺約股の長さ尺也

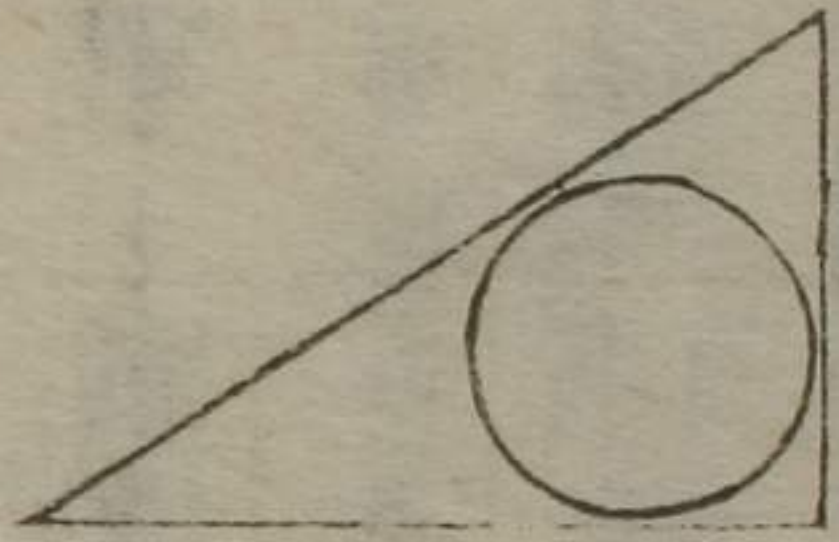
約股弦と四

約 三尺

答 股 四尺

弦 四尺

例示半径貳尺を自に四百坪を倍に八百坪と去
 と甲より長を乘に四五百坪を甲より加へて九百坪を
 平方に三尺を求ふと尺乙示半径貳尺を加へ
 て弦也此弦貳尺示半径貳尺を加へ約股の和なり
 和と長より約股を去る例示前不出尺



積六百坪含経式尺五

此約股弦を四

答

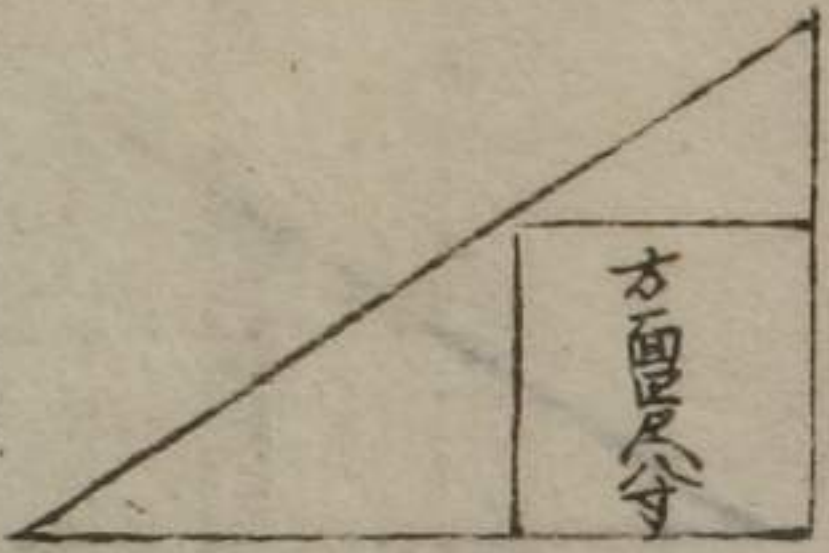
約 三尺

股 四尺

弦 五尺

術小積六百坪小口を築く其と以含経式尺小隣
三方の和を大式尺を求め甲と以甲の比含経式
尺と去る以弦也甲の内弦を減て約股の和七尺
を求め乙と以弦を求め以倍乙と自以去余
百坪と原の方以約股の長と求め和と差不

約股と志術例八前小出



弦を大四尺方面四尺八寸五

此約股を四

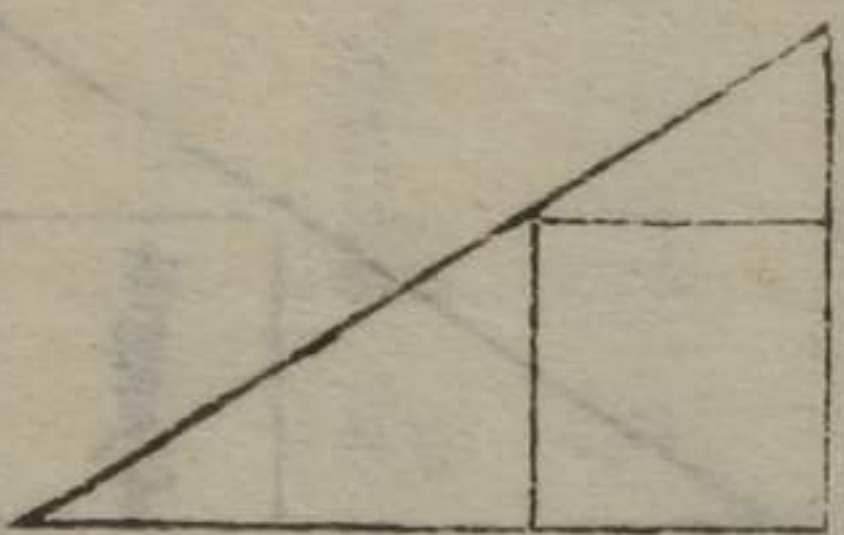
答

約 八尺四寸

股 五尺八寸

術小弦を大四尺と自以去万九千六百坪を甲
と以方面四尺八寸を求以或子之面四坪を甲不
加く或万九千六百坪を求方以去大四尺八寸を求
方面四尺八寸を加て約股の和を大九尺六寸也

此和を自メニ百八十四百換六坪を乙と尺甲と倍メ
内乙と減余を平方メ約股の差尺八寸と求む
和と差メテ約股と志例前小半尺



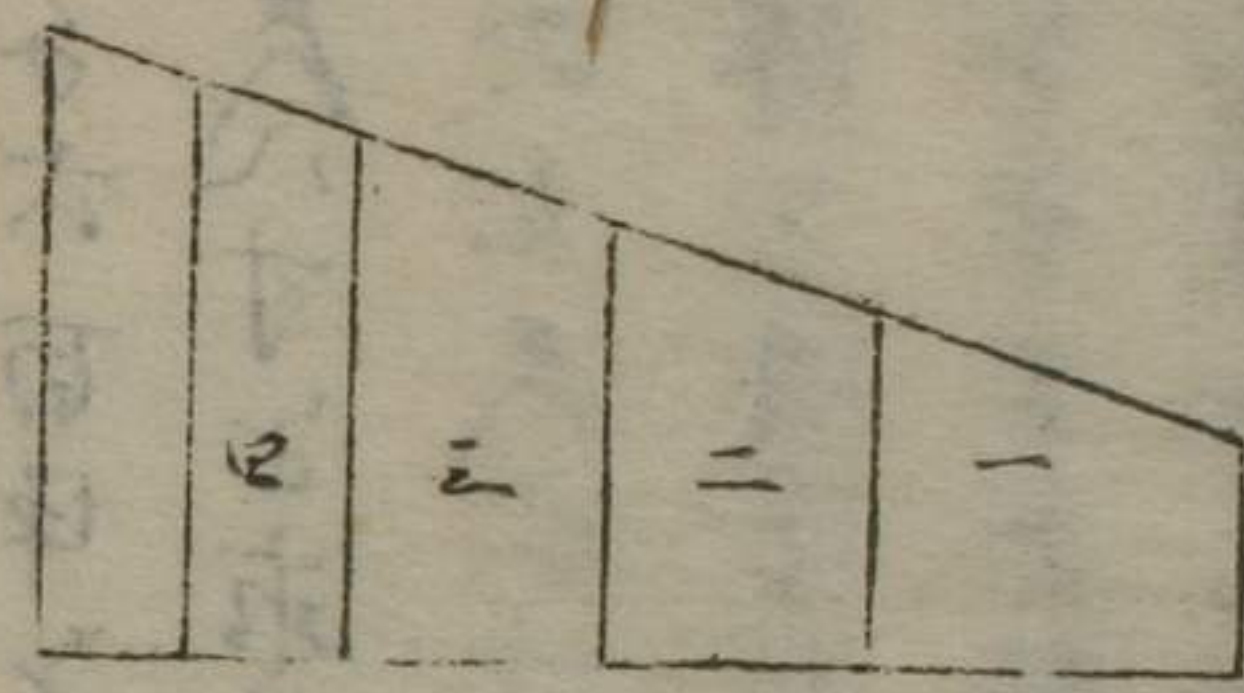
方面は尺八寸中約六尺七寸五分五
分約股は尺八寸

善股 差大差尺七寸

弦 差大尺

術小方面は尺八寸とお糸メ幾子三百四坪を甲
と尺甲と倍メ中約六尺七寸五分と糸メ三百九百

六換五坪七分六厘を乙と尺又中約を自メ尺子
五百換五坪八分四厘の内甲と去余を法メ
乙を除き弦を大尺と求むは弦と自メ差大尺
子六百坪を子と尺子小甲を加へ平方メ差大尺
尺八寸と求む内方面は尺八寸を加へて約股の和を
文九尺六寸と求む和を糸メ三百八子四百換六
坪と母と尺子を倍メ内垂を減余七百八換四坪
と平方メ約股の差尺八寸と求む和と差メテ
約股と志例前小半尺



卷

股口接間
 長約式接間
 短約九間
 此積口小分切は何程々
 其の切口接間
 其の下の接間
 式の切口接九間
 式の下接間
 三の切口式接間
 三の下接間
 四の下の接間
 其の積百八接坪
 式百七接坪
 式百接坪
 百式接坪

粥小長約式接間の内短約九間と去余を股口
 接間小除き句配口寸と或先を倍々八寸を甲と
 其の積小甲と糸メ百口接口坪と或を乙と凡短
 約を自メ乙小加へ式百式接口坪を甲方メ其の切
 口と求又或の積小甲と糸メ百之接六坪を子と凡
 其の切口接口間をお糸メ子を加へ之百六接口坪
 と平方メ或の切口と求又三の積小甲と糸メ百六
 接八坪を母と凡或の切口接九間を自メ母を加へ
 平方メ三の切口と求又下の間敷と知小凡其の

切口の接む間の内径約九間と去句配四寸小除き
 去句一又式の下の間敷を組小八式の切口接九間の
 内きの切口と去句配四寸小除き去句一又式の下
 前の切口と去句配小除き版く小知く



半径三尺

矢八尺七寸

け弦を系

答 弦長尺八寸

剛小直径三尺の内矢八尺七寸と去余三寸と
 と甲と尺甲小矢と自メ八換き棒小又四と系メ

三百式換口棒と東方メ弦長尺八寸と求む去句



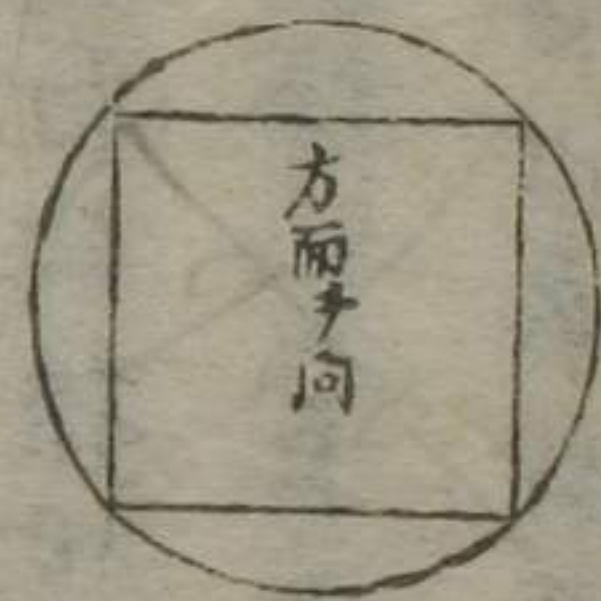
半径三尺

弦長尺八寸

け弦を系

答 矢八尺七寸

術小直径三尺と自メ九百棒を甲と尺弦を系メ
 三百式換口棒と乙と尺甲の内乙と去余五尺七換
 六棒を東方メ式尺四寸と求む内直径三尺を加
 半メ矢八尺七寸と求む去句



直径三尺
四方を削落

此方面を四

答 貳尺七寸二分三厘三毫二末

例小直径三尺を自糸の解金身を以て九百坪と成るを以て四百坪と成るを東方の方面と志す也

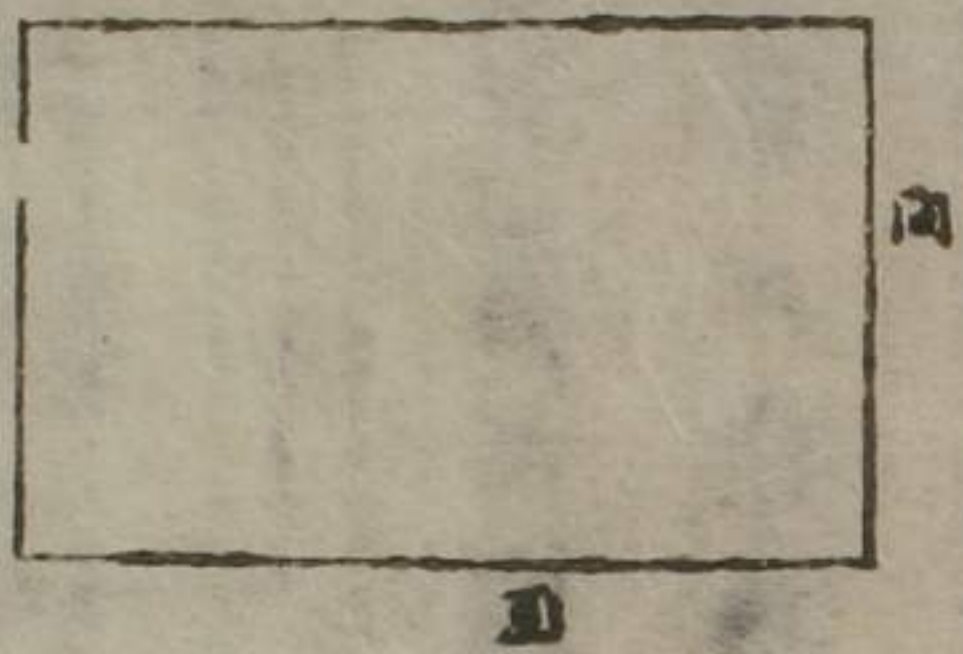


方面貳尺七寸二分三厘三毫二末

答 貳尺七寸二分三厘三毫二末

例小方面貳尺と自周の自周を以て四百坪と成るを以て八百坪と成るを東方の方面と志す也

を以て八百坪と成るを東方の方面と志す也



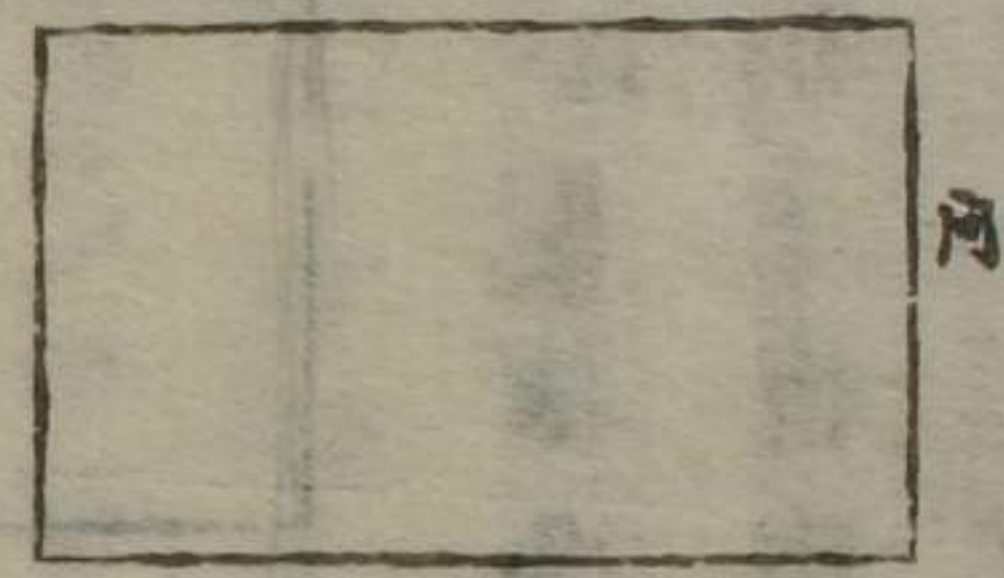
長横九間

横横三間

此恰好小の双倍小
長横何程の

答 長横貳間四寸八厘五毛
横横九間六厘八毛

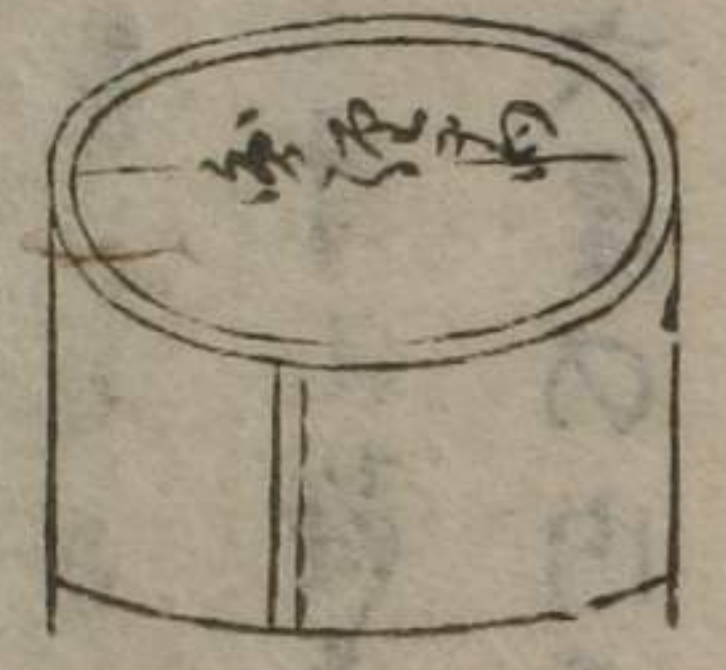
例小長横九間を自糸又を糸の八百坪を以て東方の方面の長を求む又横横三間を自糸又を糸の八百坪を以て東方の方面の横を知らる



横は百坪長横の長九間小し
け長横何程より

養
長式横六間
横横六間

形小長九間と折半の
と自の式横横六分五厘と様小短して
式分五厘を東方の式横横半を求る是小甲を加へ
て長式横六間也甲を減て横横六間を求るなり



外敷六外三合式夕入
深廿五寸四分五
以容積何程より

養
容積九寸八分

術小外敷六外三合式夕小外法六四八式七と様
四百九坪七分〇六六四と成是を深廿五寸四分小
除き又容法七九小除き九横六坪四厘を東方の
容積九寸八分と知るなり

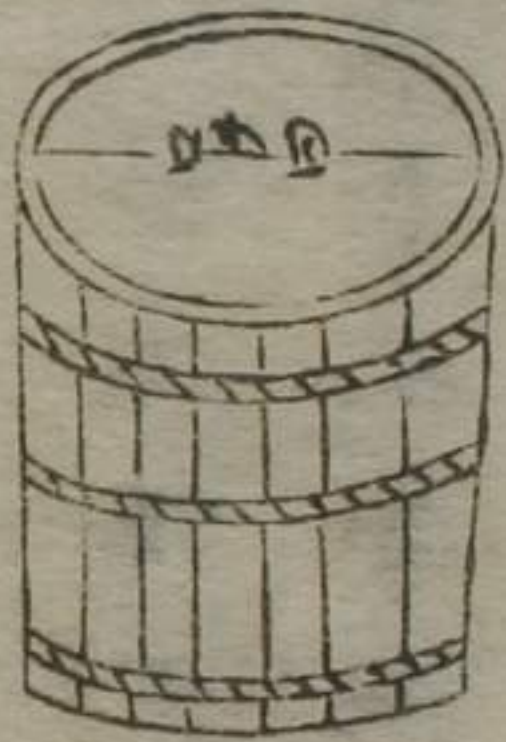
桶口身入深サを尺八寸に底の

底三寸小して口の底の旁徑を四

尺口寸九分七厘を

答

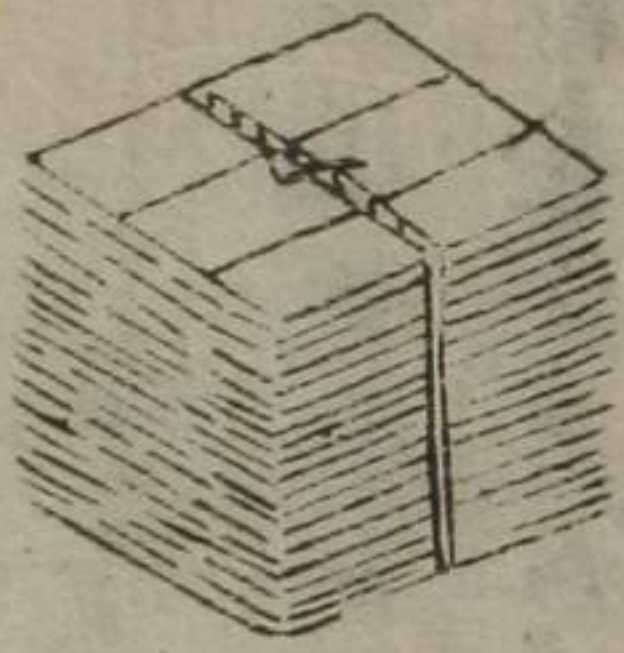
底 寸九分七厘を



桶

彬小外敷口身を外法六四八二七を糸メ又之を
自メ七子七百七換九坪式分口厘を深サ寸八
寸小除き又旁法七九小除き四口換七坪
六厘の内径三寸を糸メ去余を三小除き百七換
九坪三分口厘小口を糸メ内径を自メ加へて七

百式換六坪口身を糸方メ式尺六寸九分口厘を求
内径を加へて半メ口の旁徑求ル径を減て半メ
底の旁徑を求ル志存なり



五尺繩家根板式寸小分て

以繩何尺小成之

答繩三尺五分口厘

彬小繩五尺とお糸メ二口小除き子式百口換坪
を糸方メ繩三尺五分口厘を求ル知存なり



唐令七寸の角長三尺五
先を長貳尺六寸小縁也

け方面何程の向

答 方面七寸六分六厘

楸小方面七寸と自メ又長三尺と采メ子口百七拾肆と
新長貳尺六寸小除キ拾八肆八分と采方メ方面と志也

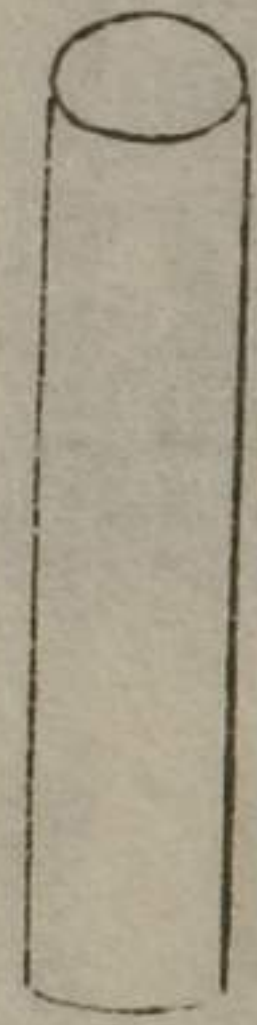


唐令八寸角長貳尺五
長三尺の九拾小縁也

け方面何程の向

答 方面七寸三分四厘

楸小方面八寸と自メ又貳尺と采メ子口百八拾肆
と新長三尺小除キ又采法七九小除キ拾八肆
九分四厘と求木采方メ方面と志也



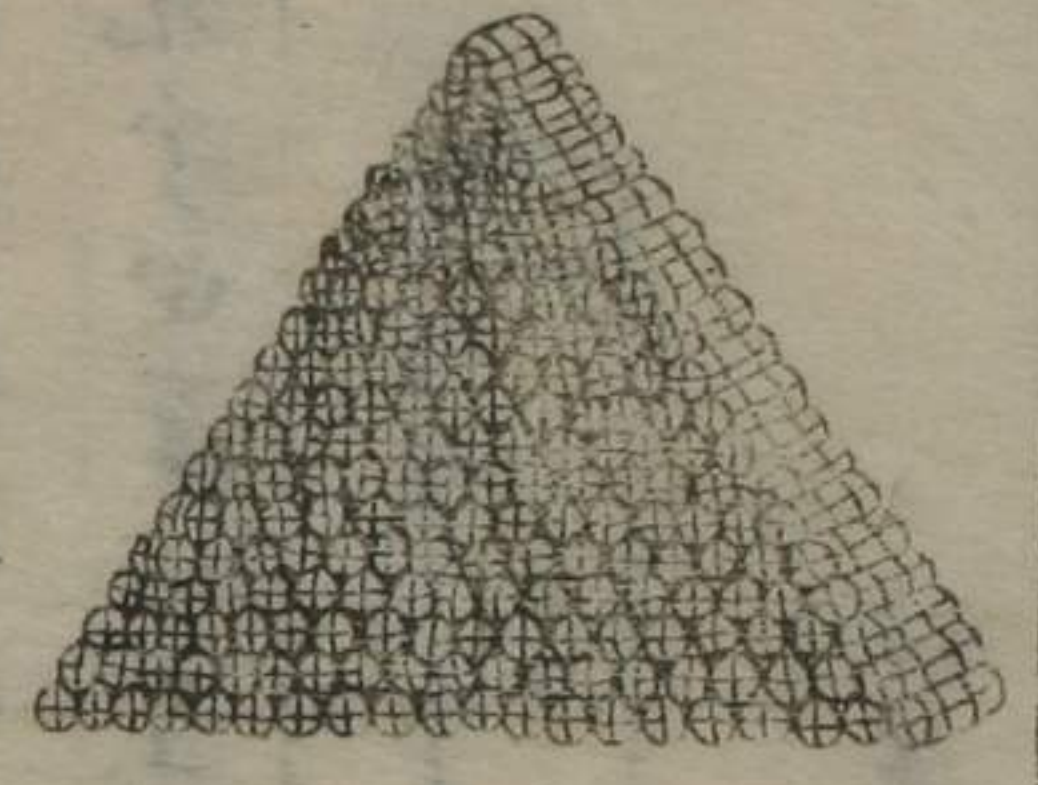
唐金の棒身径六寸長三尺五
先を長貳尺六寸の角小縁也

け方面何程の向

答 方面六寸八分四厘

術小身径六寸と自メ又采法七九を采メ又長三尺と

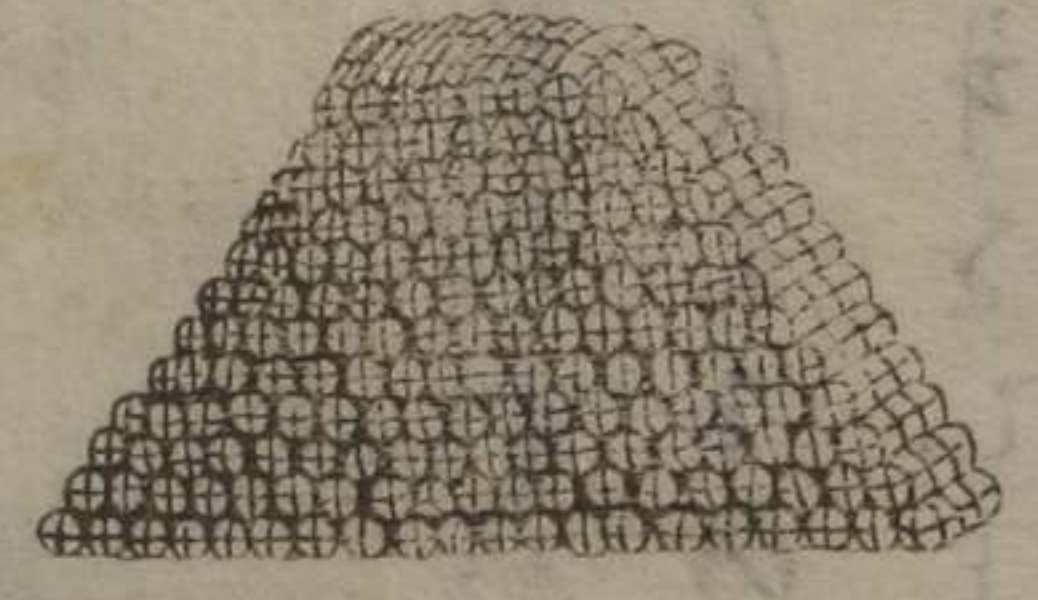
自八百五拾三坪式分を新長式尺五寸小除き三接曰
坪五分八厘八毛と求む亦方々方面を知り方なり



俵敷七拾八俵五毛を枚形に
換て上々俵より小して
下の俵何程なり

答 下の俵拾貳俵也

俵小俵敷を俵メ甲より面、き俵を曰小除き甲小
加へ百五拾六俵式分五厘と亦方々拾貳俵半と亦
方々俵を引て下拾貳俵を知り方なり



俵敷百五拾六俵五毛を枚形に
換て上八俵の面、小して下
の俵何程なり

答 下の俵拾貳俵也

術小俵敷を俵メ三百八俵を甲より面、八俵小七
俵と自亦メ俵メ百拾貳俵を甲小加へて曰百貳拾
俵と亦是としより面、き俵を曰小除き乙小八
亦方々俵半俵を引下拾貳俵を知り方なり



上米三石六斗
下米貳石七斗
式口の代金八両

但しきある月上下式斗の
運遠はお場何程の

答

上米 七斗
下米 九斗

補小代金八両不運遠貳斗を自メき不六斗を甲
と上下の不粒を合て内甲と去余を半メ貳石
三斗と乙と内甲と上の不粒と半メ不六斗と

子と内乙を自メ不貳斗九斗を母と内子小丑
を加て格不八斗九斗を東方メ不三斗を求メ乙を加
代金小除き上の替也是小算貳斗を加て下の替を部

童蒙抄奥の算術

童蒙の算こども算の妙術めづるべきを傳つたふ家いへ不著しるは先まづおかり粒を
枳つぎ粒何程無合たりとも十実の後の粒をきの位と受て
たりと一十一と一枳並小算こども算登のぼり千粒の始一枳と
を二枳とすても十と尚なほ枳小高と立てたて算そろばん法は小除くは
算合そろり粒を求もとめ知しること算そろばん法はこも如術ごとくなりんや

文化九年壬申正月

江戸日本橋通壹町目

須原屋茂兵衛

御藏米割付

十五兩ヨリ五十三兩マテ
百俵二三十五石ナリ

金十八兩	三分	一石九斗七升八勺	一	一分	一石九斗一升七勺八勺
	二分	一石九斗四升八勺	二	二分	一石八斗九升八勺
	一分	一石九斗一升八勺	三	三分	一石八斗六升八勺
金十七兩	三分	一石八斗八升八勺	一	一分	一石八斗一升八勺
	二分	一石八斗五升八勺	二	二分	一石七斗九升八勺
	一分	一石八斗二升八勺	三	三分	一石七斗七升八勺
金十六兩	三分	一石七斗八升八勺	一	一分	一石七斗二升八勺
	二分	一石七斗五升八勺	二	二分	一石七斗〇升八勺
	一分	一石七斗二升八勺	三	三分	一石六斗八升八勺
金十五兩	三分	一石七斗一升八勺	一	一分	一石六斗七升八勺
	二分	一石七斗一升八勺	二	二分	一石六斗六升八勺
	一分	一石七斗一升八勺	三	三分	一石六斗六升八勺
金十四兩	三分	一石六斗七升八勺	一	一分	一石六斗六升八勺
	二分	一石六斗四升八勺	二	二分	一石六斗六升八勺
	一分	一石六斗一升八勺	三	三分	一石六斗六升八勺

目録

一

二	分	一	石	六	斗	二	升	七	合	六	勺	二	分	一	石	一	斗	八	升	六	勺	六	勺		
三	分	一	石	六	斗	〇	九	合	一	勺	二	分	一	石	一	斗	七	升	六	勺	四	勺			
金	三	十二	两	一	石	八	斗	九	升	九	勺	金	三	十	两	一	石	一	斗	六	升	六	勺		
一	分	一	石	八	斗	七	升	一	合	二	勺	一	分	一	石	一	斗	又	升	七	勺				
二	分	一	石	八	斗	又	升	八	勺	二	勺	二	分	一	石	一	斗	又	升	七	勺	七	勺		
三	分	一	石	八	斗	又	升	八	勺	四	勺	三	分	一	石	一	斗	又	升	八	勺	二	勺		
金	三	十	三	两	一	石	八	斗	一	升	七	勺	金	三	十	一	两	一	石	一	斗	二	升	九	勺
一	分	一	石	八	斗	〇	八	勺	三	勺	一	分	一	石	一	斗	二	升	一	勺					
二	分	一	石	八	斗	八	升	六	勺	二	勺	二	分	一	石	一	斗	一	升	一	合				
三	分	一	石	八	斗	七	升	六	勺	三	勺	三	分	一	石	一	斗	〇	二	升	二	勺			
金	三	十	四	两	一	石	八	斗	八	合	二	勺	金	三	十	二	两	一	石	一	斗	一	升	七	勺
一	分	一	石	八	斗	又	升	八	勺	二	勺	一	分	一	石	〇	八	升	八	勺	二	勺			
二	分	一	石	八	斗	二	升	八	勺	二	分	一	石	〇	七	升	七	勺							
三	分	一	石	八	斗	一	升	八	勺	三	分	一	石	〇	六	升	六	勺							
金	三	十	五	两	一	石	八	斗	六	勺	金	三	十	一	两	一	石	〇	五	升	〇	六	勺		
一	分	一	石	八	斗	六	勺	一	勺	一	分	一	石	〇	又	升	二	升	七	勺					

二	分	一	石	三	斗	七	升	二	勺	二	勺	二	分	一	石	〇	又	升	八	勺					
三	分	一	石	三	斗	又	升	八	勺	二	勺	三	分	一	石	〇	二	升	七	勺					
金	三	十	六	两	一	石	三	斗	又	升	八	勺	金	三	十	四	两	一	石	〇	二	升	八	勺	
一	分	一	石	三	斗	二	升	二	勺	二	勺	一	分	一	石	〇	二	升	一	合	八	勺			
二	分	一	石	三	斗	二	升	七	勺	二	分	一	石	〇	一	升	八	勺							
三	分	一	石	三	斗	〇	八	勺	二	勺	三	分	一	石	〇	〇	七	勺							
金	三	十	七	两	一	石	三	斗	九	勺	二	勺	金	三	十	三	两	一	石						
一	分	一	石	三	斗	八	升	八	勺	一	分	一	石	九	斗	九	升	二	勺						
二	分	一	石	三	斗	七	升	二	勺	二	勺	二	分	一	石	九	斗	八	升	八	勺				
三	分	一	石	三	斗	六	升	二	勺	三	分	一	石	九	斗	七	升	八	勺						
金	三	十	八	两	一	石	三	斗	又	升	一	勺	金	三	十	六	两	一	石	九	斗	七	升	二	勺
一	分	一	石	三	斗	又	升	八	勺	二	勺	一	分	一	石	九	斗	六	升	八	勺				
二	分	一	石	三	斗	二	升	八	勺	二	分	一	石	九	斗	又	升	八	勺						
三	分	一	石	三	斗	一	升	七	勺	二	勺	三	分	一	石	九	斗	又	升	八	勺				
金	三	十	九	两	一	石	三	斗	〇	八	勺	金	三	十	七	两	一	石	九	斗	又	升	九	勺	
一	分	一	石	三	斗	九	勺	六	勺	二	勺	一	分	一	石	九	斗	三	升	九	勺				

甲

乙

